

講義内容

仏教学部

2006
(平成18)
年度

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
	1 宗 教 教 育 科 目	9
	2 教 養 教 育 科 目	21
	(1) 人 文 分 野	21
	(2) 社 会 分 野	43
	(3) 自 然 分 野	53
	(4) 総 合 分 野	76
	3 外 国 語 科 目	97
	4 保 健 体 育 科 目	207
II	専 門 教 育 科 目	251
III	他 学 部 履 修 科 目	315
IV	短 大 仏 教 科 開 設 科 目	381
V	「日本語」・「日本事情」科目	387
VI	随 意 科 目	409

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科 目	総合分野
	外国語科目
科 目	保健体育
科 目	専門教育
履 修 科 目	他学部
開 設 科 目	短大仏教科
「日本事情」	「日本語」
随 意 科 目	

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	禅1 必	通年	4	池田魯参	9
仏教と人間	仏教1 必	通年	4	長谷部八朗	9
仏教と人間 [再クラス]	禅・仏教2・3・4年	通年	4	晴山俊英	10
仏教と人間 [再クラス]	禅・仏教2・3・4年	通年	4	岡本一平	10
仏教と人間 [再クラス]	禅・仏教2・3・4年	通年	4	古山健一	11
仏教と人間 [再クラス]	禅・仏教2・3・4年	通年	4	吉津宜英	12
文化と宗教	禅・仏教選	通年	4	長谷部八朗	12
社会と宗教	禅・仏教選	通年	4	池上良正	13
自然と宗教	禅・仏教選	通年	4	小川順敬	13
坐禅	禅・仏教選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	14

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	池田魯参

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参 考 書 等

授業において随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	長谷部 八 郎

講義のねらい

仏教の教えや我が国の歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教さらには宗教の意義を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。

後期には、日本仏教に着目し、空海、道元、日蓮、親鸞ほか、主に平安から鎌倉期にかけての仏教諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。

成績評価の方法

成績評価の仕方は開講後に決めるが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で、適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	ほれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	おか もと いっ べい 岡 本 一 平

講義のねらい

仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期：仏教の思想と歴史に関する概論
 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想
 後期：日本における仏教について
 ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点

講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。

教 科 書

プリントを配布します。

参 考 書 等

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年
 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	ふる やま けん いち 古 山 健 一

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教 科 書

プリント随時配布する。

参 考 書 等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『バウツダ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）
 3,465円 ISBN4794805365

科目名

仏教と人間(再クラス)

担当者名

よしず よしひで
吉津 宜英

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名

文化と宗教

担当者名

はせべ はちろう
長谷部 八朗

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名

社会と宗教

担当者名

池上良正
いけがみよしまさ

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手がかりなども探してみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名

自然と宗教

担当者名

小川順敬
おがわとしゆき

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりとの諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名

担 当 者 名

坐 禅

さとう しゅうこう くまもと えいじん
佐藤 秀孝・熊本 英人

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅一講本一』(更生社) 2, 226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	禅・仏教選	通年	4	伴野英一	21
歴史学〔日本中世史〕	禅・仏教選	通年	4	栗原修	21
芸術学(1)〔日本美術〕	禅・仏教選	通年	4	北野良枝	22
芸術学(2)〔西洋美術〕	禅・仏教選	通年	4	矢野陽子	23
芸術学(3)〔音楽〕	禅・仏教選	通年	4	浦本裕子	23
哲学〔近代の人間観と世界観〕	禅・仏教選	通年	4	古田知章	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	禅・仏教選	通年	4	河谷淳	25
論理学〔知の技法〕	禅・仏教選	通年	4	伊古田理	26
論理学〔知の技法〕	禅・仏教選	通年	4	植野公稔	27
科学史〔科学と技術〕	禅・仏教選	通年	4	高橋秀裕	28
倫理学(1)〔人間観〕	禅・仏教選	通年	4	古田知章	29
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	禅・仏教選	通年	4	黒崎剛	30
倫理学(3)〔価値観〕	禅・仏教選	通年	4	滝沢正之	30
倫理学(4)〔応用倫理学〕	禅・仏教選	通年	4	麻生享志	31
倫理学(5)〔制度とモラル〕	禅・仏教選	通年	4	滝口清栄	31
倫理学(6)〔東洋倫理〕	禅・仏教選	通年	4	末木恭彦	32
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	禅・仏教選	通年	4	池上良正	32
宗教学(2)〔聖と俗〕	禅・仏教選	通年	4	田中かの子	33
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	禅・仏教選	通年	4	小川順敬	33
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	禅・仏教選	通年	4	矢野秀武	34
宗教学(5)〔生活と宗教〕	禅・仏教選	通年	4	菅原壽清	34
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	禅・仏教選	通年	4	浅川泰宏	35
人文地理学(1)〔風土と文化〕	禅・仏教選	通年	4	山口太郎	36
人文地理学(2)〔風土と文化〕	禅・仏教選	通年	4	高橋健太郎	37
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	禅・仏教選	通年	4	伊藤修一	38
教育の思想	禅・仏教2選	半期	2	豊田千代子	38
教育の思想	禅・仏教2選	半期	2	北村三子	39
教育と社会	禅・仏教2選	半期	2	豊田千代子	39
教育と社会	禅・仏教2選	半期	2	北村三子	40
発達と学習の心理学	禅・仏教2選	半期	2	大浜幾久子	40
発達と学習の心理学	禅・仏教2選	半期	2	角野善司	41
カリキュラムと学習	12以降入学生／禅・仏教2選	半期	2	大浜幾久子	41
カリキュラムと学習	12以降入学生／禅・仏教2選	半期	2	角野善司	42

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔現代文化を考える〕	禅・仏教選	通年	4	呉炳三	43
統計学〔社会現象の統計的分析〕	禅・仏教選	通年	4	田中正光	44
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	禅・仏教選	通年	4	鈴木一馨	45
法学・憲法〔法と権利〕	禅・仏教選	通年	4	茂野隆晴	46
法学・憲法〔法と権利〕	禅・仏教選	夏季集中	4	池田実	47
政治学〔政治システムと政治参加〕	禅・仏教選	通年	4	水戸克典	48
経済学〔現代経済と人間〕	禅・仏教選	通年	4	森田成也	49
社会科学論〔社会認識の思想〕	禅・仏教選	通年	4	大石雄爾	50
教育学〔デス・エデュケーション〕	禅・仏教選	通年	4	柳堀素雅子	51
教育心理〔大学生の心理―教育臨床心理学の立場から―〕	禅・仏教選	通年	4	小田切紀子	52

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生物と環境〕	禅・仏教選	通年	4	中村敏枝	53
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	禅・仏教選	通年	4	市川清士	54
自然環境論〔生命と環境〕	禅・仏教選	通年	4	持丸真里	54
自然環境論〔生物の集団と環境〕	禅・仏教選	通年	4	坂巻義章	55
自然誌〔現代の自然像〕	禅・仏教選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	56
数学(1)〔微積分学入門〕	禅・仏教選	通年	4	小沢誠	57
数学(2)〔線型代数学入門〕	禅・仏教選	通年	4	小沢誠	57
数学(3)〔現代数学入門〕	禅・仏教選	通年	4	福田賢一	58
情報数学〔情報と論理〕	禅・仏教選	通年	4	坂野井和代	58
物理学〔光と物質〕	禅・仏教選	通年	4	篠原正雄	59
化学〔衣食住の化学〕	禅・仏教選	通年	4	持丸真里	60
宇宙科学〔星と銀河〕	禅・仏教選	通年	4	篠原正雄	60
コンピュータ基礎(1)(6) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	小沢誠	61
コンピュータ基礎(4)(9) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	小沢誠	62
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	山本博信	63
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	小川健次郎	64
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	澤口隆	65
コンピュータ基礎(10) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	澤口隆	66
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	元木光雄	67
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	坂野井和代	68
コンピュータ基礎(13) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	山本博信	69
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	長坂浩史	70
コンピュータ基礎(15)(16) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	小川健次郎	71
コンピュータ基礎(17) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	塚本達也	71
コンピュータ基礎(18) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	夏季集中	2	小沢誠	72
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕	禅・仏教選	半期	2	坂野井和代	73

コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	禅・仏教選	通年	4	坂野井和代	74
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	禅・仏教選	通年	4	篠田謙一	74
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	禅・仏教選	通年	4	高橋良博	75
心理学〔心を科学する〕	禅・仏教選	夏季集中	4	深堀友覚	75

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	禅・仏教選	通年	4	四津谷孝道	76
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	禅・仏教選	通年	4	熊本英人	77
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	禅・仏教選	通年	4	村松哲文	77
総合Ⅱ(2)	禅・仏教選	通年	4	休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	禅・仏教選	通年	4	ピアス, D. M.	78
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	禅・仏教選	通年	4	岡崎寿一郎	79
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	禅・仏教選	通年	4	野島利彰	79
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	禅・仏教選	通年	4	林明人	80
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	禅・仏教選	通年	4	西村祐子	80
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	禅・仏教選	通年	4	丸小哲雄	81
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	禅・仏教選	通年	4	石原孝哉	82
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	禅・仏教選	通年	4	大野祐二	82
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	禅・仏教選	通年	4	青柳かおる	83
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	禅・仏教選	通年	4	早川紀代	84
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	禅・仏教選	通年	4	高橋洋城 他	85
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	禅・仏教選	通年	4	内海麻利 他	86
総合Ⅷ				休講	

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔古典〕〕	伴野英一

講義の内容・
授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。受講態度も評価に加味する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が六十点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学〔日本中世史〕	栗原修

講義のねらい

中世社会の歴史について講義します。とくに、古代→中世、中世→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、中世とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 荘園公領制と幕府
～武士身分の誕生から鎌倉幕府の成立まで～
(後期) 中世社会の特質と近世国家の誕生

履修上の留意点

年表や日本史辞典を用意してほしい。

成績評価の方法

学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。

教科書

プリントを随時配布します。

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 室町から桃山時代の絵画
- (1) ガイダンス
 - (2) 絵画に関する基礎知識
 - (3) ～ (7) 室町時代の水墨画
 - (8) 阿弥派
 - (9) 関東水墨画
 - (10) 土佐派
 - (11) 狩野正信・元信
 - (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
- 後期 江戸時代の絵画
- (14) 江戸時代の狩野派
 - (15) ～ (18) 琳派
 - (19) ～ (20) 浮世絵
 - (21) 南蘋派
 - (22) 文人画
 - (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 - (24) 円山四条派
 - (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名	担当者名
芸術学（2）〔西洋美術〕	矢野陽子

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／物語画
後期 物語画以外の諸ジャンル／様式概念と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。

参考書等

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円
三浦篤著『まなごしのレッスン①西洋伝統絵画』（東京大学出版会）2,625円

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名
芸術学（3）〔音楽〕	浦本裕子

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ヨーロッパの音楽
（民族音楽とクラシック音楽）
後期：諸民族の音楽（アジアを中心に）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭他編『民族音楽概論』（東京書籍）

講義のねらい

現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 —人間と世界について問うこと—
2. 古代ギリシアの思想 —哲学的探求の始まり—
3. キリスト教思想と中世の哲学 —思索の新たな展開—
4. 中世から近世への連続と変動 —様々なルネサンスについて—近世・近代の人間観・世界観
1. ルネサンスから近世の思想 —人間観・世界観の変革—
2. 科学の発展と世界観の変化との関係 —人間の位置について—
3. 現代の存在論 —見えるものを支える見えない枠組み—

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名**担当者名**

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

かわ 河
たに 谷
まつし 淳

人文分野

講義のねらい

私たちが日常生活や就職活動においてまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこには思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言うことができる。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
- (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
- (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）

後期：現代論理（記号論理）入門

- (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
- (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名**担当者名**

論理学〔知の技法〕

植野公稔

人文分野

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいていってほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしていつてくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科 目 名**担 当 者 名**

科学史〔科学と技術〕

たか ばし しゅう ゆう
高 橋 秀 裕人
文
分
野**講義のねらい**

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は、近代日本の科学・技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、不明な点は質問してほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の際に適宜紹介する。

そ の 他

講義形式、随時プリント配布。

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名

倫理学（２）（７）〔応用倫理学〕

担当者名

黒崎剛

人文分野

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名

倫理学（３）〔価値観〕

担当者名

滝沢正之

講義のねらい

ねらいは二つある。
第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。
第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	あさ 麻 生 享 志

講義のねらい	応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。
成績評価の方法	前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%） 前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定
教科書	久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）
参考書等	特になし
その他	初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	たま ぐち きよ えい 滝 口 清 栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもろろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。
教科書	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
倫理学（6）〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦

講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。
履修上の留意点	ノートはしっかりと取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
教科書	浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
宗教学（1）〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正

講義のねらい	宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教科書	特に指定しない。
参考書等	『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）『エリアーデ著作集』（せりか書房）上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）

科目名	担当者名
宗教学（2）〔聖と俗〕	田中かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしなが、ら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	担当者名
宗教学（3）〔世界観と儀礼〕	小川順敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

宗教学（４）〔日本人の宗教〕

担当者名

矢野 秀武

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名

宗教学（５）〔生活と宗教〕

担当者名

菅原 としきよ

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあつて人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・講義中の私語は厳禁とします。
- ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願ひ致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点＋平常点40点＝合計100点
- ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
 - ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
東京年表、同潤会(アパート)の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市
選好地図、場所のイメージ(軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み)、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』(青春出版社)1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード・レルフ著(高野・神谷・岩瀬訳)『都市景観の20世紀』(筑摩書房)
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市/建築フィールドワークメソッド』(INAX出版)
若林幹夫『都市への/からの視線』(青弓社)
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』(紀伊国屋書店)

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名**担当者名**

人文地理学（2）〔風土と文化〕

高橋 健太郎

人文分野

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
鈴木秀夫『風土の構造』講談社(講談社学術文庫)
佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
中島峰広『日本の棚田』(古今書院)
溝尾良隆『観光学』(古今書院)
若林幹夫『地図の想像力』講談社(講談社選書メチエ)

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	担当者名
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	伊藤 修一

講義のねらい	日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造 後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化－郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。
成績評価の方法	原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。
教科書	教科書は用いない。
参考書等	北川建次編『現代都市地理学』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-4027-6 ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』(古今書院) 6,090円、ISBN4-7722-5103-0 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。
その他	講義ではプリントを随時配布する。

科目名	担当者名
教育の思想	豊田 千代子

講義のねらい	この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	・自分たちの受けてきた教育の振り返り ・教育をめぐる子どもたちの現状 ・コルチャック先生の思想(子ども観) ・子どもの権利条約とコルチャック先生
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	北村三子

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を中心に学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	豊田千代子

講義のねらい	教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・学習体験のふり返し 自分たちが受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。 ・教育と人権 障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

教育と社会

担当者名

きたむらみつこ
北村三子

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

発達と学習の心理学

担当者名

おおはまきくこ
大浜幾久子

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

発達と学習の心理学

担当者名すみ の ぜん じ
角 野 善 司

人文分野

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因
 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ
 (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属
 (12) 学習目標と遂行目標 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

カリキュラムと学習

担当者名おお はま きくこ
大 浜 幾久子**講義のねらい**

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
 その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科 目 名**担 当 者 名**

カリキュラムと学習

すみ の ぜん じ
角 野 善 司

人文分野

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カリキュラム（教育課程）とは (2) カリキュラムに関する法制
 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史
 (5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針
 (7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針
 (9) 学習指導要領をめぐるその後の動き
 (10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価
 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教 科 書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』

講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参 考 書 等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

そ の 他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名

担当者名

社会学〔現代文化を考える〕

お びよん さん
呉 炳 三

社会分野

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本の行為論

II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、
(5) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、統計の基礎知識の習得に努め、現実の統計データ及び架空の数値などで実際に統計的計算を実行する場面も多くつくる。その場合大量のデータを扱う時には、パソコン（実際にはエクセルが主流）を使って計算作業を実行する。

【前期】

1. 代表値（平均値、中央値、最頻値等）
2. データの散布度（分散、標準偏差、変動係数等）
4. 度数分布
5. 相関分析
6. 回帰分析

【後期】

1. 確率
2. 確率変数
3. 確率分布
4. 標本と標本分布
5. 統計的推定
6. 統計的仮説検定

履修上の留意点

通常の講義では電卓（関数電卓が望ましい）を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法

前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』（共立出版）2004年
 室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）2004年
 鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）2003年
 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』（東京大学出版会）1997年
 岸野洋久『社会現象の統計学』（朝倉書店）1992年
 森田優三『統計概論』（日本評論社）1966年

その他

授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

科目名

文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕

担当者名

鈴木 一 馨

社会分野

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第1部. 文化人類学と民族
 (1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか
 第2部. 民族とコスモロジー
 (7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10)天とひとつのコスモロジー
 (11～13)世界の断絶と連続
 後期：第3部. 風水のコスモロジー
 (14～20)風水を構成する宇宙論 (21～22)風水による現実空間の意味付け
 (23～26)風水と人間社会

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560）1990年 840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店）2002年 1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院）1990年 1,995円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』（講談社選書メチエ244）2002年 1,575円

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

池田実

社会分野

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。

〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにさせていただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括

〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科 目 名**担 当 者 名**

政治学〔政治システムと政治参加〕

みとかつのり
水 戸 克 典

社会分野

講義のねらい

日々ニュースで報道される政治現象の背後には、政治の表舞台・裏舞台において自らの理念や利益を実現しようと活動する多数のアクター（政治家、政党、官僚、利益集団、有権者など）が存在します。それらアクターはいったいどのような行動原理に基づいて活動しているのでしょうか？

本講義では、政治的アクターの組織と活動、及びそれらを取り巻く政治諸制度の基礎について、具体的かつ身近な事例を取り上げながら、検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 権力、権威
- 3 選挙制度と投票行動
- 4 国会の制度と立法過程
- 5 政党と政党制
- 6 内閣と首相
- 7 官僚制
- 8 利益集団の圧力活動
- 9 地方政治と政策決定
- 10 マス・メディアと世論
- 11 民主主義のモデル
- 12 日本政治の課題と展望

履修上の留意点

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。
但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われれます。

成績評価の方法

定期試験、平常点（小テスト等）、（場合によってはレポート）の結果を総合的に勘案し、評価します。

教 科 書

授業中に適宜指示します。

参 考 書 等

授業中に適宜指示します。

そ の 他

授業方法一原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名

担当者名

経済学〔現代経済と人間〕

もり 森 田 せい や 成 也

社会分野

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2) 社会と経済 (3, 4) 商品・貨幣 (5, 6, 7, 8) 資本と剰余価値
- (9) 賃金 (10, 11) 資本の蓄積 (12) 利潤と利潤率
- (13) 利子生み資本と株式資本
- (14, 15) 独占資本、国家、外国貿易
- (16) 世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ
- (17, 18) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (19, 20) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (21, 22) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (23) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (24) 企業社会と女性
- (25, 26) 経済大国日本とバブル経済
- (27, 28) 長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名**担当者名**

社会科学論〔社会認識の思想〕

おお いし ゆう じ
大 石 雄 爾

社会分野

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名

担当者名

教育学〔デス・エデュケーション〕

やなぎ ぼり すがこ
柳 堀 素雅子

社会分野

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと言ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりが無い。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらおう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

教科書

なし。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあけておく。
D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）
ビーチャム、ナルドレス『生命医学倫理』（成文堂）
Ch. プロス／G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないますが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1 思春期とは何か

トピックス：身体的変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり

2 思春期の心の変化と行動の変化

トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

3 思春期の課題としての進路選択

トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題

4 思春期と向き合う人々と諸機関

トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武剋監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004年

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004年
小田切紀子著『離婚を乗り越える-離婚家庭への支援を目指して』(プレーン出版)2004年

その他

テキストを用いての講義形式とする。

科目名

担当者名

生物学〔生物と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 生物の生活

- (1-5) 地球の歴史と生命の期限
- (6-13) 生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
- (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
- (22-23) 水銀汚染と水俣病
- (24-25) 人工放射性物質汚染

自然分野

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名**担当者名**

地球科学〔自然景観の成り立ち〕

いちかわ きよし
市川 清士**講義のねらい**

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていききたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 ―惑星地球と大気・海洋のシステム―』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持ってのような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

自然分野

科目名**担当者名**

自然環境論〔生命と環境〕

もちまる まり
持丸 真里**講義のねらい**

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）生態系の成り立ち （2）生物とは何か （3）生命の誕生と地球環境
（4）地球温暖化 （5）生態系内の物質循環 （6）生産者の働きと生態系
（7）森林破壊 （8）生態系の浄化作用 （9）化学物質による生態系汚染
（10）ダイオキシン問題 （11）環境ホルモン （12）オゾン層破壊
（13）近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勤めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名

担当者名

自然環境論〔生物の集団と環境〕

さか まき よし あき
坂 巻 義 章

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 (1、2) 地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5、6) 生物の歴史
と環境 (7、8) 生物の進化 (9、10) 生物の分布 (11、12) 環境への適応
(13) 前期のまとめと試験
後期 (14、15) 食物連鎖とエネルギー流 (16) 生態ピラミッド (17) 個体群
(18) 出生と死亡 (19) 競争と住み分け (20) 捕食 (21) 共生と寄生 (22) 土
壌と分解者 (23) 物質循環 (24) 里山の生態系 (25) 人口問題と環境問題
(26) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここににいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けたいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

自然分野

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
数学（１）〔微積分学入門〕	小沢 誠

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名
数学（２）〔線型代数学入門〕	小沢 誠

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名

担当者名

数学(3)〔現代数学入門〕

福田 賢一

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理解分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理解、線型代数とその応用
後期：線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理解、経済・経営の数理解基礎

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。
学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。
可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

自然分野

科目名

担当者名

情報数学〔情報と論理〕

坂野井 和代

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。

成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名

担当者名

化学〔衣食住の化学〕

もち丸 真里

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

図書館書誌検索画面へ
講義の中で随時紹介する。

自然分野

科目名

担当者名

宇宙科学〔星と銀河〕

しのほらまさお
篠原正雄

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽：構造 エネルギー源
恒星：研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系：星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河：銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙：宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないといけません。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (1) (6)

おぎわ沢まこと誠

[コンピュータの実際]

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

㈱シーズ著『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価 1,659 円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等での自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名**担当者名****コンピュータ基礎（４）（９）**
〔コンピュータの実際〕**小 沢 誠****講義のねらい**

シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）に従ってネットワークの基礎を習得することを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

ネットワークの概要、ネットワークの基礎、ネットワークメディア、ケーブルのテスト、LANとWANのケーブルリング、イーサネットの基礎、イーサネットテクノロジー、イーサネットスイッチング、TCP/IPプロトコルスイートとIPアドレッシング、ルーティングの基礎とサブネット、TCP/IPのアプリケーション層とトランスポート層について学ぶ。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを使用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

成績評価の方法

期末テストで評価します。

教科書

シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）を使用します。教場のパソコンから閲覧可能です。

参考書等

シスコシステムズ『シスコネットワークアカデミーCCNA 1受講ガイド』（ソフトバンククリエイティブ）4,200円
Roads to Node (<http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/>)

その他

コンピュータの基礎的な知識と、インターネット使用の経験がある方が望ましい。

コンピュータ基礎（２）（７）

やまもとひろのぶ
山本博信

〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーション・ソフトウェアの活用を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、実習だけでなく、練習問題や演習問題なども含みます。

前期では、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザによるコミュニケーションを取り上げます。後期には特に電子メディアの活用やレポートの作成を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本および確認
(5) Web メーラー (Active Mail) を用いたメールの送受信。パスワードの変更
(6～7) ワープロソフトと日本語変換
(8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
(11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、検索、レポート作成
(最終授業) 確認試験の実施
- (後学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3) Active Mail を用いたメールの送受信・パスワードの変更
(4) ワープロソフトによる文書作成、レポート作成・保存・印刷
(5～6) インターネットの活用 (電子メール、WWW サービス)
(7～8) 表計算ソフトの基本
(9～10) 表計算ソフトの応用
(11～12) ホームページの作成
(最終授業) 確認試験の実施

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートの提出、授業最終回で行う実技試験によって行います。ただし、本年度入学生の成績の評価方法は、GPA 制度に基づきます。

教科書

未定。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

実習のために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。毎時間ごとに授業レジュメなどのプリントを配布します。

科目名

担当者名

コンピュータ基礎（3）（8）

おがわ けんじろう
小川 健次郎

[コンピュータの実際]

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

自然分野

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（５） 〔コンピュータの実際〕	さわぐち 澤口隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (10)

さわぐち
澤口隆

[コンピュータの実際]

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名**担当者名****コンピュータ基礎 (11)**もと き みつ お
元 木 光 雄**[コンピュータの実際]**

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやるべきではないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

- 8 / 1 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作
- 8 / 2, 3 インターネットの原理と実際の利用
- 8 / 4, 7 論理的構造を持った文書の HTML による記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日の1～3限

予備日：8月8日の1～3限

科目名**担当者名****コンピュータ基礎 (12)**
[コンピュータの実際]さかのい かず よ
坂野井 和 代

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習で作業をしながら進むので、講義は必ず出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで、1回以上休むことが当初から予想される学生は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

コンピュータ基礎 (13)

やま もと ひろ のぶ
山 本 博 信

〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・
授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

科 目 名**担 当 者 名**

コンピュータ基礎 (14)

なが さか ひろ ふみ
長 坂 浩 史〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

総合情報センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は假定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目は MO ディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っただけ。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教 科 書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (15) (16) 〔コンピュータの実際〕	おがわ けんじろう 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。 なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。
成績評価の方法	評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。
教科書	必要に応じて適宜指定する予定である。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：(15) 8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限 : (16) 8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：(15) 8月8日の1～3時限 : (16) 8月8日の4～6時限

自然分野

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (17) 〔コンピュータの実際〕	つかもと たつや 塚本 達也

講義のねらい	学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。
履修上の留意点	教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。
成績評価の方法	レポートにより行う。
その他	授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：8月8日の4～6時限

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (18)
〔コンピュータの実際〕

お ざ わ
小 沢 誠

自然分野

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

(株)シーズ著『改訂第4版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (19) (20)

さかのい かず よ
坂野井 和 代

〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名

担当者名

コンピュータ応用（１）（２）
〔コンピュータの原理〕

さかのい かず よ代
坂野井 和 代

自然分野

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで 3 回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名

担当者名

人類学（１）（２）〔人類の進化〕

しのだけんいち
篠田謙一

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ 1 回ないし 2 回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN 4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博 <small>たか はし よし ひろ</small>

講義のねらい	<p>基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。</p> <p>特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。</p> <p>また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関する各研究領域に焦点をあててゆく。</p>
成績評価の方法	<p>筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。</p>
教科書	<p>鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別</p>

自然分野

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	深堀 友覚 <small>ふか ぼり とも なり</small>

講義のねらい	<p>身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。</p> <p>本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。</p>
履修上の留意点	<p>短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。</p>
成績評価の方法	<p>講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。</p>
教科書	<p>特に指定しない。</p>
参考書等	<p>重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年 中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年</p>
その他	<p>授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）</p>

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

授業において適宜に配付する。

参 考 書 等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名
総合Ⅰ（２）〔仏教と社会〕	熊本英人 <small>くまもと えい にん</small>

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
総合Ⅰ（３）〔仏教と芸術〕	村松哲文 <small>むらまつ てつ ぶん</small>

総合分野

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- 仏教美術の世界（１～２）
- インドの仏教美術（３～５）
- 西域の仏教美術（６～８）
- 初期の敦煌石窟（９～１１）
- 後期の敦煌石窟（１２～１５）

〔後期〕

- 炳靈寺石窟（１６～１７）
- 麦積山石窟（１８～２０）
- 雲岡石窟（２１～２３）
- 龍門石窟（２４～２７）
- 朝鮮三国の仏教美術（２８～３０）

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名
総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎 <small>おかざき としいちろう</small>

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野

科目名	担当者名
総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>

講義のねらい

私たちはドイツ語のWald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作って下さい。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光品訳「森が語るドイツの歴史」築地書館4,223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明人

講義の内容・ 授業スケジュール	現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion,affirmative action,euthanasia,Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。
成績評価の方法	前・後期のレポート、出席の総合評価。
教科書	プリントを配布します。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にし むら ゆうこ 西 村 祐 子

講義のねらい	アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い コミュニティ・ビルディングとNPO シアトルのまちづくり シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO アメリカにおける移民とNPO 自治体とNPOの協働について：日本との比較 神戸市の事例 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較 日本のまちづくり政策とNPO 世田谷区のまちづくりとNPO まちづくり協議会とNPO 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO,MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究
履修上の留意点	インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。
成績評価の方法	平常点（出席率、レポート内容）重視。
教科書	『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房
参考書等	教場で指定（インターネットサイトなど。）
その他	ゲストレクチャーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMIC かながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生活における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシユールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュール：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー。

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）。
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること。

科目名	担当者名
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	石原孝哉 <small>いし ほん こう さい</small>

講義のねらい

今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。

本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。

履修上の留意点

イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているので、それに対応できる学生が望ましい。

成績評価の方法

主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。

教科書

プリント配布

参考書等

そのつど教場にて指示する。

総合分野

科目名	担当者名
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	大野祐二 <small>おお の ゆう じ</small>

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名

担当者名

総合Ⅵ(2)〔イスラム〕

あおやぶ
青柳 かおる

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期

イスラムに関する文献紹介
イスラム以前のジャーヒリーヤ時代
預言者ムハンマドの生涯
イスラムの教義（六信五行とイスラム神学）
コーランとアラビア語
メッカ大巡礼
イスラム法
イスラム世界のギリシア文明（イスラム哲学）

後期

スーフィズム（イスラム神秘主義）
シーア派とイランの歴史
イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ
中東の民族と宗教
聖地エルサレム
パレスチナ問題
イスラム原理主義運動

履修上の留意点

私語厳禁です。

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験（またはレポート）ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

中村廣治郎『イスラム教入門』（岩波書店 岩波新書538）1998年
中村廣治郎『イスラムと近代』（岩波書店 叢書現代の宗教13）1997年
青柳かおる『イスラムの世界観：ガザリーとラズイー』（明石書店）2005年など。
詳しくは、第一回目の講義で文献リストを配布します。

その他

講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

総合分野

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしく生きてゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題を取りあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

資料を随時配布する。

そ の 他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名

担当者名

総合Ⅷ（１）〔トラブルと法的解決〕

たかはし 高橋	ひろき 洋城	かわぐち 川口	ゆきみ 幸美
たけなか 竹中	ちか 智香	はらだ 原田	けいいちろう 啓一郎
ひかさ 日笠	かんじ 完治	まつむら 松村	いたる 格

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。
担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

1	高橋 洋城	トラブルが法の問題になるとき
2	松村 格	刑事事件と法定手続
3	竹中 智香	変化する市民生活と民法
4	川口 幸美	現代社会と商法
5	日笠 完治	トラブルを憲法的観点から考える
6	原田啓一郎	大学生活と社会保障の法的トラブル

総合分野

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。
追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名

担当者名

総合Ⅶ(2)〔都市論〕

うちうみ まり うえの じんこ
 内海 麻利・上野 淳子
 うらた さなえ さかい あや
 浦田 早苗・坂井 文
 はやかわ よしき
 早川 純貴

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス(1回:4月)

坂井 文「都市を公共空間から読む」(6回:4月・5月)

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなう、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」(6回:6月・7月)

本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを(1)欲望や競争をおおる言説、(2)グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、(3)官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」(4回:9月・10月)

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」(4回:10月・11月)

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回:11月・12月)

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

外国語

外国語

3. 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	禅1年	通年	2	小泉和弘	97
英語ⅠA	禅1年	通年	2	三幣友行	97
英語ⅠA	禅1年	通年	2	高橋明子	98
英語ⅠA	仏教1年	通年	2	伊勢村定雄	98
英語ⅠA	仏教1年	通年	2	牧野正秀	99
英語ⅠA	仏教1年	通年	2	牧野輝良	99
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	禅・仏教1年	通年	2	大庭直樹	99
英語ⅠB	禅1年	通年	2	岡崎寿一郎	100
英語ⅠB	禅1年	通年	2	依田里花	100
英語ⅠB	禅1年	通年	2	杉村初枝	101
英語ⅠB	仏教1年	通年	2	国見晃子	101
英語ⅠB	仏教1年	通年	2	本間章郎	101
英語ⅠB	仏教1年	通年	2	狩野晃一	102
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	禅・仏教1年	通年	2	前田脩	102
英語ⅡA	禅2年	通年	2	濱口真木	103
英語ⅡA	禅2年	通年	2	大淵利春	103
英語ⅡA	仏教2年	通年	2	太田美智子	104
英語ⅡA	仏教2年	通年	2	高野秀夫	104
英語ⅡA	仏教2年	通年	2	芝田興太郎	105
英語ⅡB	禅2年	通年	2	澤田真弓	106
英語ⅡB	禅2年	通年	2	太田由紀子	106
英語ⅡB	仏教2年	通年	2	前田脩	107
英語ⅡB	仏教2年	通年	2	田中靖子	107
英語ⅡB	仏教2年	通年	2	太田由紀子	107

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	杉本正俊	108
ドイツ語ⅠB	禅・仏教1年	通年	2	藪下紘一	108
ドイツ語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	柴野博子	108
ドイツ語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	藪下紘一	109
ドイツ語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	飯塚公夫	109

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	芦原眷	110
フランス語ⅠB	禅・仏教1年	通年	2	浜崎設夫	110
フランス語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	桑田禮彰	111
フランス語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	沼倉広子	111
フランス語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	菅谷暁	111

〔中国語〕

中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	布施直子	113
中国語ⅠB			2	徳間佳信	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	小栗山恵	114
中国語ⅠB			2	弘兼加奈子	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	工藤早恵	114
中国語ⅠB			2	塩旗伸一郎	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	上原かおり	115
中国語ⅠB			2	下出宣子	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	本間由香利	115
中国語ⅠB			2	曹泰和	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	吉田建一郎	116
中国語ⅠB			2	佐藤普美子	
中国語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	塩旗伸一郎	116
中国語ⅠB			2	張渭涛	
中国語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	秋元翼	117
中国語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	佐藤普美子	117
中国語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	李雲	117
中国語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	岩崎皇	118
中国語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	橋本幸枝	118
中国語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	梅田雅子	118
中国語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	弘兼加奈子	119

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	亀山晃一	120
スペイン語ⅠB	禅・仏教1年	通年	2	荻野雅司	120
スペイン語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	大岩功	120
スペイン語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	真下祐一	121
スペイン語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	大岩功	121

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	禅・仏教1年	通年	2	佐野朝子	123
ロシア語ⅠB	禅・仏教1年	通年	2	廣田英靖	123
ロシア語ⅡA	禅・仏教2年	通年	2	杉山秀子	124
ロシア語ⅡB	禅・仏教2年	通年	2	木村英明	124

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	松堂啓子	125
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	岩井洋美	125
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	牧野輝良	125
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	萩原輝	126
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	塙美智子	126
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	126
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	太田由紀子	127
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	桧山晋	127
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	岩原康夫	127
英語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	128
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	高見陽子	128
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	澤田真弓	129
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	江田幸子	129
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	相馬美明	129
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	高柳文江	130
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	大淵利春	130
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	西村祐子	130
英語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	飯沼好永	131
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	菅原典子	131
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	太田美智子	131
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	佐藤江里子	132
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	132
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	吉江正雄	132
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	澤田真弓	133
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	矢島直子	133
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	外池一子	133
英語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	山岸二郎	134
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	佐藤江里子	134
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	長谷川公一	134
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	川手浩一	135
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	長谷川公一	135
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	前田脩	135
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	落合和昭	136
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	本間俊一	136
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	尾形重政	137
英語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	手島敬子	137

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	本橋右京	138
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	志真斗美恵	138
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	井村行子	138
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	藪下紘一	139
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	南はるつ	139

ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	飯塚公夫	139
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	杉本正俊	140
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	本橋右京	140
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	森公成	140
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	本橋右京	141
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	井村行子	141
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	前田祝一	142
フランス語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	芦原脊	142
フランス語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	小玉齊夫	143
フランス語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	菅原猛	143
フランス語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	谷川かおる	144
フランス語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	菅谷暁	144
フランス語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	今関アン	144
フランス語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	伊藤なお	145
フランス語ⅠB〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	谷川かおる	145
フランス語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	小玉齊夫	145
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	沼倉広子	146
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	前田祝一	146
フランス語ⅡB〔再クラス〕					

〔中国語〕

中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	江林英基	147
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	秋元翼	147
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	東映全	147
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	根岸政子	148
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	戸張嘉勝	148
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	本間由香利	149
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	張渭涛	149
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	弘兼加奈子	150
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	蘭明	150
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	梅田雅子	150

中国語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	岩崎皇	151
中国語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	大久保明男	151
中国語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	李雲	151
中国語ⅡB〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	蘭明	152

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	大岩功	153
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	153
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	亀山晃一	154
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	荻野恵	154
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	佐藤麻里乃	154
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	上野勝広	155
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	大岩功	155
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	亀山晃一	156
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					

外国語

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	杉山秀子	157
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	佐野朝子	157
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	木村英明	158
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	安德ニーナ	158
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	158
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	大須賀史和	159
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	禅・仏教3・4年	通年	2	安德ニーナ	159
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					

《選択科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	林明人	160
英文講読	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	矢島直子	160
英文講読	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	牧野輝良	160
時事英語研究	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	竹村恵都子	161
時事英語研究	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	林明人	161
時事英語研究	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	岸本茂和	161
時事英語研究	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	田中保	162
時事英語研究	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	矢島直子	162
マルチ・メディア	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	落合和昭	163
マルチ・メディア	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	大庭直樹	164
マルチ・メディア	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	西村祐子	164
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ロビン, G. F.	165
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ウェルズ, J. K.	166
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	167
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ピアス, D. M.	168
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ラッセル, S. J.	169
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ササキ, M.	169
英会話Ⅰ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	レーン, C. M.	170
英会話Ⅱ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	171
英会話Ⅱ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ラッセル, S. J.	172
英会話Ⅱ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ササキ, M.	172
英会話Ⅲ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ウェルズ, J. K.	173
英会話Ⅲ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ピアス, D. M.	174
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	太田雅子	175
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	甲斐捷子	175
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	加藤佐和子	176
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	久保ひさ子	176
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	西村祐子	176
英語LLⅠ	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	埜美智子	177
英語LLⅡ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	太田雅子	178
英語LLⅡ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	外池一子	178
英語LLⅡ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	西村祐子	179
英語LLⅢ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	レーン, C. M.	180
英語LLⅢ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	久保ひさ子	181
英語LLⅢ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	西村祐子	181
ドイツ語外国書講読	禅・仏教 3・4 選	通年	4	柴野博子	182
時事ドイツ語	禅・仏教 3・4 選	通年	4	堀内美江	182
上級ドイツ語	禅・仏教 3・4 選	通年	2	柴野博子	182
ドイツ語コミュニケーションⅠ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	小林ゲアリンデ	183
ドイツ語コミュニケーションⅡ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	小林ゲアリンデ	183
ドイツ語ⅠA (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	藪下祐一	183
ドイツ語ⅠB (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	野島利彰	184
ドイツ語Ⅱ (選)	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	井村行子	184
フランス語外国書講読	禅・仏教 3・4 選	通年	4	前田祝一	185

時事フランス語	禅・仏教 3・4 選	通年	4	桑田禮彰	185
上級フランス語	禅・仏教 3・4 選	通年	2	小玉齊夫	186
フランス語コミュニケーション I	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ラリア・三倉, M	186
フランス語コミュニケーション II	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ラリア・三倉, M	186
フランス語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	出口雅敏	187
フランス語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	前田祝一	187
フランス語 I B (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	菅原猛	187
フランス語 II (選)	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	桑田禮彰	188
中国語外国書講読	禅・仏教 3・4	通年	4	佐藤普美子	188
時事中国語	禅・仏教 3・4	通年	4	塩旗伸一郎	189
上級中国語	禅・仏教 3・4	通年	2	本間由香利	189
中国語コミュニケーション I	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	岩崎皇	190
中国語コミュニケーション II	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	曹泰和	190
中国語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	吉田建一郎	190
中国語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	宮本厚子	191
中国語 I B (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	蘭明	191
中国語 II (選)	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	三田村圭子	191
スペイン語外国書講読	禅・仏教 3・4	通年	4	上野勝広	192
時事スペイン語	禅・仏教 3・4	通年	4	真下祐一	192
上級スペイン語	禅・仏教 3・4	通年	2	上野勝広	192
スペイン語コミュニケーション I	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	193
スペイン語コミュニケーション II	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	193
スペイン語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	亀山晃一	193
スペイン語 I B (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	194
スペイン語 II (選)	禅・仏教 2・3・4	通年	2	萩野雅司	194
ロシア語外国書講読	禅・仏教 3・4	通年	4	廣田英靖	195
時事ロシア語	禅・仏教 3・4	通年	4	木村英明	195
上級ロシア語	禅・仏教 3・4	通年	2	クロチコフ, Y.	196
ロシア語コミュニケーション I	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	安德ニーナ	196
ロシア語コミュニケーション II	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	安德ニーナ	196
ロシア語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	クロチコフ, Y.	197
ロシア語 I B (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	木村英明	197
ロシア語 II (選)	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	クロチコフ, Y.	198
朝鮮語 I A (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	宋美玲	198
朝鮮語 I B (選)	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	2	宋美玲	199
朝鮮語 II (選)	禅・仏教 2・3・4 選	通年	2	宋美玲	199

外
国
語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	こ いずみ かず ひろ 小 泉 和 弘

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教 科 書

『Major Countries in the World -世界的主要国-』(鳳書房) 1,800円

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	み ぬき とも ぬき 三 幣 友 行

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の向上を目指す

講義の内容・授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる。

履修上の留意点

欠席が全体の3分の1を超えたら単位は認めない

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期試験を総合的に評価する

教 科 書

未定

そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名
英語 I A	高橋明子 <small>たがはしあきこ</small>

講義のねらい

英語の運用能力を身につけるために、基本単語の習得や音声に慣れる練習を行います。基本文法項目の確認や復習も合わせて行います。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業でテキストの1単元を目安に進めます。

履修上の留意点

テキストの予習・復習をしっかりとってきて、授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

出席状況や発表などの平常点と前期・後期の試験との総合評価をします。

教科書

『English Partner』（南雲堂フェニックス）1,700円＋税
ISBN4-88896-367-3

科目名	担当者名
英語 I A	伊勢村定雄 <small>いせむらさだお</small>

外国語

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 ガイダンス（2回目から授業開始）
〈本文音読・訳読→ダイアログ音読・訳読→練習→ダイアログテスト〉のサイクルで授業はすすめる。
- 5月（ダイアログ）オーラルテスト（1回）
- 6月 オーラルテスト（2回）
- 7月 オーラルテスト（3回）
- 9月 後期のガイダンス及び授業開始
（後期から〈2度／3時間〉の割合でオーラルテストとなる）
- オーラルテスト（4回）
- 10月 オーラルテスト（5回）
- オーラルテスト（6回）
- 11月 オーラルテスト（7回）
- オーラルテスト（8回）
- 12月 オーラルテスト（9回）
- オーラルテスト（10回？）

履修上の留意点

予習は必ずすること！ 辞書は持参のこと。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄、Dennis R.Kogg『アメリカン・ライフを英語で』（北星堂書店）1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名
英語 I A	まきのまさひろ 牧野正秀

講義のねらい

多くの英文に接して、正しく解釈するには直感的に単語と単語を結びつけて日本語に置き換えたり内容を考えるだけではなく、構文（文法）力を活用しなければならない。その上で、身に着けた実力をコミュニケーションの道具として、活用できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

独習だけでは、誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があります、そこを何か客観的な手段に訴えてみる必要があります。その場が毎回の授業です。演習なので必ず個人を指名して発表してもらいます。今まで学んできた基本的な知識を復習再確認しながら勉強します。

履修上の留意点

活発な授業が出来るように、積極的な態度を期待します。今日は自分の発表ではないのだと言わばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。自学自習の時間が、授業より圧倒的に多いので必ず下調べをして教室に臨んでください。指名されたら必ず発表すること。

成績評価の方法

前、後期の試験結果に授業中の発表や予習の度合いといった平常点を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名
英語 I A	まきのてるよし 牧野輝良

外国語

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをよく読み、あわせてよりよく英文を理解するために、ドリルとして英文法の問題を課する。

履修上の留意点

指名された学生は答えられるように予習して出席すること。

成績評価の方法

授業中の発表、提出物、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席等を総合して評価する。

教科書

『基本英文法』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	おおばなおき 大庭直樹

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

1年間で、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教科書

テキストは教場で指示する。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	岡崎 寿一郎

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教 科 書

三川基好編注『英語——その光と陰』(鶴見書店) 1,500円 (税別)

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	依田 里花

講義のねらい

英語で書かれた「禅」についてのテキストを読み、内容を味わいながら、英語の読解力を付けることが本講義のねらいです。また、英文を読むだけでなく、聞くこと、音読することを通して、総合的な英語力の向上をはかります。毎回、課題がありますので、必ず予習をして出席すること。

履修上の留意点

必ず辞書 (英和) を持参すること。(電子辞書可)

成績評価の方法

出席や授業中の態度を重視し、定期試験 (前期・後期) の結果と合わせて総合的に評価します。

教 科 書

荒井良雄著『ZEN IN ENGLISH CULTURE』(北星堂) 1,905円 + 税
ISBN4-590-01190-5

科目名	担当者名
英語 I B	すぎ 杉 村 初 枝

講義のねらい

英文を正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読を中心に授業を進めます。単なる英訳にとどまらず文脈を的確に捉え、テーマを把握できるような英文解釈を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行います。テストの提出を以って出席とみなしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお、欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は、発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め、必ず年間5回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表、前期後期に行なう試験に基づいて総合的に評価します。

教科書

テキストは開講時に指示します。

科目名	担当者名
英語 I B	くに 見 あき こ 国 見 晃 子

外国語

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。

後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表してもらいます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

後日指定いたします。

科目名	担当者名
英語 I B	ほん ま あき お 本 間 章 郎

講義のねらい

時事的な関心の高い題材を扱った英文を読むことで、幅広い知識を身に付けるとともに、題材に関連した専門的な語彙を増やしながら、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認し、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および学期末試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

John, S. Lander 『*Hollywood Dialogs*』(朝日出版社)

科目名	担当者名
英語 I B	狩野晃一

講義のねらい	音読・精読を通して基礎的な英語力の定着をはかります。
講義の内容・授業スケジュール	高等学校までの復習を兼ね、初歩的な文から始め、徐々に難解な文章に進む。
履修上の留意点	必ず予習をし、授業へは辞書を持参のこと。
成績評価の方法	最低三分の二以上の出席が求められる。また前期及び後期に試験を行い、それらを総合し評価をする。発言、提出物等の普段点も加味する。
教科書	初回、教場にて指定。

科目名	担当者名
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	前田脩

講義のねらい	会話文のテキストにより、英語の面白さを知ってもらう。
講義の内容・授業スケジュール	授業はじめにリスニングを行い、そのあと、日英の文構造の違いに留意し、テキストを読み進めます。
履修上の留意点	授業は予習し、積極的に参加してください。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期後期の試験を総合的に評価します。
教科書	「サバイバル・イングリッシュ」(朝日出版) 1,400円 ISBN4-255-11106-5 C1082 「TOEIC テスト リスニング 入門」(成美堂) 900円 ISBN4-7919-4580-8

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II A	はまぐちまさき 濱 口 真 木

講義のねらい 英語の基本的な文法・構文を重点的にチェックしながら、読む、聞く、書くなどの英語の運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読みすすめ、英語の運用能力を身につける。

履修上の留意点 授業中の発表と出席率を重視するので、予習をしてくること。

成績評価の方法 口頭発表、出席率、前期後期テストなどを総合して評価する。

教 科 書 『*The World at a Glance* 世界事情拝見』(南雲堂) 1,500円
ISBN4-523-17525-X

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 II A	おおふちとしほる 大 淵 利 春

講義のねらい 英作文の練習をすることで、英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール テキストの問題を解くことを中心にすすめる。また、リスニングの練習も行なう。

履修上の留意点 予習は必ず行なうこと。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期2回の定期試験の結果をベースとしながらも、出席状況、授業への参加度なども考慮に入れ、総合的に評価する。

教 科 書 『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円

科目名

担当者名

英語ⅡA

おお た み ち こ
太 田 美 智 子

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『Say It In Songs』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名

担当者名

英語ⅡA

たか の ひで お
高 野 秀 夫

外国語

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

履修上の留意点

- (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。

成績評価の方法

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各1回テスト
 - (a) 英語ニュース
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

教科書

『Unique English Composition (Vol I・II)』
『TV News Watching・21 Approaches』

科目名

担当者名

英語ⅡA

しば た こうたろう
芝 田 興太郎

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(A) 幾つかのテーマの中から自由を選択し、年間3～4篇のESSAY(自由作文)を書き上げる。

(B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教科書

Yoshihiro Nakamura『ENGLISH WITHOUT TEARS』(松柏社)

外国語

英 語 Ⅱ B

〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：ⅠBを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	担当者名
英語ⅡB	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

杉本豊久、孝子共著『*In-Depth Reading* パラグラフの読みと深化』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語ⅡB	太田由紀子

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を読むことで読解力を養うと共に彼の生きた19世紀末の英国、20世紀初頭の米国に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

読解を進めるかたわら進行状況に合わせてチャップリン監督・主演の映画を鑑賞する。サイレント映画からトーキー（セリフのついた映画）へと移りゆく作品群であるが、各々の魅力を感じ分けると同時にトーキー鑑賞に際しては聴解力の訓練を行う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin 著 *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
UK £9.99 ISBN: 0141011475

科目名	担当者名
英語ⅡB	まえだ 前田 ちか子

講義のねらい	演劇のテキストにより、英語の面白さを知ってもらう。
講義の内容・授業スケジュール	会話のニュアンスがわかるように丁寧にテキストを読みすすめる。できる限り全員が発表に参加できるようにします。
履修上の留意点	授業の予習が大事です。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期後期の試験を含めて評価します。
教科書	「フル・フォア・ラブ」(鶴見書店) 1,000円 ISBN4-7553-0114-9 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡB	たなか やすこ 田中 靖子

講義のねらい	本授業では、比較文化論の教材を用いながら、英語圏の文化や考え方についての基礎的な知識を習得しリーディング力を高めていくことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って基礎的な文法事項や語法を丁寧に説明しながら、読解力を高めていけるように授業を構成していきます。さらに、発展させてreadingで得た知識を基に、自国と他国の文化の相違について分析して、自国の文化について見つめ直していく学習も行います。
履修上の留意点	本授業は事前の予習を前提として進めます。
成績評価の方法	この授業では休まずに出席してactivitiesに参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。
教科書	教場にて指示します。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB	おおた ゆきこ 太田 由紀子

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を読むことで読解力を養うと共に彼の生きた19世紀末の英国、20世紀初頭の米国に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	読解を進めるかたわら進行状況に合わせてチャップリン監督・主演の映画を鑑賞する。サイレント映画からトーキー(セリフのついた映画)へと移りゆく作品群であるが、各々の魅力を感じ分けると同時にトーキー鑑賞に際しては聴解力の訓練を行う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin 著 <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99 ISBN: 0141011475

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA	すぎもと まさとし 杉本 正 俊

講義のねらい

「ドイツ語入門」が授業の真のテーマですが、特にこの授業では、「文法」にスポットをあてて、初めて学ぶ外国語であるドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意しますが、その他の学習項目はすべて教科書の記述順に授業を進める。教科書を一冊すべてやり終えることが、いちおう、一年間の授業の目標となる。

履修上の留意点

授業中は勉強に注意を集中すること。又与えられた課題はすべて、きちんとこなすこと。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進みぐあいを見て決める。が、後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加すること。授業中のまちがいは成績には全く影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

西本美彦・西本アンゲリカ『エクセ12-ドイツ文法』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠB	やぶした こういち 藪 下 紘 一

講義のねらい

ⅠBでは、口答表現練習をします。ドイツ語ⅡBにつながる、又コミュニケーションⅠにも進めるコースです。外国語学習では、能弁は銀、沈黙は金、なんて言われていられません。口やあごの筋肉の使い方が違うので、最初は疲れます。そこをガマンして続けていると、話せるようになる基礎ができあがります。

成績評価の方法

成績は中間試験（7月）と年度末試験（1月）を中心に評価しますが、出席も重視します。

教科書

大谷『言ってみよう、ドイツ語で!』（同学社）2,500円+税

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しばのひろこ 柴 野 博 子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	やぶ した こう いち 敷 下 紘 一

講義のねらい

1年生で習った知識を基にして、やさしい文を訳してみます。単語と言い回しが一寸むつかしいかもしれませんが、解説がたくさんあるので、何んとかかります。

成績評価の方法

評価は中間試験（7月）と1月の年度末試験で（50点満点の試験を2回）決めますが、平常点も、出席も加味します。

教科書

『ドイツ人の一生』（朝日出版社）1,900円＋税

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）
 前期後半：練習問題と平行してテキストの読解
 後 期：テキストの読解
 （テキストは昨年ⅡAで使用のものと同じだが、昨年の続きの部分、つまり収容所の生活が始まる7章の24ページから始まります。それまでのあらすじを最初に説明します。）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」（同学社）1,500円

外国語

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A	あしはら けん 荻原 眷

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）

科目名	担当者名
フランス語 I B	はま さき せつ お 浜崎 設夫

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

藤田裕二他『新・東京一ぱり、初飛行』（駿河台出版社）2,310円

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	桑田禮彰 <small>くわ た のり あき</small>

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業で、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	沼倉広子 <small>ぬま くら ひろこ</small>

講義のねらい	辞書を使いこなして文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランスのさまざまな変化を多面的に取り上げて、写真や地図、グラフなどの資料、時にはビデオなどを見ながらフランスの今を理解する。
履修上の留意点	文法の勉強もするので、休まない事が肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマンーフランス語・フランス文化への誘いー』（駿河台出版社）2,625円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	菅谷暁 <small>すが や ともる</small>

講義のねらい	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験によります。
教科書	ボームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,800円
その他	毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るといったことは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円
武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円
愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。
対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円
倉石武二郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	小 布 直子 とく せ なの のぶ
中国語ⅠB	徳 間 佳信 とく ま よし のぶ

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につけます。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語 I A	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small>
中国語 I B	弘 兼 加奈子 <small>ひろ かね こ</small>

講義のねらい	中国語の基礎力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	当クラスは教師2名によるペアクラス（I A、I B）である。課文は20課から成り、当初は特に発音に力を入れる。
履修上の留意点	一日も欠席しないという気持で授業に臨んで欲しい。また、受講者には復習を中心に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	I B では、年間約4回の試験を行う。最終評価は、期末試験と平常評価によって総合的に判断する。
教科書	上野恵司著『標準中国語 基礎編』（白帝社）2,100円

科目名	担当者名
中国語 I A	工藤 早 恵 <small>くどう さ え</small>
中国語 I B	塩 旗 伸一郎 <small>しお した しんいちろう</small>

外国語

講義のねらい	中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。
履修上の留意点	必ず中国語 IA・IB（火曜第4時限 工藤、土曜第1時限 塩旗）とセットで履修すること。 なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。
成績評価の方法	定期試験+小テスト+平常点-缺席点。 「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。 缺席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で缺席1回に換算する。
教科書	相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A	上原 かおり うえ ほん かのり
中国語 I B	下出 のぶこ しも いで のぶ こ

講義のねらい

中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の練習から始め、簡単な対話文を通して基本的な表現方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

上原（IA）、下出（IB）が同一教科書で授業を行ない、一人は主に文法的な説明を、もう一人は主に学習内容についての練習問題を担当します。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を行ない、大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名
中国語 I A	本間 由香利 ほん ま ゆかり
中国語 I B	曹 たい 和 そう たい わ

外国語

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点

予習復習を行い必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、B担当教官がそれぞれ行います。

教科書

楊凱采・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語 I A	よしだ たていちろう 吉田 建一郎
中国語 I B	まさふみ 佐藤 普美子

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

とにかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎
中国語 I B	ちよういとう 張 涓 涛

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語 IA・IB（火曜第4時限塩旗、土曜第1時限張涓涛）セットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
缺席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	あきもと 翼

講義のねらい

日本語の中に溶け込んでいる故事成語の由来を中国語で読んでいく。初級文法を復習しながら正確な意味の把握ができるよう読解力を養う。

履修上の留意点

新しい単語がたくさん出てくるので予習・復習を欠かさず授業に臨むこと。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、音読にも力を入れたい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

荒屋勤『日本に生きる中国語－故事成語編－』（朝日出版社）1,785円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	きとう ふみこ 佐藤 普美子

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

とにかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	り 李 雲

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	いわさき ひとし 岩崎 皇

講義のねらい	中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、授業態度、試験結果から評価します。試験は年間4回行います。授業中に日時範囲等説明しますので、欠席しないよう注意してください。
教科書	大川完三郎『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	はしもと さちえ 橋本 幸枝

講義のねらい	正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	うめだ まさこ 梅田 雅子

講義のねらい	一年時に学習した内容を整理・復習しながら、聞き取り能力と会話能力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、新出単語から聞き取り試験を行う。本文・新出単語・文法事項などの確認の後、二人一組で会話の練習を行い、発表する。適宜、発音方法の確認と矯正を行う。
履修上の留意点	3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参
成績評価の方法	平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%
教科書	中国詩文研究会『総合現代中国語』（東方書店）1,800円

科目名

担当者名

中国語ⅡB

ひろかね かなこ
弘 兼 加奈子

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは聞き取り中心の実践的な内容となっている。後半は作文にも力を入れる。
趣味や将来の夢等、自分の事を表現出来るようにしていく。

成績評価の方法

成績は年間4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円

外国語

〔スペイン語〕

科目名

担当者名

スペイン語ⅠA

かめ やま こう いち
亀 山 晃 一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名

担当者名

スペイン語ⅠB

おの の まさ し
荻 野 雅 司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名

担当者名

スペイン語ⅡA

おお いわ いほ
大 岩 功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語・基礎と演習』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	ま し も ゆう いち 真 下 祐 一

講義のねらい	一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	おお いわ いまは 大 岩 功

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
教科書	国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社
参考書等	推奨辞書 官城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B: 発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B: 一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷 正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村 彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA	佐野朝子

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名
ロシア語ⅠB	廣田英靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点を置き、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	杉山秀子

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

やさしいロシア語読本（杉山秀子他著）（大学書林）、一年次にわたした文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

外国語

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	木村英明

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

《再履修クラス》

〔英語〕

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ とう ひろ こと 松 堂 啓 子

講義のねらい	リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。
講義の内容・ 授業スケジュール	本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。
履修上の留意点	出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。
成績評価の方法	小試験・期末試験等を総合的に評価します。
教科書	『Power-Up English 〈Basic〉』（南雲堂）ISBN4-523-17449-0

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ ひろ み 岩 井 洋 美

講義のねらい	自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。
履修上の留意点	欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。
成績評価の方法	出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まさ の てる よし 牧 野 輝 良

講義のねらい	英文構造の理解をめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。
履修上の留意点	かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。
成績評価の方法	3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。
教科書	田本&Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はぎわら 萩原 てる 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	J. グレイ・高橋・他著 World Companies『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス） ISBN4-8034-1228-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Appreciating European Culture』—生まれ変わるヨーロッパ—（成美堂）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	かわ さき えみ 川 崎 笑 佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『Enjoy Writing for Everyday Use』（北星堂）1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお た ゆきこ 太田 由紀子

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin, <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99 ISBN : 0141011475

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ひ やま すすむ 椛 山 晋

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ はら やす ちか 岩 原 康 夫

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN 4-255-15280-2

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	丸小哲雄

講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

講義の内容・授業スケジュール

英文法は総合理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

Decoding Advertisements (英宝社)
A Complete College English Program Book 3 (金星堂)
 ISBN4-7646-3813-9

参考書等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高見陽子

講義のねらい

英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。

成績評価の方法

前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書

土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、*A Complete College English Program* 『大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)』(金星堂) 1,900円
 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	さわだまゆみ 澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

杉本豊久、孝子共著『*In-Depth Reading* パラグラフの読みと深化』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	えださちこ 江田幸子

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

『*Base Line*』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17503-9

外国語

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	そうまよしあき 相馬美明

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst『*American Communication Patterns*』（金星堂）1,200円 Mitsuo Sugawara『*10-Minute Listening (Introductory)*』（桐原書店）780円

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

高柳文江

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には 2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%。

教科書

『Looking at America』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

大瀨利春

外国語

講義のねらい

英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。

履修上の留意点

授業は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

未定

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

西村祐子

講義のねらい

英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り力をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

前期：教科書 UNIT 1-11まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。（各ユニットごと）

後期：UNIT12-22まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験（各ユニットごと）

履修上の留意点

出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。

成績評価の方法

口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を3分の1とし、残りの3分の2は発表と聞き取り試験で採点する。

教科書

Essential Listening 3 (Macmilan)

科目名	担当者名
英語ⅠB〔再クラス〕	飯沼好永

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

Leading Companies in the 21st Century 「21世紀の企業—成功の舞台裏」（松柏社）1,900円
ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	菅原典子

講義のねらい

テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

熊井信弘/Stephen Timson 共著 *Smash Hit Listening Revised Edition* 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミランランゲージハウス）2,100円
ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『*Access To The Future*』（南雲堂フェニックス）

科目名

担当者名

英語ⅡA〔再クラス〕

佐藤 江里子

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名

担当者名

英語ⅡA〔再クラス〕

岡崎 寿一郎

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50％）、前期試験に代わる夏季レポート（25％）、後期試験（25％）の総合評価。

教科書

丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから見た日本の環境』（英宝社）1,800円

外国語

科目名

担当者名

英語ⅡA〔再クラス〕

吉江 正雄

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

H. G. Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の二以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H. G. Wells 著『A Short History of the World』（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）
1,800円
ISBN4-7647-3750-7

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	矢島直子

講義のねらい

英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

James Bean, Listen to this ![Intermediate](成美堂) 2,400円
ISBN4-7919-4579-4

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	外池一子

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましいです。

成績評価の方法

平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名**担当者名**

英語ⅡA〔再クラス〕

山岸 二郎

講義のねらい

すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。

履修上の留意点

予習しておくこと。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。

教科書

Ins & Outs (金星堂) 1,700円
ISBN4-7647-3812-0 C1082**科目名****担当者名**

英語ⅡB〔再クラス〕

佐藤 江里子

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な読解力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名**担当者名**

英語ⅡB〔再クラス〕

長谷川 公一

講義のねらい

マザー・テレサは、インド・カルカッタの貧民街で生活苦にあえぐ人々のために、献身的な行動で一生を貫いたカトリック尼僧である。この教科書では、マザー・テレサの生き方を知り、考えてみたい。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388円

その他

月曜日・4時限目

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	川手 浩一 <small>かわ て ひろかず</small>

講義のねらい

本書は大学における英語の総合教材として作成されたものである。特に現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめながら日常的な衣食住に至るようなアメリカの局面を扱っていく。

履修上の留意点

授業は予習、復習し練習問題をかならずしてこよう。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	長谷川 公一 <small>はせがわ こういち</small>

講義のねらい

現代のアメリカ人は、いったいどうゆう生活を送っているのだろうか。ごく普通のアメリカ人の学校での生活、家庭、ショッピング、健康状態、デートなどの活動を取材し、現代の日本人の生活と比較しつつ、実像に迫ってみたい。

成績評価の方法

出席率+前後期2回のテストで評価します。

教科書

『ちょっと日米比較』（南雲堂）1,400円

その他

月曜日・5時限目

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	前田 脩 <small>まえ だ おさむ</small>

講義のねらい

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進める一方、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を含めて総合的に評価します。

教科書

「西洋文化の歩み」（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-0368-8 C3082

科目名

英語ⅡB〔再クラス〕

担当者名

おち あい かず あき
落 合 和 昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりである。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『5分間口語英語表現』（南雲堂）900円
『ミーティング・ピープルⅡ』（弓プレス）1,600円
ISBN4-8034-1180-8 C1082

外国語

科目名

英語ⅡB〔再クラス〕

担当者名

ほん ま とし かず
本 間 俊 一

講義のねらい

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂）1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	尾形重政

講義のねらい	英語IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように大意の把握に心がけ、読む速度をアップさせることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や TOEIC 等の問題も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくる。また、辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業態度を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。
教科書	LOOKING BACKWARD - <i>Major Events of the 20th Century</i> 事件でたどる20世紀 (南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	手島敬子

講義のねらい	本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。
教科書	開講時指示

外国語

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	もとほしうら <small>もとほしうら</small> 本橋 右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。やさしい例文にできるだけ多くあたり、運用能力の涵養を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	し ま と み え <small>し ま と み え</small> 志 真 斗美恵

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、発音練習をし、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。毎回必ず辞書持参のこと。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『魔法使いの弟子——なじみやすいドイツ文法』（同学社）2,300円

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	いむらゆきこ <small>いむらゆきこ</small> 井 村 行 子

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	数下 紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦勞しておく、あとが楽になります (2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

『ドイツ文法 アウトライン』(郁文堂) 1,700円+税

その他

このクラスは昨年一寸点がとれなかった人達のものですが、今度こそは優とってやる、と腹をくくって頑張ってください。

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書

南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2,300円

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	いい づか 公夫

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。

教科書

菅谷泰行他著「EUで学ぶドイツ語」(白水社) 2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	杉本正俊 <small>すぎもとまさとし</small>

講義のねらい

ドイツ語を全く知らない人に ABC からドイツ語を教えます。発音、文法、語彙などあらゆる観点からドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意するが、その他はおおむね教科書に記載された項目順に学習を進める。

履修上の留意点

予習は必ずしも要求しない。授業中は勉強に注意を集中し、与えられた課題は全てきちんと行う事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進み具合を見て決める。しかし後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは全く成績には影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

太田隆士・明石真和・櫻井千絵著『楽しいドイツ語トレーニング』（三修社）2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	本橋右京 <small>もと はし う きょう</small>

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。できるだけ基本表現は覚えて行きましょう。

履修上の留意点

しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新々・じゃあ、またあした！』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 II A〔再クラス〕	もり こう せい 森 公 成
ドイツ語 II B〔再クラス〕	

講義のねらい

ドイツ語 IA と IB を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせませす。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もと はし う しょう 本 橋 右 京
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。
講義の内容・授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	伊藤・他「グーテ・ライゼ！」＜新版＞（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	い むら ゆき こ 井 村 行 子
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	2年生のドイツ語を復習します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って進めます。
履修上の留意点	何はともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	教科書販売時まで決めて、書店のほうに連絡しておきます。

外国語

[フランス語]

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	まえ だ のり かず 前 田 祝 一

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

天羽・他編『初級フランス語文法（改訂版）』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	あし ほら けん 芦 原 眷

外国語

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	担当者名
フランス語 I A(再クラス)	小玉 齊夫 <small>こ だま なり お 夫</small>

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然です。

教科書

斉藤 昌三 著 『ル フランセ』(白水社) 1,750円
ISBN4-560-06052-5

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名
フランス語 I A(再クラス)	菅原 猛 <small>すが はら たけし</small>

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社) 2,200円(税別)

科目名	担当者名
フランス語ⅠA〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	菅谷 暁

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	今関 アン

講義のねらい	一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
履修上の留意点	2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
成績評価の方法	2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)
教科書	安田悦子著『ヴィット フェ・ビヤン フェ』（白水社）2,100円
参考書等	仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入） 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	伊藤 なお

講義のねらい	フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いての練習問題に取り組みます。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行いません。
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	平常点、前・後期試験によって判定します。
教科書	藤田裕二『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。ビデオの映像と音声により、フランス語とフランス文化に親しみつつ、簡単なフランス語会話を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。
履修上の留意点	出席重視。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。
教科書	田中保子『サリュ!』（駿河台出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	小玉 齊 夫
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	文法事項の復習をしながら、やさしいフランス語を読み進み、フランスという文化圏についての知識・判断を深めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそですが、二週で一課を終わらせるという速度で、進んでいきます。一課終了ごとに、その課について的小テストも行う予定です。
履修上の留意点	健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、そのつど、新たなフランスに関する知識・判断をたくわえていって下さい。授業には、以前使用していた文法の教科書や仏和辞書を必ず持ってくることを。
成績評価の方法	（上記の）小テスト、授業への〔参加〕の様子、それに、前期および後期の試験で評価します。毎回の出席は義務（ならびに権利）です。「出席点」というものは付けません。
教科書	中村著『素顔のフランス ―ヴァリエーション―』（青山社）1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランス一周自転車レースを追いながら、フランスの地理、歴史の概要が理解できるようにする
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	[テキスト版] 『ツール・ド・フランス』 三野博司著 (白水社) ISBN4-560-00969-4 C3085

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。
履修上の留意点	フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。
成績評価の方法	成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。
教科書	ミカエル・フェリエ著・福井編『クロヴィス——フランスの誕生——』(朝日出版社) 1,155円

〔中国語〕

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,100円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あき もと たすく 秋 元 翼
中国語 I B〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

発音面も重視し、ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の正しい発音・語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型の運用能力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

正しい発音を習得するには、先ず発音記号の「拼音字母」及び「声調符号」（四声）の読み方を併せて学習する。それから、基本文型に入る。

履修上の留意点

予習と復習が不可欠である。よって自主的学習が、その成果につながることを心得て欲しい。

成績評価の方法

平常点で評価する。（出席状況を加味する）

教科書

陳榮生等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,625円（本体）

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ね 根
中国語ⅠB〔再クラス〕	ぎし 岸 まさ 政 こ 子

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

瀬戸口律子『中国語はじめました』（駿河台出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	と 戸
中国語ⅠB〔再クラス〕	ぼり 張 よし 嘉 かつ 勝

外国語

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③教科書の設定したコミュニケーション場面の基本的な会話パターンを解析し、基礎文法を習得する。そして、会話文や基本表現とドリルを通して、語彙や表現法を増やし、中国語的な会話の運び方を習得する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）編著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ほん ま ゆかり
中国語ⅠB〔再クラス〕	本 間 由香利

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音記号の習得を徹底的に訓練します。毎回の授業は、単語・例文の意味確認、文法の説明を行い、聞き取りや簡単な会話練習も行う予定です。
履修上の留意点	出席を重視します。自宅で予習復習を行い、発音練習をしてくることを。
成績評価の方法	平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。
教科書	南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ちよう い とう
中国語ⅠB〔再クラス〕	張 渭 涛

講義のねらい	中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験等などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。
成績評価の方法	出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張って続けていけば、必ずためになる。
教科書	加藤阿幸ほか『総合現代中国語・会話と閲読』（中国詩文研究会発行、東方書店出版）1,800円（CD付き）
参考書等	推奨辞書は開講時に説明する。
その他	「你好」から始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ひろ <small>ひろ</small> かね <small>かね</small> かなこ <small>かなこ</small>
中国語ⅠB〔再クラス〕	弘 兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール	当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは文法を踏まえながらも、実践的な内容となっている。
履修上の留意点	諸般の事情はあると思うが、本年度は特に出席率を重視する。
成績評価の方法	成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	塚本慶一 劉穎『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	らん <small>らん</small> めい <small>めい</small>
中国語ⅠB〔再クラス〕	蘭 明

外国語

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社) 2,835円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	うめ <small>うめ</small> だ <small>だ</small> まさ <small>まさ</small> こ <small>こ</small>
	梅 田 雅 子

講義のねらい	物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上をねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	中国語による講読を通して、中国文化に触れると共に、文法事項の確認と定着を図る。なお、授業中に適宜、小テストを行う。
履修上の留意点	3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書(日中・中日)持参
成績評価の方法	平常点(出席・授業態度・小テスト)40%、前期試験:30%、後期試験:30%
教科書	八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』(白帝社) 1,890円 ISBN4-89174-411-1

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	岩崎 皇 <small>いわさき ひろ</small>

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

大川完三郎編『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	李 雲 <small>り うん</small>

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

桜井明治『「中級」漢語会話』（駿河台出版社）2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名

担当者名

中国語ⅡB〔再クラス〕

らん
蘭

めい
明

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,835円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おわ いわ いちむ 大 岩 功
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説をベースに、文章の読解の力をつけてゆきます。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	適宜小テストを行います。訳読の予習を前提に授業を進めます。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J, ナバロ <i>Espanol dinamico</i>

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎ の めい 萩 野 恵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

萩野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さ どう まりの 佐 藤 麻里乃
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）

教科書

アルマラス他『プラサ・マヨールⅠ』（朝日出版社）

参考書等

『和西辞典』（出版社は不問）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	下記のテキストを用いて、やさしい会話や文章を読みながら基礎文法を最後まで習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業に臨んでいただきたい。毎回授業時に必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	平常点（40%）、前・後期テスト（30%）、授業時の小テスト（30%）を合わせて評価する。
教科書	西川喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	福寛教隆著『生き生きスペイン語』（朝日出版社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名**担当者名**

スペイン語ⅡA〔再クラス〕

かめ やま こう いち
亀 山 晃 一

スペイン語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名

担当者名

ロシア語 I A〔再クラス〕

すぎやま ひでこ
杉 山 秀 子

ロシア語 I B〔再クラス〕

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

図書館書誌検索画面へ
『露和辞典』

外国語

科目名

担当者名

ロシア語 I A〔再クラス〕

さ の あさ こ
佐 野 朝 子

ロシア語 I B〔再クラス〕

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳ニーナ
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	おお す か ふみ かず 大須賀 史 和
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	あん とく 二ーな 安 徳 二ーナ
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名
英文講読	はやし 明人

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名
英文講読	やしま なおこ 矢島直子

講義のねらい

イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

Laura Wada『*Breathing Corpses*』(Oberon Books) 2,550円(税別)

科目名	担当者名
英文講読	まきの てるよし 牧野輝良

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	竹村恵都子 <small>たけむら えつこ</small>

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

後日確定しだいお知らせいたします。

科目名	担当者名
時事英語研究	林明人 <small>はやし あきと</small>

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

外国語

科目名	担当者名
時事英語研究	岸本茂和 <small>きし もと しげかず</small>

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism” (人種差別主義)・“sexism” (性差別主義)・“political correctness” (政治的妥当性)・“multiculturalism” (多文化主義) などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』(朝日出版社) 本体1359円+税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名
時事英語研究	田中保

講義のねらい

The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース頻出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてくること。

履修上の留意点

必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。

教科書

『時事英語の総合演習—2006年度版—』(English for Mass Communication, 2006 edition)
(朝日出版社) 1,500円
ISBN4-255-15427-9 C1082

外国語

科目名	担当者名
時事英語研究	矢島直子

講義のねらい

Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。

教科書

『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17499-7

科目名

マルチ・メディア

担当者名

おちろ あいかず あきと
落合 和 昭

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」ともなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

外国語

科目名

マルチ・メディア

担当者名

おお ぼ なお き
大 庭 直 樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらい、インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名

マルチ・メディア

担当者名

にし むら ゆう こ
西 村 祐 子

講義のねらい

英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演じ、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。
1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。
 2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。
 3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。
 4. 撮影基礎学習、ドライ撮影
 5. 撮影(学外撮影含む)
 6. ビデオ編集、完成
 7. 上映会

履修上の留意点

受講人数制限あり。

成績評価の方法

平常点(出席点、提出物など)で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)

その他

学外撮影あり。アドビ・プレミア(編集ソフト)を使用。カメラ・三脚マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・ 授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0-13-920000-2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I
Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance: 50%
Tests: 25% (one test each semester)
Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

講義のねらい

English Conversation IC was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real - world English.

講義の内容・
授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... Want ... Would like ... / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation IC.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名
英会話 I	ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科目名	担当者名
英会話 I	ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Language house
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名**担当者名**

英会話 I

レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

**講義の内容・
授業スケジュール**

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名

担 当 者 名

英会話Ⅱ

ソルタ, P. N. F.

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・ 授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

外
国
語

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『Face To Face: English for Today's Generation』 Student's Book 1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い)。カンニング(代返、教室退場、盗作などしないこと(成績評価は「不可」になる)。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

『Viva! San Francisco』 published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科目名	担当者名
英会話Ⅲ	ウエルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ピアス, D. M.

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of your for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.

外国語

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL I	おお た まさ こ 太 田 雅 子

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。

履修上の留意点

4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵『*Natural English for Beginner*』

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なりスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training の CD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Hisako Murakawa 著『*Sounds Right! Sounds Good!*』(Macmillan Languagehouse)
2,000円

科目名	担当者名
英語LLI	加藤 佐和子

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English 20』(英進社)
『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語LLI	久保 ひさ子

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名
英語LLI	西村 祐子

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月: 基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。
9-12月: ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望: 学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点(出席率、発表など)重視。

教科書

前期は『Talk It UP (1)』(マクミラン社)使用。

参考書等

教場で指定する。

科目名

担当者名

英語LLI

はなわ
埜
みちこ
美智子

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりを見つめる習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -
(金星堂) 2,300円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

外国語

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	おわ た まさ こ 太 田 雅 子

講義のねらい テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。

履修上の留意点 4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の注意点について詳しく説明します。自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法 毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書 小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	との いけ かず こ 外 池 一 子

講義のねらい 最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点 英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書 開講時に指示します。

そ の 他 英語LLIを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

科目名

担当者名

英語LLⅡ

にしむら ゆうこ
西村 祐子

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかにいれる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：*New Headway Pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway Elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

外国語

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名

担 当 者 名

英語 LL Ⅲ

レーン, C. M.

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・ 授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
英語LLⅢ	久保ひさ子

講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名
英語LLⅢ	西村祐子

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書の Unit 1-5 まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書の Unit 6-10 まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータ ID を必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前に LLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他

少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語外国書講読	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい	他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。
成績評価の方法	年1回の試験と平常点で行います。
教科書	教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名
時事ドイツ語	ほりうちみえ 堀内美江

講義のねらい	サッカーの世界カップがあり、初の女性首相も誕生し、ドイツは今注目の国となっています。さらに古い伝統をもち、日本とも深いつながりのある国でもあります。日本への関心も、ドイツではアニメから食文化、伝統芸能や折り紙や盆栽のファンもいる程、はば広く持たれています。 この授業では、そんなドイツから私たち日本人はどう見られているのだろうか、という観点から、様々なメディアで語られる日本の姿を通し、ドイツ語を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：新聞を読む、ラジオを聞く、テレビを見てみることを通して、実際のドイツ語の使われる場面を体験します。テキストは日本についての記事を中心に扱います。 後期：テキストを読む、ニュースを聞く、映画を見るといった、より長いコンテキストの中でドイツ語を体験していきます。テキストは、日本に関するものだけではなく、ドイツの「今」を感じさせるものを選びます。
履修上の留意点	皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。
成績評価の方法	出席、発表などを含めた総合評価をおこないます。
教科書	プリント配布

科目名	担当者名
上級ドイツ語	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい	ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。
講義の内容・授業スケジュール	前半は、やさしい文章をできるだけたくさん読みます。 後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。独検3級のレベルを目標にしています。
成績評価の方法	年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。
教科書	教材は、コピーしてお渡します。

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅠ	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ

- 講義のねらい** ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** テキストは教室で配布する。
- その他** ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅡ	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ

- 講義のねらい** ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** *Themen I neu*
- その他** ビデオを使用する。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA(選)	<small>やぶ</small> 薮 <small>した</small> 下 <small>こう</small> 紘 <small>いち</small> 一

- 講義のねらい** ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦労しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦労しておくと、あとが楽になります(2年生で)。
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)
- 教科書** 在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社) 2,200円+税

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅠB(選)

のじま としあき
野 島 利 彰

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらにはEUを知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。

教科書

大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」三修社 2,600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引にくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名**担当者名**

ドイツ語Ⅱ(選)

いむら ゆきこ
井 村 行 子

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog—ステップアップ版』(郁文堂)

科目名**担当者名**

フランス語外国書講読

まえだのりかず
前田祝一

講義のねらい

初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。

履修上の留意点

この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。

成績評価の方法

平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。

教科書

モーリス・ラ、福井・戸張編『オルフェー——ギリシャ神話集——』（朝日出版社）609円

科目名**担当者名**

時事フランス語

くわたのりあき
桑田禮彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

外国語

科目名

担当者名

上級フランス語

小 だま なり お
玉 玉 齊 夫

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の4級あるいは3級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。来年2月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようにして下さい。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ2』
(駿河台出版社) 2,500円
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

外国語

科目名

担当者名

フランス語コミュニケーションⅠ

ラリア・三倉, M.^{みくら}

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『PPP (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名

担当者名

フランス語コミュニケーションⅡ

ラリア・三倉, M.^{みくら}

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著『BIENVENUE EN FRANCE TOME 1』(Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	出口 雅敏

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	前田 祝一

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本語・句型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎回が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずですが。

成績評価の方法

平常点とします。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート (改訂版)』(白水社) 1,800円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I B (選)	菅原 猛

講義のねらい

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞書を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』(駿河台出版社) 2,730円

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ(選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
中国語外国書講読	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子

外国語

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品(主として詩歌、エッセイ、短篇小説)を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章(の一節)を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名
時事中国語	しお 塩 なた 旗 しんいちろう 伸一郎

講義のねらい	インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。 ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。
講義の内容・授業スケジュール	「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。 併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。
履修上の留意点	精読教材は予習が不可欠。 教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html
成績評価の方法	平常点。
教科書	ネット上で採取し、上記 URL に掲示。
参考書等	辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。 これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
その他	PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

外国語

科目名	担当者名
上級中国語	ほん 本 ま 間 ゆかり 由香利

講義のねらい	検定試験／資格試験に対応した授業を行います。ただし履修者の学習到達度を考慮し、それに合わせた授業をします。 講義のねらい 1. ヒアリングの苦手意識克服：まずは簡単な単語、例文の聞き取りから訓練を始めます。 2. 中国語訳の苦手意識克服：中国語の基本構文の復習と理解。今までに学んだ中国語の知識を整理します。 資格取得を特に意識していない学生も歓迎します。
講義の内容・授業スケジュール	どの検定試験や資格試験にも、それぞれの傾向がありますが、どの試験も重視している単語、フレーズ、構文には共通点があります。そのいずれも重要なものばかりで、実際の会話にも役立つものです。授業ではこれらを取り上げ、発音、聞き取り、作文の訓練を行います。
履修上の留意点	自宅で予習・復習と発音練習を行うこと。
成績評価の方法	出席状況・授業態度と前期・後期のテストにより評価します。
教科書	竹島金吾監修・竹島毅・尹景春『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円。

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅠ	岩崎皇

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に、テキストの音声教材を使って、音節をピンインで書き取れるよう訓練します。後期は中国のテレビ映像をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

NOVA『中国語はじめの単語帳』（NOVA 出版局）1,575円

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅡ	曹泰和

講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。

講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションⅠを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。

成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	吉田建一郎

講義のねらい

中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。

履修上の留意点

しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。

成績評価の方法

出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。

教科書

陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名
中国語 I B (選)	蘭 明 <small>らんめい</small>

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語 II (選)	三田村 圭子 <small>みたむらけいこ</small>

講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	欠席は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。
教科書	遠藤光暁著『話す中国語 北京篇 2』（朝日出版社）2,625円
その他	教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
スペイン語外国書講読	うえのかつひろ 上野勝広

講義のねらい	比較的平易なスペイン語の文章を多読します。
講義の内容・授業スケジュール	短編小説や物語、スペイン・ラテンアメリカの文化や社会を紹介した文章を中心に講読してゆきます。また受講者の興味関心を考慮して、具体的なテーマを選択します。
履修上の留意点	毎回の授業参加にあたり、一定量の予習が必要です。辞書をよく調べ、用例をよく読んでください。
成績評価の方法	平常点 (50%) と前期末・学年末の2回のレポート (50%) を合わせて評価します。
教科書	プリント使用。

科目名	担当者名
時事スペイン語	ましもゆういち 真下祐一

講義のねらい	新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。教科書のほかにも、日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本での出来事がどのように伝えられているかも追っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	世界の出来事をスペイン語で読む。スペイン語で見た日本。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。
成績評価の方法	毎回の授業参加と、各期末の達成度チェックによります。
教科書	国本伊代／アレハンドロ・クダ 『スペイン語でニュースを読む』(朝日出版社) また随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
上級スペイン語	うえのかつひろ 上野勝広

講義のねらい	このクラスでは、スペイン語検定試験 (3級・4級) に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。
講義の内容・授業スケジュール	作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の結果 (60%) と平常点 (40%) を総合して評価します。
教科書	小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房) 2,500円

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅠ	ナバロ, ホワンJ.

講義のねらい	スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。
成績評価の方法	授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。
教科書	『Viaje al español』 テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅡ	ナバロ, ホワンJ.

講義のねらい	スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。
成績評価の方法	授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。
教科書	『Viaje al español 上級編』 テキスト及びビデオ教材

外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA(選)	亀山晃一

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名**担当者名**

スペイン語ⅠB(選)

ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『*Español dinámico*』(印刷中)

科目名**担当者名**

スペイン語Ⅱ(選)

おさかのまさし
荻野雅司

外国語

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々が行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

科目名	担当者名
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名
時事ロシア語	き むら ひで あき 木 村 英 明

外国語

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
上級ロシア語	クロチコフ, Y.

講義のねらい	会話練習。 簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。 講読した内容について自由会話を行う。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	教場にて指示します。プリント配布。 学生の要望も考慮してテキストを選びます。 ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーション I	<small>あん</small> <small>とく</small> 安 徳 ニーナ

外国語

講義のねらい	ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S.KHAVRONINA 著『RUSSIAN AS SPEAK IT』(ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーション II	<small>あん</small> <small>とく</small> 安 徳 ニーナ

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名**担当者名**

ロシア語ⅠA(選)

クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名**担当者名**

ロシア語ⅠB(選)

木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠA(選)	宋 美 玲

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	I A:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠB(選)	宋 美 玲

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

I B: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社) 2,400円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語Ⅱ(選)	宋 美 玲

外国語

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

外国語

4. 保 健 体 育 科 目

保
健
体
育
科
目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日・1時限	※鈴木	室内球技
	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング
	竹田	体操・トランポリン
	佐藤	ジョギング
	下谷内	卓球
	内山	ソフトボール
	末次	ダブルダッチ

※は、科目の担当当事者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限					
2時限	長	大	前期・応用	牧	前期・応用
			ミニサッカー※		卓球
	濱	石	後期・応用	野	後期・応用
			ミニサッカー※		卓球
3時限	長	大	前期・基礎	田	前期・基礎
			簡化太極拳※		フットサル
	濱	石	後期・基礎	中	後期・基礎
			簡化太極拳※		フットサル
4時限	大		前期・基礎	鈴	前期・応用
			室内球技		バドミントン
	石		後期・基礎	木	後期・応用
			室内球技		バドミントン

科保健体育

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(室内球技)	禅・仏教1必	通年	2	鈴木淳平	207
健康・スポーツ実習(空手道)	禅・仏教1必	通年	2	高橋俊介	207
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	禅・仏教1必	通年	2	館岡儀秋	208
健康・スポーツ実習(トレーニング)	禅・仏教1必	通年	2	光永吉輝	209
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	禅・仏教1必	通年	2	竹田幸夫	210
健康・スポーツ実習(ジョギング)	禅・仏教1必	通年	2	佐藤政之	211
健康・スポーツ実習(卓球)	禅・仏教1必	通年	2	下谷内勝利	212
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	禅・仏教1必	通年	2	内山雅博	213
健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	禅・仏教1必	通年	2	末次美樹	214
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	秋田浩一	215
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	通年	2	田中佳孝	216
健康・スポーツ実習(トレーニング) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	秋田浩一	217
健康・スポーツ実習(ソフトボール) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	218
健康・スポーツ実習(卓球) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	219
健康・スポーツ実習(バドミントン) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	牧野茂	220
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	鈴木淳平	221
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) 〔再クラス〕	禅・仏教2・3・4年	集中授業	2	光永吉輝	222
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	禅・仏教1選	半期	1	大石武士	223
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	禅・仏教1選	半期	1	長濱友雄	224
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バドミントン)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	禅・仏教1選	半期	1	鈴木淳平	225
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(室内球技)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(卓球)	禅・仏教1選	半期	1	牧野茂	226
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(卓球)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(卓球)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(卓球)	禅・仏教4選				

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バスケットボール)	禅・仏教1選	半期	1	牧野茂	227
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バスケットボール)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バスケットボール)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バスケットボール)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(フットサル)	禅・仏教1選	半期	1	田中佳孝	228
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(フットサル)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(フットサル)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(フットサル)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(簡化太極拳)	禅・仏教1選	半期	1	大石武士	229
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(簡化太極拳)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(簡化太極拳)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(簡化太極拳)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(ミニサッカー)	禅・仏教1選	半期	1	大石武士	230
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(ミニサッカー)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(ミニサッカー)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(ミニサッカー)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教1選	半期	1	鈴木淳平	230
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教1選	半期	1	長濱友雄	231
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(卓球)	禅・仏教1選	半期	1	牧野茂	232
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(卓球)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(卓球)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(卓球)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バスケットボール)	禅・仏教1選	半期	1	牧野茂	233
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バスケットボール)	禅・仏教2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バスケットボール)	禅・仏教3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バスケットボール)	禅・仏教4選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎/応用)	禅・仏教選	集中授業	1	江口淳一	234
生涯スポーツ実習(テニス) (集中後期・基礎/応用)	禅・仏教選	集中授業	1	江口淳一	235
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎/応用)	禅・仏教選	集中授業	1	三幣晴三	236
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	禅・仏教選	シーズン	2	舘岡儀秋 他	237
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	禅・仏教選	シーズン	2	江口淳一 他	239
健康・スポーツ論1	禅・仏教選	半期	2	佐藤政之	240
健康・スポーツ論2	禅・仏教選	半期	2	大石武士	241
健康・スポーツ論2	禅・仏教選	半期	2	三幣晴三	242
健康・スポーツ論2	禅・仏教選	半期	2	牧野茂	243

科
保
健
体
育
目

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(室内球技)	すずき じゅん へい 鈴木 淳 平

講義のねらい	室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。 1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
履修上の留意点	○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
成績評価の方法	出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲を評価する。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(空手道)	たか ばし しゅん すけ 高橋 俊 介

講義のねらい	空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：空手道の歴史と技の説明 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打 7時限目：総合的に反復して練習 8時限目：総合的に反復して練習 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。 11時限目：総合的に反復して練習 12時限目：総合的に反復して練習 13時限目：総合的に反復して練習 14時限目：総合的に反復して練習 15時限目：実技試験
履修上の留意点	服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法	授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。
その他	雨天時は走のための補強トレーニング

保健体育
科目

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ゴルフ)

たて おが よし あき
館 岡 儀 秋**講義のねらい**

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを毎時間に詳しく講義する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)

たけだ ゆきお
竹田 幸夫

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ジョギング)

佐藤 政之

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

平常点など

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

保健体育
科目

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(卓球)

しもやちかつとし
下谷内 勝 利

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

担当者名うちやままさひろ
内山 雅博**講義のねらい**

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)

すえ つぐ み き
末 次 美 樹**講義のねらい**

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ビデオ学習
- 3 時限目：短縄を使って練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）

成績評価の方法

授業率70%、総合評価30%で行う。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (サーブとリターン、ルール解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 5 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： ♪ (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： ♪ (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： ♪ (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： ♪ (ゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： ♪ (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： ♪ (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ゲーム)
- 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 5 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本 I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目： ♪ (キックの基本 II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目： ♪ (ボールコントロールの基本 I、ゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ボールコントロールの基本 II、ゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ゲーム)
- 15 時限目： ♪ (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： ♪ (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： ♪ (ゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： ♪ (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： ♪ (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ゲーム)
- 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(トレーニング)

あき 秋 た こう 田 浩 いち 一

[再クラス]

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』
は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健体育
目育

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目
午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目
午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
午前：〃
午後：〃
- 第5日目
午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(卓球)

しもやちかつとし やまぐち よしひろ
下谷内勝利・山口 良博

〔再クラス〕

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』
は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目体育

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)
〔再クラス〕

まきの野 茂

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健
体育
科目

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(室内球技)**すずき じゅん べい
鈴木 淳平**[再クラス]**

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1 時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)

みつながよし
光永吉輝

〔再クラス〕

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)~23日(日)、(後期)1月7日(日)~11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)

なが はま とも お
 長 濱 友 雄

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
 また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
 } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： }
 } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育目

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)

すずき じゅん ぺい
鈴木 淳 平

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科保健
目育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)

まきの 野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) スマッシュを打つことが出来る。
(3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目：
- 10 時限目： } 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時限目： }
- 12 時限目：
- 13 時限目：
- 14 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム
- 15 時限目： }

保健体育

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まき の 野
牧 野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健
体育
目

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)

たなかよし たが孝
田中佳孝

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(フットサル)

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)

おお いし たけ し
 大 石 武 士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛練するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 保
健
体
育
目
録

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)

おお いし たけ し
大 石 武 士**講義のねらい**

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることでも数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

すず き じゅん へい
鈴 木 淳 平保
健
体
育
目**講義のねらい**

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 4 時限目：反面での簡易ゲーム
 5 時限目：
 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 8 時限目：
 } 総合練習・シングルスゲーム
 11時間目：
 12時間目：
 } 総合練習・ダブルスゲーム
 15時間目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことができる。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)

まさの 牧野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保科
健体
育目

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)

まさの 牧野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1 体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健体育
科目

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1 日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2 日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2 日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3 日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3 日目午後： 〃 〃 (戦術と応用)
- 4 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4 日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月19日(水)～23日(日)
7月19日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限(前期)

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス (平行陣への移行)
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日(日)～11日(木)
1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限(後期)

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習(ゴルフ)

みぬさ はる み
三 幣 晴 三

(集中後期・基礎/応用)

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)たておか よしあき
館岡 儀秋 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20～12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20～12:40 2研-102教場
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日(月) 13:00～16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)
講義：9:00～12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00～17:30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00～18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30～17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30～17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30～13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日～8日(現地：3泊4日)
2. 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112
練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員：40名
4. 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
5. 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
6. 納入期間：平成18年5月22日(月)～6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
7. 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

科保健体育
目 録

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論1

佐藤 政之

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 ♪： (食生活と栄養)
- 4 ♪： (運動不足と成人病)
- 5 ♪： (平均余命と寿命の伸び)
- 6 ♪： (健康のための生活習慣)
- 7 ♪： (喫煙・飲酒)
- 8 ♪： (ストレス社会と健康障害)
- 9 ♪： (ストレスと健康測定)
- 10 ♪：現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 11 ♪： (スポーツマンのトレーニング)
- 12 ♪： (スポーツマンの運動処方)
- 13 ♪： (スポーツ医学の一般知識)
- 14 ♪： (スポーツと環境・条件)
- 15 ♪：まとめ

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

保健体育目

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何か I
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何か I
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論 I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

参考書等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論 2

まきの 野 茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンスアンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」(丸善) 1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版) 2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

保健体育
科目

科
保
健
体
育
目

II 專門教育科目

科
專
門
教
育
目

Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学序説	禅1必	通年	4	熊本英人	251
仏教学序説	仏教1必	通年	4	吉村誠	251
仏教学序説	仏教1必	通年	4	池田魯参	252
坐禅Ⅰ	禅・仏教2必	通年	4	角田泰隆 岩永正晴 永井政之 晴山俊英	253
宗典	禅2必	通年	4	晴山俊英	254
宗典	仏教2必	通年	4	岩永正晴	254
宗典	仏教2必	通年	4	松田陽志	255
禅学研究Ⅰ	禅2・3選必 仏教2・3選	通年	4	大谷哲夫	255
禅学研究Ⅱ	禅2・3選必 仏教2・3選	通年	4	晴山俊英	256
禅学研究Ⅲ	禅2・3選必 仏教2・3選	通年	4	永井政之	256
禅学研究Ⅳ	禅2・3選必 仏教2・3選	通年	4	休講	
仏教研究Ⅰ	仏教2・3選必 禅2・3選	通年	4	奥野光賢	257
仏教研究Ⅱ	仏教2・3選必 禅2・3選	通年	4	吉津宜英	257
仏教研究Ⅲ	仏教2・3選必 禅2・3選	通年	4	四津谷孝道	258
仏教研究Ⅳ	仏教2・3選必 禅2・3選	通年	4	休講	
インド仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	池田練太郎	258
パリー仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	奥平龍二	259
チベット仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	四津谷孝道	260
中国仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	吉村誠	261
朝鮮仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	石井公成	261
日本仏教史	禅・仏教2・3選必	通年	4	菅原征子	262
中国禅宗史	禅・仏教2・3選必	通年	4	石井修道	262
日本禅宗史	禅・仏教2・3選必	通年	4	佐藤秀孝	263
禅籍講読Ⅰ	禅3・4選必 仏教3・4選	通年	4	程正	263
禅籍講読Ⅱ	禅3・4選必 仏教3・4選	通年	4	佐藤秀孝	264
禅籍講読Ⅲ	禅3・4選必 仏教3・4選	通年	4	岩永正晴	265
禅籍講読Ⅳ	禅3・4選必 仏教3・4選	通年	4	松田陽志	265

仏典講読Ⅰ	仏教 3・4 選必 禅 3・4 選	通年	4	片山一良	266
仏典講読Ⅱ	仏教 3・4 選必 禅 3・4 選	通年	4	吉村誠	266
仏典講読Ⅲ	仏教 3・4 選必 禅 3・4 選	通年	4	池田魯參	267
仏典講読Ⅳ	仏教 3・4 選必 禅 3・4 選	通年	4	伊藤隆壽	267
宗教史	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	長谷部八朗	268
インド仏教文化史	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	金沢篤	268
中国仏教文化史	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	永井政之	269
日本仏教文化史	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	袴谷憲昭	270
日用經典	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	岩永正晴	271
禅学概論	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	石井修道	271
仏教概論	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	休講	
中国古典語初級	禅・仏教 1・2・3・4 選	通年	4	吉村誠	272
インド哲学史	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	金沢篤	272
中国哲学史	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	前川亨	273
西洋哲学史	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	中村友太郎	273
インド仏教思想史	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	松本史朗	274
中国仏教思想史	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	伊藤隆壽	274
原始仏教	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	片山一良	275
真宗学概論	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
浄土学概論	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	大南龍昇	275
真言学概論	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	平井宥慶	276
日蓮教学概論	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
新宗教概説	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
神道概説	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	西岡和彦	276
外国語仏書講読	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	四津谷孝道	277
外国語禅書講読	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	石井清純	277
禅学特講Ⅰ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	程正	278
禅学特講Ⅱ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
禅学特講Ⅲ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	石井清純	278
禅学特講Ⅳ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	下室覚道	279
仏教特講Ⅰ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	岡本一平	279
仏教特講Ⅱ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
仏教特講Ⅲ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	林鳴宇	280
仏教特講Ⅳ	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
仏教伝道概説	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
仏教伝道研究	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
青少年問題研究	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	讃岐真佐子	281
青少年指導演習	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	西村寛子	282
宗教法概説	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	石井研士	282
漢詩作法	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	須山長治	283
書道	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	綾部宏行	283
現代と仏教	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
宗教学概論	禅・仏教 2・3・4 選	通年	4	長谷部八朗	284

キリスト教概論	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	挽地茂男	285
イスラム教概論	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	菊地達也	286
哲学概説	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	飯田亘之	286
宗教哲学	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	河谷淳	287
現代哲学概説	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	久保陽一	287
仏教民俗学	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	須藤寛人	288
宗教教育	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	小山一乗	289
心理学概論	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	間島英俊	290
パーリ語初級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	片山一良	291
パーリ語上級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	古山健一	291
サンスクリット語初級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	金沢篤	292
サンスクリット語上級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	金沢篤	292
チベット語初級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	松本史朗	293
チベット語上級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	四津谷孝道	293
中国古典語上級	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	休講	
ラテン語	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	上野勝広	294
仏教文献学	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	野沢佳美	294
中国文学	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	佐藤浩一	295
禪美術	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	村松哲文	295
仏教美術	禪・仏教 2・3・4 選	通年	4	村松哲文	296
坐禅Ⅱ	禪・仏教 3・4 選	通年	4	石井清純	296
坐禅Ⅰ〔再クラス〕	禪・仏教 (再クラス)			松田陽志	
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	池田練太郎	297
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	池田魯参	297
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	石井清純	298
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	石井修道	298
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	伊藤隆壽	299
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	岩永正晴	299
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	大谷哲夫	300
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	片山一良	300
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	金沢篤	301
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	熊本英人	301
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	佐藤秀孝	302
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				
演習Ⅰ	禪・仏教 3 必	通年	4	程正	303
演習Ⅱ	禪・仏教 4 選				

演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	永井政之	303
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	長谷部八朗	304
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	晴山俊英	304
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	松田陽志	305
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	松本史朗	305
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	村松哲文	306
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	吉津宜英	306
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	吉村誠	307
演習 II	禪・仏教 4 選				
演習 I	禪・仏教 3 必	通年	4	四津谷孝道	307
演習 II	禪・仏教 4 選				

科目名	担当者名
禅学序説	熊本英人

講義のねらい

禅学科1年次生の必修科目であるこの講座は、これから4年間、禅を中心に仏教を学び、研究し、そして、禅に対する自分の問題意識と研究成果を卒業論文として提出するための第一である。

禅学とは、単に禅についての知識や坐禅の実践を身につけるだけのものではない。禅が、仏教の歴史の中で、その一つの要素としてどのように意味付けられていったか。その禅が中国に伝わってどのような教えとして展開したか。そして、それが、中国と日本で、仏教はもとより、文化や社会にどのような影響を与えたか。そういった総合的な理解から、あらためて禅について考えるための序説、すなわち、これから本格的に禅を研究するための前置きであり、基礎作業である。

講義の内容・授業スケジュール

まず、大学で禅や仏教について研究するための基礎的な方法を身につけてもらう。そのうえで、禅と、仏教全般についての基礎知識を概説する。さらには、禅を研究していく上での課題がどこにあるかを自ら探し出すための問題提起をしたい。

履修上の留意点

適宜、小レポートを課す。

成績評価の方法

年度末の筆記試験とレポートを合わせて評価する。

教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,680円
石川力山編著『禅宗小事典』（法蔵館）2,520円

科目名	担当者名
仏教学序説	吉村誠

講義のねらい

この講義では、仏典の講読を通じて、仏教を学問として研究する際の基礎知識を学ぶ。取り上げる経典は、原始経典、般若経典、浄土経典、法華経、華嚴経、如来蔵経典、唯識経典、密教経典である。講義はインド仏教の歴史的展開に沿って進めるが、中国や日本における仏教の受容についても随時言及するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ブッダの生涯 (2) ブッダの観たもの (3) ブッダ最初の説法 (4) 仏教の実践教義 (5) 業と輪廻 (6) 真理の言葉 (7) ブッダ最後の旅 (8) ブッダ観の展開 (9) インドとギリシアの対話 (10) 大乘仏教の興起 (11) 無我から空へ (12) 空をめぐる対話 (13) お盆の話
(後期) (1) お彼岸の話 (2) 阿弥陀仏の信仰 (3) 浄土への憧憬 (4) 一つの乗り物 (5) 永遠のブッダ (6) 菩薩とは誰か (7) 法界と衆生心 (8) 仏性とは何か (9) 如来蔵の譬え (10) 心が世界を作る (11) 大乘仏教の総合 (12) 密教の出現 (13) 即身成仏の世界

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備すること。講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してあるので、欠席をしないようにすること。

成績評価の方法

出席状況およびレポート・試験などを総合して評価する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業中に随時紹介する。仏教辞典を購入する場合は『岩波仏教辞典』を推奨する。

科専門教育

科目名

担当者名

仏教学序説

池田魯参
いけだろさん

講義のねらい

仏教を学ぶための基礎知識や基礎課題を修得すること。主要な課題についてどのような人たちがどのようにに関わり、仏教の歴史や文化が形成されたのかを広く学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、釈尊の生涯とその教えの特色を中心に講義を進める。
後期は、仏教が中国や日本など世界の国々に受容されていった歴史を明らかにし、仏教の諸学派、諸宗派の特色や問題点を考察する。

履修上の留意点

理解できないところがあったら授業中にどんどん質問すること。遠慮は要らない。

成績評価の方法

出席、質問等の授業態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

水野弘元『釈尊の生涯』（春秋社）1,500円
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

参考書等

授業の中で課題毎に順次、紹介する。

科目名

担当者名

坐禅Ⅰ

つのだ 角田 たいりゅう 泰隆・岩永 いわなが 正晴
ながい 永井 まさし 政之・晴山 はれやま 俊英

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのであれば、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳肅に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- (2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 専
門 教
育 目 録

科目名**担当者名**

宗典

晴山俊英
はれ やま しゅん えい

講義のねらい

道元禅師の教えの特徴は只管打坐にあるとまとめられることが多いが、その教えが記されている宗典を実際に読んでいる学生は少ないのではないだろうか。また、たとえ読んでみたとしても、『正法眼蔵』などは一読して理解できる書ではない。そこには一般的言語感覚という壁が大きく立ちはだかっているからである。言い換えれば仏の眼差しが散りばめられているのである。この講義を通してそうした仏法ないし曹洞宗の立場を理解され、おのおのが人生の糧とし得れば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に釈尊・道元禅師・瑩山禅師両祖の簡単なプロフィールを紹介し、次に宗典と呼ばれる典籍を一通り説明する。その後、『伝光録』や『正法眼蔵』を中心に実際に内容を読み込んでいくこととなる。

履修上の留意点

仏教学と禅学、そして宗学の立場の違いを確認すること。

成績評価の方法

課題・小テストの状況と、出席状況、授業中の態度によって評価する。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名**担当者名**

宗典

岩永正晴
いわながしょうせい

講義のねらい

曹洞宗で両祖と仰ぐ道元禅師と瑩山禅師の著者について概説し、その内のひとつの巻と章を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

先ず両祖の著者である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説する。その上で、『伝光録』「第五十一祖(道元禅師)章」を講読しつつ両祖の御伝記に触れ、次に『正法眼蔵』「道得」の講読を行う。

履修上の留意点

必修科目なので安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点、および数回のレポート(または小テスト)によって成績評価を行う。

教科書

テキストはコピーしたものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第1・2巻(春秋社刊)、『瑩山禅』第1～4巻(山喜房仏書林刊)。その他は講義の中で必要に応じて紹介する。

専科
教育
目

科目名	担当者名
宗典	まつ だ よう じ 松 田 陽 志

講義のねらい

曹洞宗の両祖である道元禅師・瑩山禅師の行実とその教えを概説・講読することで、曹洞宗の教義・歴史に対する基本的理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

両祖の行実（伝記）の概説と宗典の講読とを行う。
両祖の行実を概説する中で、宗学的視点から重要な事項や語句については、より具体的に取り上げて考察する。
講読する宗典資料としては『正法眼蔵』や『伝光録』に加えて、他の両祖の撰述資料についてもできるだけとりあげていきたい。

履修上の留意点

主体的に自分で考えながら、授業を受けること。授業の内容は自分の考察のきっかけにすぎない。

成績評価の方法

出席点と共に、数回のレポート、小テストによって評価する。

教科書

その都度プリントとして配布する。

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
禅学研究Ⅰ	おお たに てつ お 大 谷 哲 夫

講義のねらい

この科目は、禅の宗旨についての講義を行う。禅者の仏法参学は、自分自らの信仰に基づく教義を論理的に言葉を駆使することによって体系化し論書を構成した教理学者とは異なり、師の随処での説法また修行者の機根に応じての自在な説示に導かれるところが大きい。本講義では、特に、そうした禅者のさとり因縁を達意的にまとめられている道元禅師の『永平広録』の第9巻所収の「頌古」を中心に、江戸時代の註釈書をもとりあげ、曹洞禅の宗旨について講じていく。

講義の内容・
授業スケジュール

道元禅師の「頌古」の解題から、幾つかの頌古を取り上げ、その主題・内容・各注釈書の示す解釈を解説する。

履修上の留意点

講義されるところを必ず予習しておくこと。

成績評価の方法

出席点、学年末試験、レポート。

教科書

所収本をコピーし配布する。

参考書等

訓註『永平広録』上・下2巻（大蔵出版）

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

禅学研究Ⅱ

はれ やま しゅん えい
晴 山 俊 英

講義のねらい

ある教団の宗教生活の実践を考えると、その教団の約束事を確認し、次いでその約束事が存在する意義を探るのが正攻法であろう。そこで道元禪師ないし曹洞宗で用いられる清規と戒律をみることとなるが、この講義を通して、表面的と思われる威儀作法が、実は根底で宗学と密接に関わっていることを理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

道元禪師の撰と思しき清規・戒律文献のポイントを追いかけながら、過去や他宗派、および現状との比較を少しく眺めていく。

履修上の留意点

何故そうするのか、という点を考えられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名

担当者名

禅学研究Ⅲ

なが い まさ し
永 井 政 之

講義のねらい

この授業では、主として中国禅宗教団の変遷について、残された資料を利用しつつ考えます。達磨によって伝えられたという禅宗ですが、その歴史は中国的思考を背景に、さまざまに変化します。社会的影響も少なくありません。禅僧だからといって社会と無縁で生きたわけでもありませんし、まして寺院に在住するとなればなおさらです。

中国には現代的な意味での「教団」はありませんでしたが、それなりのグループはありましたし、彼らが激動する時代の中で政治や経済・社会とどのような関わりを持ったか、さらに内部では求道の生活を維持するためにどのような努力を払ったかを知ることは、禅思想をより立体的に捉えることに大いに役立つものと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容としては、まず西暦前後の仏教初伝の時代を導入とし、仏教教団が中国社会でどのように受け入れられていったかを考えます。破仏についても論ずる必要があるでしょう。ついで唐、宋、元、明代における禅宗教団の成立や発展、衰退について具体的に考え、最後に日本曹洞宗の展開についても触れたいと思います。

履修上の留意点

授業には流れがありますから、休まず出席してください。

成績評価の方法

期末に試験を行い、出席を加味して評価します。

教科書

教科書はありません。授業中に必要な資料のコピーを配布します。

参考書等

鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波書店）
永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
塚本善隆『魏書釈老志』（平凡社）
佐藤密雄『律蔵』（大蔵出版）
その他、適宜指示します。

科目名**担当者名****仏教研究Ⅰ**おくのみつよし
奥野光賢**講義のねらい**

仏教研究Ⅰは仏教の教理思想に焦点を当てて、その再検討を試みる科目である。今年度は天台大師智顛述とされる『修習止観坐禅法要』（『天台小止観』）の講読を通じて天台止観、仏教の禅定思想を考察することを目標とする。『天台小止観』は中国や日本の禅宗の禅定思想を考える上でも重要な著作であるのでしっかりと読んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講初回からしばらくは天台大師智顛の伝記および天台教学一般に対する概説的説明を行う。かかる予備知識を得た上でただちに講読に入る。

履修上の留意点

履修希望者は開講初日にかならず出席すること。疑問点はどしどし質問して欲しい。そうした意欲ある方の受講を望みたい。

成績評価の方法

レポートと平常点によって評価する。

教科書

大正蔵経46巻 p462-473を各自コピーすること。

参考書等

参考書は授業において適宜指示する。

科目名**担当者名****仏教研究Ⅱ**よしずよしひで
吉津宜英**講義のねらい**

仏教研究Ⅱは「実践」をキーワードにして仏教を研究することを目的とする。私の講義は戒律、なかでも戒について考究する。経律論三蔵の律蔵の具体的内容であり、戒定慧の三学にも戒学があり、戒は釈尊の時代から原始仏教にかけて重要な修行徳目であった。これは部派仏教でも共通の事実である。大乘では特別な律蔵が成立せず、従って三蔵の大系もない。ただ経論の諸処に大乘戒の存在が見られる。部派仏教の戒律に比べれば、比較的簡素な戒条である。また中国では『梵網経』が成立し、この教典に基づく大乘戒は東アジア一円に影響を与えて、現在に至っている。四分律と大乘戒が共存する持戒のあり方、中国や韓国では今も生きている伝統が日本では崩れ、各宗ともに梵網戒を中心とした大乘戒のみの受持となっている。戒は仏教者の仏教的生活規定である。日本の無戒、破戒の現状は座視してはすまされない問題である。本講義では、釈尊の原点から戒をキーワードにして、仏教者の実践性、その社会性、その教団の歴史的事実と、現代からの評価を明らかにし、現代仏教への問題提起を行うことを眼目とする。

講義の内容・授業スケジュール

南方上座部のパーリ語による律蔵を検討する。律蔵の「大品」により、釈尊が次第に戒律を定めてゆく経緯を見る。そして、最終的に律蔵の戒律の体系が成立する展開について考察する。釈尊は入滅直前に「小戒」は捨てても良いと言ったと伝えるが、いったい小戒とはどの程度のものであろうか。また教団追放になる四波羅夷が定められた理由も説明したい。最後には大乘戒との違いに注目し、両者の社会生活における倫理性を検討する。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

平川彰『律蔵の研究』Ⅰ・Ⅱ（『平川彰著作集』第9・10巻、春秋社、1999・2000年）。その他は講義の中で随時紹介します

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科 専 門 教 育
目

科目名

担当者名

仏教研究Ⅲ

よつや こうどう
四津谷 孝道

講義のねらい

「聖と俗」、これは宗教というものを考えていく上で極めて重要な問題である。もう少し具体的に言えば、聖なるものは、俗なるものを超越するか、或はその中に内在するか等によって、その宗教における救済のあり方が決定される。この授業においては、それに関するいくつかの局面を検討してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、「仏法と王法」というテーマの下で、特にインド・チベット等に焦点を当てて、この課題に取り組んでいくことにしたい。

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

年度末の試験によって評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業において、随時言及する。

科目名

担当者名

インド仏教史

いけだ れんたろう
池田 練太郎

講義のねらい

インドにおける仏教史を、単に仏教の歴史だけに限定して扱うことはできない。それは、思想や文化などさまざまな面と深く関連しつつ展開したものである。しかし、仏教学部には、インド仏教の思想史や文化史に関する科目も開講されている。したがって本講義は、インドの仏教の多様な側面も視野に含めながら、可能な限り歴史の面に限定して解説することにした。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、おおむね以下のように進める予定である。
a, 仏教成立以前のインド b, 仏教の興起 c, 初期仏教の時代 d, マウリヤ王朝時代の仏教 e, 根本分裂と部派仏教 f, 初期大乘仏教 g, グプタ王朝時代の仏教 h, 後期大乘仏教の展開 i, 仏教の衰退

履修上の留意点

インド仏教の歴史に重点を置きつつ、仏教のさまざまな側面にも目を向けて、「仏教」を総合的に考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

佐々木教悟・高崎直道他著『仏教史概説 インド篇』（平楽寺書店）2,100円

参考書等

平川彰著『インド仏教史』上・下（春秋社）各2,940円

専科
教育
目

科目名**担当者名**

パーリ仏教史

おく だいら りゅう じ
奥 平 龍 二**講義のねらい**

本授業は、紀元前3世紀にインドからスリランカに伝えられ、そこで大成したパーリ語を三蔵聖典用語とする「南方上座部仏教」が11～14世紀に大陸東南アジア諸民族(モン、ミャンマー、タイ、クメール及びラーオなど)に伝えられて以来の歴史的経緯、その仏教の特徴、及び、今日もなお、大多数の人々の篤い信仰を集めている要因等を地域研究の立場から明らかにする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

〈前半〉序論：(1) 東南アジア地域概況、(2・3) 同地域の歴史・文化的枠組及び文献紹介、(4・5・6) 上座部仏教のスリランカ布教と同仏教史概観、(7) 上座部仏教の大陸東南アジア伝来とその特徴、(8～10) ミャンマー仏教史、(10～12) タイ・ラオス仏教史、(13・14) カンボジア仏教史、(15) その他の地域(ベトナム・インドネシア・シンガポール)の仏教史概観。

〈後半〉(16) 東南アジア大陸部における仏教の受容と変容－総説、(17～22) ミャンマ仏教の事例(修行形態、出家者と在家者、女性と仏教修行、仏塔信仰、民間信仰、宗教観等)、(23) 東南アジア大陸部仏教の比較的特徴、(24・25) 東南アジア仏教の最近の動向、(26) 総括。

成績評価の方法

年2回のレポートに受講姿勢を加味し総合的に評価する。

教科書

教科書は使用せず、講義用レジュメ(開講時配布)及び適宜資料を配布する。授業は講義形式ではあるが、ビデオ等の感想や意見を通じ質疑応答も可能な範囲で行う。

参考書等

石井米雄『タイ仏教入門』(めこん)
石井米雄編『講座：仏教の受容と変容』
石井米雄監修『ブッタ：大いなる旅路2』(NHK出版)

科目名

担当者名
よつや こうどう
四津谷 孝 道

チベット仏教史

講義のねらい

チベット仏教は、長い間アジアの一辺境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年の仏教研究においては、チベット仏教の理解が如何に重要であるかが見直されつつある。授業では、仏教研究においてチベット仏教が有するその重要性を様々な角度から闡明してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

思想的な側面と文化的な側面から、チベット仏教の形成、その変遷、そして現状を解説していく。授業は、以下のスケジュールに合わせて進めていく。

- オリエンテーション
- チベット建国神話
- 前期伝播時代の概観
- 吐蕃王国史の流れ
- 仏教の国教化
- 仏典翻訳とチベット語
- サムイェの宗論（1）
- サムイェの宗論（2）
- 吐蕃王国の滅亡
- 東・西チベットにおける仏教復興
- 西チベットにおける仏教復興
- 密教（1）
- 密教（2）
- 後期伝播時代の概観・中観派
- 中観自立派と中観帰謬派
- カギユ派の思想と歴史
- サキャ派の思想と歴史
- ツォンカバ
- ゲールク派の思想と歴史
- ニンマ派の思想
- リメ思想
- 転生ラマ（1）
- 転生ラマ（2）
- チベット動乱
- チベットと日本人（1）
- チベットと日本人（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業に必要な資料は、授業において随時配付する。

参考書等

山口瑞鳳：『チベット』（全二巻）（東洋叢書3）（東京大学出版会）
松本史朗：『チベット仏教哲学』（大蔵出版）

専科
教育
目

科目名	担当者名
中国仏教史	吉村 誠

講義のねらい	中国仏教の歴史を、仏教伝来から現代に至るまで概説する。仏教という外来の思想・文化を、漢民族はいかに受容したのか。政治・社会・教理・信仰など、さまざまな角度から考察したい。本年度は、特に翻訳の問題に注目する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) (1) 仏教以前の中国 (2) 仏教の中国伝播 (3) 後漢の仏教 (4) 魏晋の仏教 (5) 五胡十六国の仏教 (6) 鳩摩羅什の翻訳 (7) 東晋の仏教 (8) 北朝の仏教 (9) 南朝の仏教 (10) 儒教・道教との交渉 (11) 疑経の流行 (12) 真諦の翻訳 (13) 諸学派の興起 (後期) (1) 隋の仏教 (2) 天台と三論 (3) 唐の仏教 (4) 玄奘の翻訳 (5) 唯識と華嚴 (6) 教相判釈 (7) 律と禪 (8) 三階と浄土 (9) 不空の翻訳 (10) 宋の仏教 (11) 大蔵経の出版 (12) 遼・金・元の仏教 (13) 明・清以後の仏教
履修上の留意点	授業は講義形式なので、ノートを準備すること。
成績評価の方法	出席状況とレポート・試験などを総合して評価する。
教科書	鎌田茂雄『中国仏教史』(岩波全書)
参考書等	授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名
朝鮮仏教史	石井 公成

講義のねらい	仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説し、インド、中国、日本、ベトナムなどの仏教との共通点と違いを考える。
講義の内容・授業スケジュール	仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教の教理、禪宗の展開などに重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。日本に残された関連文献を活用する。本年度は特に一休禅師のように自在に活動して物語や漢詩を残した金時習に重点を置く。
履修上の留意点	仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくようにわかりやすく説明してゆけど、ほとんど毎回、漢文文献をあてられて読むことになるため、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢がないとついてこれないだろう。
成績評価の方法	平常点と秋のレポートによる。
教科書	参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。
参考書等	鎌田茂雄『朝鮮仏教史』(東京大学出版会) 2,400円

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
日本仏教史	菅原征子

講義のねらい

日本の前近代の宗教の歴史を仏教を中心に考察し、仏教の現在と今後を考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が、その伝来から近世まで、各時代において、社会とどのように関わり、変化してきたかを講義する。国家や政治・経済、神祇信仰や儒教・キリシタン、中央と地方、集団や個人との関係などを切り口にして、各時代の仏教の特色を考え、変化のプロセスを考察し、仏教に関わった人々の真剣な取り組みに思いをはせ、現代の我々へのアドバイスやメッセージを考えてみる。

前期は古代から中世前半まで、後期は中世後半から江戸時代までを扱う。

履修上の留意点

高校の日本史の知識を習得していることを条件とする。

成績評価の方法

出席を重視する。毎回、出席表の裏に授業内容について簡単なコメントや疑問点、感想などを書いて提出する。後期の試験期間中に、こちらで設定したテーマについて論述形式の試験を行い、総合して成績評価を行なう。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書や参考文献は授業の中で紹介する。

その他

講義形式で、授業の都度必要なプリントや史料を配布する。

科目名	担当者名
中国禅宗史	石井修道

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭鴻山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覚③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	担当者名
日本禅宗史	佐藤秀孝

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅰ	程 正

講義のねらい

禅学特講Ⅰは、中国初期禅宗における祖統説の変遷という角度から、その成立の歴史を講義するものである。祖統説とは、禅僧たちが主張する釈尊より自身に及んだ正法の伝承系譜のことで、今日では西天（＝インド）二十八祖、東土（＝中国）六祖説がその定説となっている。しかし、初期禅宗には様々な宗派があり、それらの宗派に所属する禅僧達は、自派を優位に立たせるために様々な祖統説を主張していたのである。本講義では、初期禅宗文献を用いて、こうした様々な祖統説の出現の背景に留意しながら、それらの内容を吟味することによって、中国禅宗の成立の歴史にアプローチしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

敦煌遺書から出現した初期禅宗文献を主とし、これに『全唐文』などに収録されている伝世資料を織り交ぜながら進んでいきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。前後に関連性の強い内容構成となっているので、欠席しないことが重要。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出発点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名

担当者名

禅籍講読Ⅱ

佐藤 秀孝
さとう しゅうこう

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも宋代以降の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して宋代以降の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。南北朝時代の菩提達磨を初祖とする中国禅宗は、唐代に独自の発展を遂げて祖師禅として定着し、唐末五代には中国禅の五家（邨仰・臨済・曹洞・雲門・法眼の五宗）が起り、北宋時代には臨済宗が黄龍・楊岐の二派に分かれている。宋代の禅宗には、頌古などの禅文学の興隆や、公案参究の看話禅の隆盛、五山十刹などの官寺機構の制度化、さらに日本への禅宗の伝来など、究明すべき興味深い課題が多い。そうした諸問題を踏まえながら、最初に宋代の禅宗と禅籍について講義形式で概観し、その後に『碧巖録』『宏智禅師語録』『大慧正法眼蔵』などの当該の禅籍を講読していくことにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の語録・文集であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

筑摩書房『禅の語録』シリーズの『輔教篇』『雪竇頌古』『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』『大慧書』『無門関』『禅関策進』など。

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴 <small>いわながしょうせい</small>

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点、および数回のレポート(または小テスト)によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅳ	松田陽志 <small>まつだ ようし</small>

講義のねらい

この講義では、日本禅宗の後期、特に江戸時代曹洞宗の文献を講読する。曹洞宗の宗学研究において江戸時代は、それまでの曹洞宗の宗義・宗旨の内容・意義や教団としての枠組みが見直され、新たな意義付けや体制の構築が要請された時期である。その動きの大きな柱に、いわゆる宗統復古運動といわれる嗣法論とその具体的な嗣法制度改革の展開がある。

この講義では宗統復古運動の経緯や、その中で議論される嗣法論を具体的に知る資料として、『宗統復古志』や卍山道白撰『洞門衣橱集』などを取り上げ、その内容を読解することで嗣法制度改革にあたって、何が問題とされその変革にあたってどのような議論がなされたのかを確認する。

板本などをコピーして配布し、その基本的な訓読の方法などを学び、慣れることも、この講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は中世の永平寺・總持寺の住持制度などを学び、江戸幕府の宗門統制に至るまでの歴史的経緯について概観し、その上で江戸幕府の曹洞宗に対する統制の内容と宗統復古運動をもたらした背景について考察する。

後期は、『宗統復古志』などによって嗣法制度改革運動の経過をたどり、それによって起こった嗣法論義の内容を『洞門衣橱集』や関連する資料の訓読によって理解する。特に、一連の嗣法制度改革の中心者であった卍山の主張に対する批判がどのように展開されたのかを取り上げたい。

履修上の留意点

漢文を訓読できるように、あらかじめ辞書などで読みと意味を調べておくこと。また、関係論文や書籍などを図書館などで積極的に調べて理解を深めることを希望する。

成績評価の方法

出席点と年度末の定期試験による。

教科書

授業の前に当該文献をコピーして配布する。

参考書等

鏡島元隆監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』3(吉川弘文館)その他、随時紹介する。

科 専 門 教 育
目 録

科目名	担当者名
仏典講読Ⅰ	片山一良 <small>かた やま いち ろう</small>

講義のねらい	仏典には仏典の読み方がある。形式によるもの、内容によるものである。パーリ仏典を中心に、関係する漢訳の大乗仏典、禪の語録を講読し、仏教の理解を深めることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	前半は仏典を全体的に、後半は個別的に扱い、講読する。
履修上の留意点	従来の「仏典」に対する先入見を除き、「仏経」を読んでほしい。
成績評価の方法	レポート、および年度末テストによる。
教科書	コピーを随時配布する。
参考書等	片山一良訳『パーリ仏典・長部』（全6巻）（大蔵出版） 大蔵経学術用語研究会編『仏典入門事典』（永田文昌堂）

科目名	担当者名
仏典講読Ⅱ	吉村誠 <small>よし むら まこと</small>

講義のねらい	唯識の綱要書である『成唯識論』を講読する。『成唯識論』は世親（Vasubandhu 4 - 5 世紀）の『唯識三十頌』に対する十大論師の注釈を、護法（Dharmapāra 530 - 561）の説を正義として玄奘（602 - 664）が編集・翻訳したものである。インド瑜伽行派の唯識教学の一つの完成形を示し、東アジアにおいて唯識の聖典として学ばれてきた本書を、解説を加えながら精読したい。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は『成唯識論』巻二、初能変（アーラヤ識に関する議論）から読み始める。 （前期）（1）『成唯識論』の成立 （2）種子と熏習 （3～13）『成唯識論』を読む （後期）（1）アーラヤ識縁起 （2）四分義 （3～13）『成唯識論』を読む
履修上の留意点	本書の漢文は難解であるため、本文とともに書き下し文を配布する。それを参考に予習して訓読ができるようにしてこること。また、意味の分からない語句は、予め辞書で調べておくこと。
成績評価の方法	出席と予習の状況を総合して評価する。
教科書	『新導成唯識論』の該当部分をコピーして配布する。
参考書等	授業中に随時紹介する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
仏典講読Ⅲ	池田魯参

講義のねらい

栄西（1141～1215）の『興禅護国論』を読む。書名に明らかなように本書は「禅を興こし国を護る」ことを主張する論文であるが、日本仏教として禅を布教することの歴史的意義を解明した書として著名である。栄西が考えた禅仏教はどういう形のものであったのかを明らかにし、やがて道元の正伝の仏法を生み出す背景を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の読解力をつけることをねらい、本書の原文を最初から読み下し文にして解読していく。慣れたところで、受講生に当番を決めて順次、演習形式で読んでもらう。

履修上の留意点

問題点は先ず自分で調べる。解らなかつたら授業中に質すこと。

成績評価の方法

出席率、受講態度、当番に当たった際の準備や発表態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

『大正新修大藏経』80卷所収本コピー

参考書等

授業の中で逐次紹介する。

科目名	担当者名
仏典講読Ⅳ	伊藤隆壽

講義のねらい

大乘仏教の基本論書であるナーガールジュナ（龍樹）の『中論』などを、中国・日本の人々はどうに理解したのであろうか。そのことを江戸時代の学僧、鳳潭の『頭書三論玄義』の講読を通して学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

講読に入る前に、序論として三論の解題・研究史について講義し、その後テキストの初めから講読する。

履修上の留意点

漢文文献の講読なので、漢文に慣れる必要がある。そのためには予習復習をすることが望ましい。また欠席せずに毎回ノートを取ること。

成績評価の方法

年度末の筆記試験により評価する。

教科書

講読のテキストはコピーを準備し配布する。

参考書等

はじめのところで紹介する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名**担当者名**

宗教史

はせべ 八郎
長谷部 八郎

講義のねらい

本講義では、古代から近世にかけての日本宗教史の概説を行う予定である。仏教を中心に、修験道、神道、キリスト教など広く諸宗教の歴史的展開を視野に入れて進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかを見る。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

開講後に決めたい。なお、授業時に、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に要に応じて紹介する予定である。

科目名**担当者名**

インド仏教文化史

かな ざわ あつし
金 沢 篤

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

講義のねらい

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。普庵印肅への信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教科書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参考書等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
その他、適宜指示します。

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
 - 1 文化構造の解釈
 - 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 - 1 呉音漢音と文化
 - 2 美術中の仏教観
 - 3 自利利他の問題
 - 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 - 1 大仏建立の理念
 - 2 学問仏教の実際
 - 3 勸進聖と修験道
 - 4 仏教と神祇信仰
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 - 1 大乘戒壇の設立
 - 2 一乗三乗の論争
 - 3 密教と祈禱仏教
 - 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
 - 1 浄土信仰の諸相
 - 2 法華信仰の諸相
 - 3 禅宗と五山文学
 - 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 - 1 鉄砲と吉利支丹
 - 2 幕府の宗教政策
 - 3 江戸文化と仏教
 - 4 維新と廃仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
 - 1 近代より現代へ
 - 2 戦後と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名**担当者名**

日用経典

岩永正晴

講義のねらい

本講義の目的は、現在の曹洞宗寺院の諸行持において読誦される経典類について概説することである。また読経に際しては必ず「回向」を行うので、基本的な回向文についても言及する必要がある。但し、行持は多く、用いる経典や回向文も多い。そこで「日分行持」（毎日行なう行持）に際して読誦される経典、回向文、偈文にしぼって解説したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、両祖の著作などによりながら、曹洞宗における読経の意義などを概説する。その後、現在の曹洞宗において行持の基準とされる『曹洞宗行持規範』『日分行持』に随いながら、日々読誦される経典等について解説する。

履修上の留意点

選択科目であるから、積極的に学ぶ意欲のある学生にのみ参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

『曹洞宗日課勤行聖典』（曹洞宗宗務庁）。その他必要に応じて資料を配布する。

参考書等

櫻井秀雄『〔修訂〕曹洞宗回向文講義』（曹洞宗宗務庁）、藤井教公『〈仏典講座7〉法華経』上下（大蔵出版）、中村元・紀野一義『般若心経・金剛般若経』（岩波文庫青303-1）、岸沢惟安『参同契葛藤集・宝鏡三昧歌講話』（大法輪閣）、西谷啓治・柳田聖山『禅家語録Ⅱ〈世界古典文学全集第36巻B〉』（筑摩書房）、木村俊彦・竹中智泰『禅宗の陀羅尼』（大東出版）、野口善敬『ナムカラタンノーの世界（『千手経』と「大悲呪」の研究）』（禅文化研究所）、石川力山『禅宗小事典』（法蔵館）等。その他は必要に応じて紹介する。

科目名**担当者名**

禅学概論

石井修道

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

科
専
門
教
育
目
録

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円
 『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円
 『禅学大辞典』（大修館書店）
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣出版）

科目名	担当者名
中国古典語初級	吉村 誠

講義のねらい	仏典の講読を通じて漢文（中国古典語）の基本を修得する。周知のように東アジア地域では漢訳された仏典が聖典とされ、仏教の思想や歴史が漢文によって記された。その集大成である漢訳大蔵経は、インドその他の地域の仏教を研究する上でも不可欠な資料である。すなわち、漢文を正確に読めるようになることは、仏教研究の第一歩であるといえるだろう。講義では、漢文の読み方を基礎レベルから解説し、学生諸君が自力で仏典を読めるように指導してゆく。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は、初めに基礎文法を解説した後、中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』を講読する。同経は平明な内容でありながら、巧みな比喩で仏教のエッセンスを説いた美しい経典である。
履修上の留意点	毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。
成績評価の方法	出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。
教科書	プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨する。他に文法書の購入も指示する。
参考書等	授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名
インド哲学史	金沢 篤

講義のねらい	仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。
履修上の留意点	日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	数回のレポートと年度末の筆記試験など。
教科書	早島鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）
参考書等	講義の中で適宜紹介する。

専科
教育
目

科目名	担当者名
中国哲学史	前川 亨

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を教授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、中国哲学史の前半（先秦時代から唐代まで）を扱う。儒教・仏教・道教それぞれが、中国の社会の中でいかなる位置を占めたのかを考えることが中心となろう。

履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで、欠席しなければならない場合には、事前に申し出ること。欠席が余りに目立つ場合、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらう。

教科書

特に必要としない。プリント等を資料として配付する。

参考書等

授業内に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めていくこととしたい。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	担当者名
西洋哲学史	中村 友太郎

講義のねらい

古代および中世の西洋哲学史を展望しつつ、なるべくその流れのうちに登場する思想家たちの思索の核心に触れることを志向したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代ギリシア哲学の系譜に即して、(1) 古代哲学の始まり、(2) ソクラテス以前の思想家たち、(3) ソフィストとソクラテス、(4) プラトンの哲学、(5) アリストテレスの哲学、(6) ストア学派、(7) 新プラトン主義、を扱う。後期は中世キリスト教の哲学の展開をあとづける。1) キリスト教哲学の起源、2) アウグスティヌスの思想、3) 12世紀の初期スコラ学、4) 13世紀の知的高揚、5) トマス・アクイナスの哲学、6) 14世紀の後期スコラ学、7) 中世の神秘思想と近代への移行。

履修上の留意点

「哲学」philosophia の名に値する知的営みの根本は、自ら問いかけ思考しつづけることにあるので、その歴史的研究に際しても、主体的・積極的な取りくみが不可欠である。

成績評価の方法

成績評価は、毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や、夏休みの課題をも含む何回かのレポート提出と年度末の定期試験により総合的に行う。それゆえ継続性を自覚した授業参加が不可欠である。

教科書

基本テキストとして、クラウス・リーゼンフーパー『西洋古代・中世哲学史』（平凡社ライブラリー）1,400円を使うが、ほかに資料等のコピーを適宜配布する。

参考書等

参考書は開講時に指示するが、適宜にプリント類を配布する。

その他

討論のチャンスはぜひ持つようにしたい。

科
専
門
教
育
目
録

科目名**担当者名**

インド仏教思想史

まつもと しろう
松本史朗**講義のねらい**

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

科目名**担当者名**

中国仏教思想史

いとう たかとし
伊藤隆壽**講義のねらい**

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 中国での仏教理解のあり方
4. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心をもち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

コピー資料を配布する。

参考書等

伊藤隆壽『中国仏教の批判的研究』(大蔵出版)、その他授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名
原始仏教	かた やま いち ろう 片山一良

講義のねらい	原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。
講義の内容・授業スケジュール	前半は仏教を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。
履修上の留意点	従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。
成績評価の方法	レポート（夏期）および年度末テストによる。
教科書	とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名
浄土学概論	おお みなみ りゅう しやう 大南龍昇

講義のねらい	阿弥陀仏の浄土教思想と浄土宗における展開について考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は浄土教の成立と背景をインド仏教を中心に考察する。まず仏教における浄土教の位置と性格、浄土教の経典と論書、浄土教思想を構成する諸要素、さらに浄土教の意義等について中国、日本への展開を見据えつつ考察する。 後期は法然上人と門下によって形成された浄土宗の教義について教判論・信仰論（安心）・実践論（起行）・威儀論（作業）・本願論・凡入報土論等の諸点から概説し、加えて近代における宗学の展開を考察する。
履修上の留意点	すでに受講したインド仏教における大乘思想と経典成立史における浄土教関係の箇所、中国、日本の浄土教の教理史を復習されたい。
成績評価の方法	試験に出席点と授業態度を加味し評定する。
教科書	教科書は定めず適宜プリントを用意する。
参考書等	藤田宏達『原始浄土思想の研究』（岩波書店） 望月信亨『略述浄土教理史』（日本図書センター） 石田充之『浄土教教理史』（平楽寺書店） その他授業時に紹介する。
その他	授業方法は講義形式による。

科
専
門
教
育
目
録

科目名

担当者名

真言学概論

ひら い ゆう けい
平 井 宥 慶

講義のねらい

真言学は、宗祖弘法大師空海によって完成された。したがって先ず空海の人となり・思想について考察し、その上で後の若干の展開、即ち仏身論の変遷をみる。真言宗では、これらを全て含めて真言学と称する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】空海大師の足跡を追って、その歴史を尋ねる（教科書第一章から第七章まで、並びに第十章）。平安時代における日本仏教の置かれた情況、そこから大きく飛躍して、日本仏教の祖となった空海の歴史的価値を考察する。鎌倉期は新仏教の興起した時代と知られているが、それらが巨大宗団となるのは次の室町期とみなされる。それは教団の儀礼化、ともいえることである。

【後期】空海思想を概観し（教科書第八章）、更にそこから派生した巨大な密教美術を鳥瞰して、日本仏教美術の根源を探る（教科書第九章）。尚、空海以降の重要な思想的展開の一つ、仏身論に関する議論の経過をみて、真言宗史を概観する（教科書にはない）。これは仏身論論議からみれば、真言宗に限られることなく、日本仏教の流れそのものを照射するものとなる、と心得る。

履修上の留意点

平安仏教は日本仏教形成期の佛教である。それは日本が国家となる形成時代でもあり、広範な改革の時代でもあったことを踏まえて、多面的な思考角度を維持しつつ受講ねがいたい。

成績評価の方法

筆記試験を致します。出席点を加味する。7：3の割合になる。受講態度もみたい。

教科書

頼富本宏『平安のマルチ文化人 空海』（NHK ライブラリー200）（日本放送出版協会）2005 830円＋税金 ISBN4-14-084200-8

参考書等

講義の進展とともに、逐次提示したい。

その他

授業方法は、基本的には講義形式をとるつもりである。必要の場合はプリントを配布する場合もある。試験の際は、おそらく持込み可となるが、その場合このプリントも持込むことが出来る。

科目名

担当者名

神道概説

にし おか かず ひこ
西 岡 和 彦

講義のねらい

日本神話、古代から近・現代までの神道の歴史を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

前期—日本神話、古代～中世を概観する。①国生みと三貴子 ②大国主神と天孫降臨 ③神道のはじまり ④神社の成立と祭祀の起源 ⑤平安時代の神社と祭祀 ⑥仏教との交渉 ⑦神社習合思想 ⑧御霊信仰 ⑨伊勢神道と伊勢神宮の信仰 ⑩吉田神道の成立 後期—近世～近・現代を概観する。①織豊時代の社寺政策 ②徳川幕府の社寺政策 ③朝廷と神道 ④儒家神道・垂加神道 ⑤国学の勃興 ⑥国学の展開 ⑦庶民信仰 ⑧明治維新と神道 ⑨戦時下の神社 ⑩戦後の神道

履修上の留意点

教科書を持参すること。

成績評価の方法

試験（前後期2回最終授業日に実施する。自筆ノートのみ披見可。）、出席日数（学則に遵守する。）、受講態度から評価する。

教科書

神社本庁研修所編『わかりやすい神道の歴史』（神社新報社）平成17年9月

参考書等

國學院大學日本文化研究所編『（縮刷版）神道事典』（弘文堂）平成11年5月

科目名	担当者名
外国語仏書講読	四津谷 孝道

講義のねらい	この講義では、外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れることばかりでなく、語学力の向上も目指す。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は、Donald S. Lopez, Jr. の Buddhism - An Introduction and Guide - (Penguin Books) の Enlightenment の章を読んでいきたい。
履修上の留意点	授業においては、受講生にテキストを翻訳してもらおう。各回においてはさほど多く進むつもりはないが、その分だけ予習・復習を綿密にもらいたい。
成績評価の方法	学年末の試験。
教科書	上記（最初の授業の際に配付する）
参考書等	授業において、随時紹介する。

科目名	担当者名
外国語禅書講読	石井 清純

講義のねらい	昨年度に引き続き、鈴木大拙の Zen and Japanese Culture を読む。これにより、禅・仏教用語の英語表記の方法や、大拙自身の日本文化論の特徴について学んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は、「禅と茶の湯 (Zen and the Art of Tea)」の章を読む。講義ごとに読み進める部分の資料を配付する。
履修上の留意点	禅・仏教用語は一般の英和辞典では検索できないので、参考書に示した仏教専門用語の辞書を用意していただきたい。
成績評価の方法	前期末レポートおよび年度末の筆記試験によって評価する。また学期中に随時課題を科す。
教科書	Zen and Japanese Culture (禅と日本文化) by D.T.Suzuki, Princeton Univ. Press (講義時に該当部分をプリントにて配布)
参考書等	鈴木大拙著、北川桃雄訳『禅と日本文化』(岩波書店) Japanese - English Buddhist Dictionary (大東出版社) 日英禅語辞典 (The Japanese - English Buddhist Dictionary) (山喜房)
その他	テキストの日本語訳が出版されているが、それは、改訂前の旧版のものであるため内容に小異在り。注意すること。

科専門教育
目

科目名	担当者名
禅学特講Ⅰ	程 正

講義のねらい	禅籍講読Ⅰは、中国初期禅宗の文献を適宜取り上げて講読し、それぞれの禅思想の特色を明らかにするものである。
講義の内容・授業スケジュール	取り扱う禅宗文献は、主に初祖とされる菩提達磨から、五家の成立以前までのものとする。具体的には、『二入四行論』『絶観論』『修心要論』『六祖壇経』『頓悟入道要門論』などの禅籍を順次取り上げて、解題を行ってから、それぞれの思想的特色を講義していきたい。
履修上の留意点	講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
成績評価の方法	夏休みの課題レポート、期末テスト、出欠点の三つ総合的に評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	適宜に紹介する。

科目名	担当者名
禅学特講Ⅲ	石井清純

講義のねらい	現代社会におけるネットワーキング技術の必要性は、日に日に高まりつつある。仏教研究においても、数々の先端技術が導入されるようになった。本講義は、そのような社会の流れに呼応し、ネットワークエンジニアリングの知識・技術を養うことを目的としたものである。
講義の内容・授業スケジュール	シスコネットワークアカデミーのシラバスに則り、CCNA 2（第2学期）の第1課より開始、オンライン教材の講義と、ルータを実習を適宜織り交ぜながらすすめてゆく。
履修上の留意点	原則として、CCNA 1を受講し、規程のオンラインテストに合格しているものを対照とする。
成績評価の方法	年度末のオンラインテストと実技試験（どちらもシスコネットワークアカデミーが出題）の結果に、講義中に行う練習問題及び実習の内容を加味して評価する。
教科書	シスコネットワークアカデミーオンライン教材を使用。
参考書等	『シスコネットワークアカデミー受講ガイド1』（ソフトバンク社）

科目名	担当者名
禅学特講Ⅳ	しもむろかくどう 下室覚道

講義のねらい

道元禅師は多くの経典や禅籍から引用し、それに基づき『正法眼蔵』などを書き著されている。本講義では、特に中国禅籍からの引用状況を考察することによって、中国禅者の動向や道元禅師の引用意図などを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『正法眼蔵』における曹洞の伝統系譜に連なる菩提達磨、曹溪慧能、石頭希遷など有名な祖師の語録からの引用をピックアップし、それらの祖師の人となりを見、そして道元禅師の拈提を見ることによって禅師の解釈を学んでいきたい。その他、臨済の南岳懷讓、馬祖道一、また、雲門や法眼などについても探っていきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

『道元引用語録の研究』（春秋社）
石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）

科目名	担当者名
仏教特講Ⅰ	おかもといつべい 岡本一平

講義のねらい

大乘仏教は、中国・韓国・日本の仏教思想の基礎になっている。この講義の目的は、中国の学僧、浄影寺慧遠（523～597）の『大乘義章』を通じて、そのような大乘仏教の基本思想の意味を考えることにある。特に、東アジアにおける大乘仏教の栄枯盛衰に留意してゆきたい。なるべく多くのトピックを紹介し、大乘仏教の基礎知識をひろげることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

『大乘義章』の構成は、総論と四諦（各論）の二部になっているので、この授業でも同様の形式で講義したい。前期は、総論として聖典論（教判、三蔵）と大乘特有の基本思想（仏性、八識など）を紹介する。後期は、四諦の各論として（煩惱、業、輪廻、菩提心、涅槃、浄土など）を解説する。

履修上の留意点

一方的な講義にしたくないので、恥ずかしがらずに、素朴な疑問を積極的になげかけて欲しい。質疑応答を大切にしたいと考えている。

成績評価の方法

授業の平常点及び学年末にレポート（5～10枚程度）で評価する。出席をとる予定なので、3分の2以上授業に出席してもらいたい。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

国訳一切経・和漢撰述部・諸宗部10～13『大乘義章』（大東出版社）
その他、授業において紹介する。

科専門教育
目

講義のねらい

南宋代に成立した短編の典籍である『重編諸天伝』を解説する。編者の行霆法師は、漢訳の典籍だけを頼りに、時に想像を加えながら、仏教經典に頻繁に取上げられる天界の諸神、諸天の姿や伝記を、中国仏教の視点から編集した。

中国の仏教界が、インドから伝来した仏教を、如何にして理解し消化したのかは、中国仏教史における大きな問題である。『重編諸天伝』に記された諸天の伝記を手がかりとして、中国仏教における仏教諸神に対する認識の変化、後世への影響などを考察するのが、本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

通期では、『重編諸天伝』に記された二十種の天神の様相、そして行霆の理解、更には中国社会における受容などについて講義する。例えば、個々の伝記から、以下の問題を検討する。

- ①なぜ大梵天は諸天の首領なのか？
- ②天帝の帝釈天はどの役割を担うか？
- ③四天王の順序は北・東・南・西か？
- ④金剛密迹は一人なのか、金剛と密迹の二人なのか？
- ⑤摩醯首羅はなぜ眼が三つあるのか？
- ⑥散脂大将はだれの親衛隊か？
- ⑦大辯天女は閻魔大王の姉貴か？
- ⑧功德天女は北方天王の侍者か？
- ⑨韋馱天は南方天王の部下か？
- ⑩堅牢地神は美しい天女か？
- ⑪仏成道の処の菩提樹も神になれるか？
- ⑫鬼子母天は親子連れか？

履修上の留意点

講義内容に関心を有し、且つ継続して出席できる者を対象者とする。受講にあたっては、『重編諸天伝』の原文や、諸經典の相関例文（いずれも短い漢文）を解説する予習が必要となる場合がある。

成績評価の方法

出席状況及び期末レポートによって評価する。

教科書

刊本『重編諸天伝』のコピー及び関連資料を配布する。

参考書等

『続蔵経』第一五〇冊所収『重編諸天伝』（蔵経書院或いは新文豊）
 佐和隆研『仏像図典』（吉川弘文館）
 林鳴宇『宋代天台教学の研究』（山喜房仏書林）
 その他、授業中に適宜紹介する。

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適應状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係を持ち、どのような人と出えるかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) I. 青少年に生じ得る「問題」をどう把えるのか——その二面性について
 II. 青少年にいかに出会っていけるのか——臨床心理学に基づくカウンセリングを中心として
 III. 事例を通して、不登校、友人関係(いじめ)、非行などのテーマ毎に学ぶ IV. 人間の誕生から青春期に至るまでの心の発達の諸相
 IV. いくつかの症状(対人恐怖、無気力、身体症状等)について
 V. 心の健康に関する諸知識

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況(授業態度を含む)も重視する。

成績評価の方法

出席状況、定期試験、受講態度

教科書

必要な資料は適宜配布する。

参考書等

岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』(岩波書店)
 河合隼雄著『カウンセリングを語る(上下)』(創元社)
 河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)
 河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』(楡出版)
 河合隼雄著『子どもの宇宙』(岩波新書386)
 小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2(金子書店)
 季刊『仏教——特集癒し』No. 31(法藏館)

科目名	担当者名
青少年指導演習	にしむらひろこ 西村寛子

講義のねらい

現代の青少年についての具体的な理解と、その関わり、コミュニケーションについてのスキルを学ぶことを柱を中心に行っていく。実習を通して自己理解と青少年への理解を深め、相互的なかわり、援助へのスキルが促進されるように取組んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》 1. 青少年へのかかわり－自らのこころと体をほぐし、関わり易い環境づくりの実習。
2. コミュニケーション・関わりの実習を通し、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ。
3. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。
- 《後期》 4. カウンセリングマインドを学ぶ－話を聴く、共感性、「私」のものがたり理解。
5. 事例を通して学ぶ－不登校、いじめ、虐待、反社会行動等。
6. まとめ

履修上の留意点

演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入提出してもらい、それらを生かした相互的な授業にしていくつもりである。

成績評価の方法

出席状況と、夏休み前、期末の年2回のレポート。

教科書

必要な資料はプリントで配布する。

参考書等

河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）
河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
河合隼雄『昔話の深層』（福音館書店）

科目名	担当者名
宗教法概説	いしけんじ 石井研士

講義のねらい

宗教・宗教団体をめぐる法的環境の変化は著しい。オウム真理教事件を契機にて宗教法人は改正され、今年また公益法人の改正が宗教法人にも及ぶことが想定されている。こうした法的環境の変化の背景には、日本人の宗教意識・宗教行動の変化が存在し、日本人の宗教団体への関心の減少が存在する。法律の条文の解釈に終始するのではなく、基礎的な考え方と、背景となる社会構造の変動と宗教との関係に踏み込んで理解に努めたいと思う。できるだけビデオ映像を利用したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、憲法における宗教の扱い、宗教法人法をはじめとした宗教関連法の歴史的経緯、明治以降の社会変動と日本人の宗教行動・意識の変容を扱う。後期は、宗教団体の公益性、宗教団体をめぐる多様な法的事件を扱う。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に数回小論文を課し、評価の一部に加える。

教科書

原則として教科書は使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
漢詩作法	須山長治

講義のねらい

漢詩を学習してゆく。詩は志の之く所なり、といわれる。ものを感じて心が動き、志となったものを言葉にあらわす、すばらしい世界である。李白や杜甫といった唐代の詩人たちの作品を鑑賞しながら、一般的な知識（文学史や韻・平仄等）も確認してゆき、詩が「言志」といわれる所以を考察していきたい。さらに禅僧の偈頌も取り上げ、楽道歌や悟りの歌（投機偈）・遺偈などにも対象を広げていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

唐詩を中心に学習する。具体的には『三体詩』や『唐詩選』を使って講義を進めてゆく。禅の偈頌は『祖堂集』や『景德伝灯録』に散在するものを取り扱う。いずれも鑑賞が主となるが、漢詩の細かい作法をもとに作詩にも言及したい。

履修上の留意点

積極的にノートをとる姿勢を求める。
漢和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席を重視し、学年末の試験によって評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

村上哲見『三体詩』一～四 中国古典選（朝日新聞社）
前野直彬『唐詩選』上中下（岩波文庫）
『祖堂集』（中文出版 or 禅文化研究所）
『景德伝灯録』（新文豊出版 or 禅文化研究所）

科目名	担当者名
書道	綾部宏行

講義のねらい

「書道」は素晴らしい東洋文化である。文学であり美学であり、「道」としての精神性も求められる。その「書道」を、講義と実習により追求してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

- －前期－
1. 書道入門 2. 自分の名前を書こう（全員に手本を書きます） 3. 行書入門
4. 草書入門 5. 楷書入門 6. 実用書入門
- －後期－
1. 王羲之を学ぼう 2. 顔真卿を学ぼう 3. 空海を学ぼう 4. 墨跡を学ぼう
5. 書と禅 6. 書道史と書論

履修上の留意点

実習科目であるので、半紙が書ける程度の道具を準備されたい。（道具は手持ちのものでかまいません。また初回に丁寧に説明しますので、ない者でも大丈夫です。）

成績評価の方法

成績は、提出物（書作品）や、レポート、出席等の平常点等を勘案して評価する。

教科書

特にテキストはなし。

その他

本講座では必ずしも上手な書のみを期待しない。自分なりに味わいのある書を心がけて欲しい。

科 専
門 教
目 育

科目名**担当者名****宗教学概論**はせべ はち ろう
長谷部 八 朗**講義のねらい**

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は開講後に決定したい。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

授業で紹介する。また、適宜資料を配付する。

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している。(1) 宗教思想(ビリーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される。(2) 宗教儀礼。この象徴的な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される。(3) 宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のビリーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4) 宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野 (1)
2	〃	2) 宗教研究の立場と分野 (2)
3	〃	3) 宗教の構成要素 (1)
4	〃	4) 宗教の構成要素 (2)
5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
6	〃	2) 神の言の思想
7	〃	3) 罪と救済の思想
8	〃	4) 「赦し」の思想
9	〃	5) キリスト教における愛の思想
10	〃	6) 隣人愛の思想
後期 1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト (1)
2	〃	2) 史的イエスとキリスト (2)
3	〃	3) 遠藤周作のキリスト論 (1)
4	〃	4) 遠藤周作のキリスト論 (2)
5	〃	5) 映画「深い河」を見る (1)
6	〃	6) 映画「深い河」を見る (2)
7	〃	7) ドストエフスキーと聖書 (1)
8	〃	8) ドストエフスキーと聖書 (2)
9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
10	〃	2) キリスト教的死生観

履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男『キリスト教入門 A』、『キリスト教入門 B』(DTP 出版)
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

挽地茂男『図解雑学キリスト教』(ナツメ社)
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)
木田、山内、土岐編『聖書の世界』(自由国民社)

その他

授業の進め方—講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科目名

担当者名

イスラム教概論

きくち たつや
菊地達也

講義のねらい

世界の三大宗教の一つとされるイスラムであるが、仏教、キリスト教と比べた場合、日本人はあまりにイスラムに無知である。イスラムに関する限られた知識も、9・11同時多発テロ以降は特に戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われている場合が多い。

しかし、グローバル化が進み、否が応でもイスラム教徒と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。また、仏教を学ぶ学生にとっては、異なる世界宗教の特質を学び、仏教と比較することも重要であろう。

そこでこの授業では、イスラムの様々な思想を学ぶだけでなく、現代世界におけるイスラムとイスラム教徒の実像に迫り、さらに宗教間の比較もおこなう予定である。

講義の内容・授業スケジュール

授業前半では、ムハンマドによるイスラム創始（7世紀）と聖典クルアーン（コーラン）を中心にしながら、宗教としてのイスラムの基本的なあり方について概説する。その後は、法学、神学、哲学、スーフイズム（神秘主義）、シーア派、イスラム主義（原理主義）といった個別分野を取り扱う。授業の最終段階においては、現代イスラムの動向とインドにおけるイスラムの特徴について概括する。

また、映像・音響素材や中東に関わる様々な事物を適宜紹介することで、イスラム教徒の信仰や日常生活になるべく触れてもらう予定である。

履修上の留意点

イスラムの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

成績評価の方法

授業時に書いてもらうリアクション・ペーパーと学年末テストで成績を判定する。

参考書等

M. リズン『イスラーム』（岩波書店）2004年。その他の参考書については授業内で適宜紹介。

科目名

担当者名

哲学概説

いいだのぶゆき
飯田巨之

専科
教育
目

講義のねらい

生命の操作が大幅に可能となった時代にそれがどこまで許されるとすべきか、人間の尊厳を軸にすえて議論するのが本講のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）

生命操作とその問題；IVF、胚研究、遺伝子操作他。

人間の尊厳概念とその歴史；ストア派の思想、キリスト教における神の似姿と人間の尊厳、ルネッサンスにおける人間の尊厳の概念、パスカルとF. ベーコンにおける人間の尊厳概念の展開。

カント哲学における人間の尊厳概念。

人間の尊厳、生命の神聖性と生命の操作。

履修上の留意点

教師の側からの一方通行ではなく学生諸君にも発言してもらいながら対話方式で授業を行うのでテキストを前もって読んでおくことが大切。

成績評価の方法

（1）最終回の論述テスト、（2）出席状況、（3）レポート、（4）授業中の質問、コメント等による授業への参加度により総合的に評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

金子著『ヨーロッパの人間像』（知泉書館）

高橋編『ヒトの生命と人間の尊厳』（九州大学出版会）

<http://www.fine.chiba-u.ac.jp/>

その他

一方通行でない授業にしたい。

科目名

宗教哲学

担当者名

河谷 淳

講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、他方で、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであって場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するもののように見えるかもしれない。だが、古代ギリシア以来の西洋思想史を概観してみるならばそうした理解は必ずしも正しいとは言えない。宗教哲学とはそうした信と知が交錯する地点に位置づけることができるようなものである。本講義では、宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考えることにしたい。授業では主に西洋の宗教哲学（とりわけキリスト教的哲学）を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて西洋哲学の側から考えるとところに本講義の目的はある。また、それと併せて、西洋哲学史の概略や認識論・存在論・倫理学についての基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。

前期：信と知の関係

- (a) 神話と哲学：ギリシア神話と哲学の始まりとしてのギリシア哲学
- (b) 信念形成と合理性：テルトゥリアヌス・「バスカルの賭」・ヒュームの奇跡論
- (c) 神義論：完全善の神とこの世の悪とは両立するのだろうか

後期：神と「私」と天使

- (d) 神の存在証明：宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明
- (e) 倫理と宗教の相補的關係：カント倫理学と宗教哲学
- (f) 「天使」の哲学：天使の存在可能性と心の独立存在可能性

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

上枝美典『「神」という謎－宗教哲学入門－』（世界思想社）

科目名

現代哲学概説

担当者名

久保陽一

科 専
目 門
教 教
育 育

講義のねらい

現代の哲学は、おおむね、近代の哲学をもとに、或るものはそれを継承し、徹底させ、他のものはそれを批判し、克服しようとしている。そこで、前期では近代の哲学の歩みをその大筋において捉え、後期ではそれに対する現代の諸々の考え方を取り上げることにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) イギリス経験論、大陸合理論、カントとドイツ観念論
- (後期) マルクス主義からフランクフルト学派へ、ニーチェとハイデgger、分析哲学、現象学と解釈学、応用倫理学（生命・環境倫理学）

履修上の留意点

ノートをよく取ると同時に、自分の問題に引きつけて考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と後期）などによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

参考書等

- 渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会）1,800円
- 久保陽一『ドイツ観念論への招待』（日本放送出版協会）2,800円

科目名

担当者名

仏教民俗学

須藤 寛人

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われます。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教との新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。以上の三点を本講義の軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思います。

講義のねらい

本授業科目名称である用語「宗教教育」は一義的ではなく、複雑であり、いわゆる対日米国占領政策の一環であるいわゆる「神道指令」に象徴される日本人の精神改造計画実施上、戦後教育改革の中心的論点・課題であって来た。本講義のねらいは、その用語「宗教教育」には、多義的で、実に複雑にして様々な教授概念の類型があることを知り、巷間のとかくの常識的捕捉を再検討し、また、現時局下の教育基本法改正論議上に浮上するいわゆる「宗教教育」論議中に伏在する、その、法的思考 (legal mind) ・教育的思考 (educational mind) ・宗教的思考 (religious mind) の紆余曲折の歴史的経緯を知る。そして、これまでの「宗教教育」の問題点を知り、これからの世界的脈絡中での「宗教教育」の不可避的且つ不可欠な課題点を明らかにし、手垢のついた既成概念にとらわれないで、カリキュラムをデザインすることが出来るようになるその内容知と方法知とを身につけることを目的とする。横断的・総合的捕捉を試みる。宗教に由来する日常生活用語が教育の場面に数多伏在している事象への気づきを端緒として講義を開始する予定。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるといういわゆる狭義の宗教教育を構想する講義ではない。決して狭義的ではなく、先ずは、寛容の態度を育てることを構想するものであり、その意味で広義的である。様々の宗教や宗派、宗教現象を事例として取り上げる。

具体的には、多くの音声教材、映像題材、文字教材、マルチメディア等を用いて、適宜、様々な、童謡、民謡、歌謡曲、唱歌、数え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象にふれ、日常の実際生活の深層・表層において、宗教的事柄が、隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成にいかに関与しているかの諸相を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1～2) 用語「宗教教育」の教授概念類型 (5つの類型)
- (3～4) 宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解
- (5～6) 「教育」、そして「教育」の「目的」「目標」「内容」「方法」
(法的思考・教育的思考；目的－目標、判断力－批判力、選択－決定等)
- (7～9) 「教育観の分類」、「教育の目的の考察先行事例」、「開発主義」と「注入主義」
知識理解度事項・態度の事項・技能の事項
- (10～11) 「宗教の様々な分類」、文献「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒
- (12～13) 日本国憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領の相互補充関係
教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証から看取される問題と今後の課題
対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実
宗教教育と宗教科教育 (教育職員免許法に規定) との差異検討
(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用)
- (14～16) 命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく
世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法
各国の宗教教育
- (17～18) これからの宗教教育の教授概念検討 (不均衡是正)
政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項
教授概念論議「何を教えることができるのか」の肯定的事項
意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非－行動的解釈、事実的言明文・規範的言明文
- (19～25) 宗教教育の指導計画：題材 (subject-matter) としての事例・用語等
宗、教、育、education、prenatal education、pedagogy、andragogy、gerogogy、誓願、アニミズム、アニメーション、更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態 (の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、教師、学者、学生、日常用語になった仏教語 (挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー、入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等
- (26) まとめ

履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教科書を使用して授業を進める。必要に応じ、映像教材・音声教材・文字教材等を複合的に視聴するので、PC設備のマルチメディア教場 (事前に授業中に指示) や視聴覚教室 (授業中に指示または掲示) への移動指示に注意すること。印刷教材プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期休暇後提出、学年末提出、その他中間で適宜にレポート課題提出を求める）
課題は具体的に授業中にて指示するので出欠には要注意。出席点による。出席を尊重。

教科書

小山一乗著『教育と寛容—宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点—』（宣協社）2,940円消費税込

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣）1,600円
脇本平也著『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円。その他適宜紹介・指示する

その他

原則として講義形式で実施するが、適宜、発表、討論をおこなう予定である。

科目名

担当者名

心理学概論

まじまひと
間島英俊

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われまます。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実のみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	担当者名
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片 山 一 良

講義のねらい	パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は文法全体について講義し、後期は相応部経典『有偈篇』(Sagātha-vagga)を講読する。
履修上の留意点	習得に丁寧であることが望まれる。
成績評価の方法	年度末テスト、および平常点による。
教科書	コピーにて配布する。
参考書等	水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)
その他	随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名
パーリ語上級	ふる やま けん いち 古 山 健 一

講義のねらい	この授業では、高度なパーリ語の文法及び語彙に関する知識を実践的に習得することで、パーリ伝統仏教の理解に不可欠なパーリ註釈文献の読解力を涵養することを目指し、また、ローマ字本以外のテキスト(特にミャンマー第6回結集版)を参照しつつ読解を進めていくことで、異字本の参照能力を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	『ダンマパダ(法句)』の註釈書『ダンマパダ・アッタカター』(第1章「双品註」以下)を、H.C.Norman校訂のパーリ文献協会(PTS)版をもとに、ミャンマー第6回結集版を参照しつつ、講読する。前期はパーリ語の初級文法のおさらいと第6回結集版の正しいローマナイズに力点を置き、後期は文献の読解を通して上級文法を実践的に習得することに力点を置き、授業を進める。
履修上の留意点	パーリ語初級を履修済みであることが望ましいが、初級での学習事項を再確認する機会を設けつつ進めていくので、初心者でも履修は可能である。なお、演習形式の授業のため予習は必須である。
成績評価の方法	夏休みの提出課題と学年末試験の合計点数により評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	水野弘元『増補改訂パーリ語辞典』(春秋社)4,725円 ISBN4-393-10156-1 水野弘元『パーリ語文法』(山喜房佛書林)3,150円 ISBN4-7963-0010-4
その他	授業方法は演習方式。使用する原典テキスト等はプリントで配布する。

科目名	担当者名
サンスクリット語初級	かな ざわ あり 金 沢 篤

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名
サンスクリット語上級	かな ざわ あり 金 沢 篤

講義のねらい

仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある下記の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際のな力を養う。演習形式。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教科書

ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R.Lanman, A Sanskrit Reader）OUP

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科目名	担当者名
チベット語上級	よつや こうどう 四津谷孝道

講義のねらい

サンスクリット語で著わされたインドの仏典からの翻訳チベット語文献ではなく、チベット人によって著わされた文献を読むことを通して、チベット仏教に直に触れることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

所謂「無頭字」"dbu-med"で記された文献を読む。最初は、「無頭字」で記された簡単なテキストを用い、ある程度「無頭字」に慣れた段階で、哲学或いは歴史文献を読むことにする。

成績評価の方法

平常点によって評価する。

教科書

資料は、最初の授業において配布する。

科目名	担当者名
ラテン語	うえのかつひろ 上野勝広

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介しします。

科目名	担当者名
仏教文献学	のざわよしみ 野沢佳美

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教經典の一大叢書である大蔵經（一切經）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵經です。当初大蔵經は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵經の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵經の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵經の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、中国における大蔵經編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵經の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。

後期では、明代以降の大蔵經を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵經の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵經編纂の流れを基軸としこれに個々の大蔵經を取り巻く諸問題を取り上げますので継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。

教科書

とくには定めません。随時プリントを配付します。

参考書等

『大蔵經－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊
 竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000年
 竺沙雅章「大蔵經編纂」（『大谷大学通信』50号）2000年
 椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社）1993年
 野沢佳美『明代大蔵經史の研究』（汲古書院）1998年

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

科目名	担当者名
中国文学	佐藤浩一

講義のねらい

漢詩や漢文といった、中国の古典文学について講義します。特に、仏教との関わりを持つ文学作品を多く紹介してゆきます。作品の魅力に触れつつ、その意義について考えてゆきましょう。

また、漢文訓読についても講義します。文献を読む上で必要な訓読のルールを、身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、長い歴史をもつ中国文学の、全体の流れを通史的に講義します。後期からは、特に唐代文学を中心にした授業を行なう予定です。

履修上の留意点

毎回かならず簡単な質問をします。また、出席を重視します。夏休み明けにレポート提出を予定しています。漢和辞典は必携。中国語の履修の必要はありません。

成績評価の方法

教場試験・出席状況・提出物などを、総合的に勘案して評価します。

教科書

教科書は使用せず、プリントを用意する予定です。

参考書等

『新明解漢和辞典』『全訳漢辞海』（ともに三省堂）

科目名	担当者名
禅美術	村松哲文

講義のねらい

禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。

本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義ガイダンスと宋代の社会と仏教（1～3）

北宋の絵画（4～7）

南宋の絵画（8～11）

元の絵画（12～15）

鎌倉時代の絵画（16～19）

室町時代の絵画（20～23）

庭園のかたち（24～26）

禅の美意識（27～30）

履修上の留意点

講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	担当者名
仏教美術	むら まつ てつ ふみ 村 松 哲 文

講義のねらい

日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ（３）仏教と芸術」で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- 仏教美術の世界（１）
- 飛鳥時代の仏像（２～７）
- 白鳳時代の仏像（８～１０）
- 天平時代の仏像（１１～１５）

〔後期〕

- 平安時代の仏像（１６～２０）
- 鎌倉時代の仏像（２１～２５）
- 仏教美術の荘厳（２６～３０）

以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	担当者名
坐禅Ⅱ 坐禅Ⅰ〔再クラス〕	いしい せいじかん まつだ ようじ 石井 清純・松田 陽志

講義のねらい

道元禅の実践。

講義の内容・授業スケジュール

実習時間は、すべて坐禅・経行（きんひん）の実習となる。経行の後は、『坐禅用心記』を講じる。

実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて「坐禅Ⅰ」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。

実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊なるを厳しく要求するので、これらのことを予めよく承知しておくこと。

なお、学年度最初の実習では、席次（単）の決定や必要な諸注意を行うので履修するものは必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置も行われないので注意すること。

また、坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更正社）

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いけ だ れん たらう 池 田 練太郎
演習Ⅱ	

講義のねらい	古来、仏教における入門的な論書として重んじられてきた世親 (Vasubandhu) の著作『阿毘達磨俱舍論』(Abhidharmakosabhasya) を、サンスクリット語の原典と玄奘による漢訳を用いて講読する。この講読を通して、仏教の重要な術語や概念を理解するとともに、仏典を正確に読解する力を身につけ、仏教に関わる諸問題について自ら考察する姿勢を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期には玄奘訳『俱舍論』を中心に講読し、後期にはサンスクリット語テキストによって同書を講読する。
履修上の留意点	毎週当番制で和訳を附してもらうが、当たっていない者も必ず予習をして授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	授業における平常点によって評価する。
教科書	テキストは最初の授業のさいに説明する。
参考書等	関連する問題について発表してもらうことも考えている。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いけ だ ろ さん 池 田 魯 参
演習Ⅱ	

講義のねらい	天台教学思想を介して仏教の根本思想を学ぶ。 『摩訶止観』は中国隋代の天台智ギ (538~597) によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践理論を踏まえ、独自の仏教理解を提示する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』やその注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』などから種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教思想の現代的意義を究明したい。
講義の内容・授業スケジュール	漢文で書かれた仏教教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について問題点を質疑応答してもらう。
成績評価の方法	毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の平常の授業態度を見て評価する。
教科書	池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究註釈編全三巻 (大蔵出版刊) から講読箇所を適宜コピーして渡す。
参考書等	関口真大校注『摩訶止観』上下巻 (岩波文庫)。 『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いし い せい じゅん 石 井 清 純
演習Ⅱ	

講義のねらい

近年、インターネットの発達と漢字表記の発展により、仏教・禅の研究においてもコンピュータネットワークの重要性が飛躍的に増大した。それは具体的には世界各国による仏教典籍のオンライン供給という形として現れている。

本演習は、前期中にコンピュータオペレーションの基礎を学び、後期には、それを利用して、ネット上の仏教情報の検索、収集、分析方法の演習を行ってゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期中に、まず、コンピュータ機器に関する基礎知識と基本操作を身につけ、オンライン資料の使用法に慣れることを目的に授業を進める。

その後、チームを作成、仏教関係の課題について関連情報を検索・収集し、結果をコンピュータを用いて発表してもらう。

履修上の留意点

講義やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンの基本操作を必ず身につけてもらわなければならない。できれば、個人で自由に使用できるパソコンを保有していることが望ましい。

成績評価の方法

演習中の発表内容をもって評価する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いし い しゅう どう 石 井 修 道
演習Ⅱ	

講義のねらい

演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禅師が暗記するまで読まれたことは間違いなので、道元禅師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は巻14以降の青原系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。

できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝燈録』（中文出版社 京都）2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』（禅文化研究所）各8,500円
入矢義高監修『禅語辞典』（思文閣出版）9,785円
石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

科目名	担当者名
演習Ⅰ	伊藤隆壽
演習Ⅱ	

講義のねらい	中国への仏教伝来は、2世紀ころから本格化するが、それはインドや中央アジア出身の仏教者が次々に中国にやって来て、仏典を紹介したことに始まる。彼らは、どこでどのような仏教を学び、いかにして中国にやって来たのであろうか。その一端を、6世紀に撰述された慧皎の『高僧伝』を読むことにより明らかにしよう。
講義の内容・授業スケジュール	『高僧伝』巻1の「訳経篇」を読み、解説する。
履修上の留意点	漢文に慣れるために、当番を決めて予習してもらうので、主体的積極的な学習を期待する。
成績評価の方法	平常点とレポートによる。
教科書	大正蔵50巻所収のテキストは、コピーを配布する。
参考書等	開講時に紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	岩永正晴
演習Ⅱ	

講義のねらい	江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。
講義の内容・授業スケジュール	今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵開解』（斧山玄トツ述）を中心に演習を行う。
履修上の留意点	大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。
成績評価の方法	平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。
教科書	『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。
参考書等	『永平正法眼蔵菟書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

演習Ⅰ

おお なた てつ お
大 谷 哲 夫

演習Ⅱ

講義のねらい

『永平広録』(10巻)は、道元禅師の弟子たちが編纂した禅師の語録であり、禅師の主著である『正法眼蔵』以外では、特に禅師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに卍山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読しておくこと。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・卍山本『永平広録』。
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禅師 おりおりの法話』(曹洞宗宗務庁)
『祖山本 永平広録 考註集成』(上下二巻 大蔵出版)
『卍山本 永平広録 考註集成』(全一卷 一穂社)
『永平広録注解全書』(上中下索四巻 鴻盟社)
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

かた やま いち ろう
片 山 一 良

演習Ⅱ

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。とくに詩(偈)と散文からなる『如是語(経)』を選び、五蘊、縁起、四諦・中道の教えについて考えたい。また、前期には各自の研究課題に基づく発表の機会を設けたい。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

テキストはPTS本(Itivuttaka)を使用。コピー配布。

参考書等

南伝大蔵経第23巻(小部經典1)

その他

授業は講読・討論を主とする。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	かな ざわ かつら
演習Ⅱ	金 沢 篤

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を伺う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	くま ちと えい にん
演習Ⅱ	熊 本 英 人

講義のねらい

日本の仏教と近代について考える

講義の内容・授業スケジュール

明治維新を境に、仏教とそれを取り巻く環境は大きく変わった。日本の仏教、寺院は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。近世の寺請制度と仏教批判、明治維新期の神仏分離を初めとする混乱、そして、近現代において、仏教はどのように社会と関わってきたか。近代仏教を視点に、僧侶や寺院のあり方について考えてみたい。ここでは、曹洞宗の例を中心に、様々な文献を使って読み解いていく。

テキストについては、受講者の興味も考慮して選択する。

履修上の留意点

適宜、小レポートを課す。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

演習の中で随時紹介する。

科 目 名**担 当 者 名**

演習Ⅰ

さ とう しゅう こう
佐 藤 秀 孝

演習Ⅱ

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらおう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建撕記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参 考 書 等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

そ の 他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科目名	担当者名	
演習Ⅰ	てい	せい
演習Ⅱ	程	正

講義のねらい

この講義は、中国初期禅宗史を研究するための基礎的な知識と技能の習得をそのねらいとする。本年度は、『二入四行論』の輪読を行う予定である。『二入四行論』とは、中国禅宗の始祖と仰がれる菩提達摩の禅法とされる「二入四行」を巻首にもつ、一万字以上からなる長篇の初期禅宗語録のことである。このテキストを読むことによって、草創期の中国禅宗の禅思想の核心を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、柳田聖山氏の校訂したテキストと近年椎名宏樹氏によって全文を紹介された天順本『菩提達摩四行論』とを比較しながら、それをワープロに起こし、書き下し、引用に関しては出典を探し、内容を理解するという作業を繰り返し行う予定である。最初の二、三回は『二入四行論』に関する従来の研究成果などの紹介に当て、その後は、テキストを適当な分量に区切って参加者全員に配分し、参加者は輪番でそれぞれの担当箇所について資料を作成し発表を行う予定である。

履修上の留意点

それぞれ担当する内容については、発表資料の作成などの予習が不可欠である。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業における発表、期末の課題レポート、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

柳田聖山『達摩の語録』（禅の語録1）（筑摩書房）1969年
柳田聖山『ダルマ』（人類の知的遺産16）（講談社）1981年

科目名	担当者名	
演習Ⅰ	なが	まさ
演習Ⅱ	永	井 政 之

講義のねらい

北宋を代表する禅者の一人、慧洪（1071～1128）の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禅者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禅』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禅の世界は、「灯史」に限定されない生き生きとした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

成績評価の方法

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

教科書

テキストは江戸時代の木版本をコピーして使用します。返り点や送りがなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

参考書等

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

はせべ はち ろう
長谷部 八 朗

演習Ⅱ

講義のねらい

仏教をはじめとした諸宗教の儀礼分析を中心に行なう。とくに、教えや世界観と関連づけながら、儀礼の意味や役割を追究する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記に関する主要な文献を取り上げ、検討する。また、履修者に関連テーマを与え、調べた内容をレポートしてもらい、それに基づいて議論する機会も持ちたい。

成績評価の方法

授業態度や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

はれ やま しゅん えい
晴 山 俊 英

演習Ⅱ

講義のねらい

まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・
授業スケジュール

曹洞宗禪戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禪宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禪戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禪師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

履修上の留意点

4年次生には、前期末より卒業論文中間報告をして貰う。

成績評価の方法

出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

夏季休業中にゼミ合宿を行なう場合がある。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	まつ だ よう し 松 田 陽 志
演習Ⅱ	

講義のねらい

日本曹洞宗が中・近世にわたって宗義として参究・解釈してきた、〔偏正〕五位説を取り上げ、その研究史や具体的解釈について研究する。特に、曹洞宗学の枠組みの全面的な見直しが行われる江戸時代において、五位説が道元禅師の『正法眼蔵』研究と共に、どのように理解され位置づけられていったのかを、具体的な文献の読解によって検討する。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる文献については、受講者と相談して決めるが、基本的には江戸時代における、五位説解釈をめぐる様々な論議や内容解釈の傾向などの理解をめざす。具体的には次にあげる三つの課題を柱とした。

江戸時代の五位説研究は明末の永覚元賢による『洞上古轍』の刊行・流布が大きな契機となる。『洞上古轍』に言及する諸註釈書や五位関係文献の立場を捉えることが、当時の五位説の理解には必須である。

また、五位説に関係する分野として、江戸時代の宗学論議の中心である嗣法論も視野に入る。円山道白や面山瑞方らの嗣法関係文献などの読解においても、五位説がどのように位置づけられているのかを知ることができる。

更に、江戸期に入って盛んに註釈書などがつくられる、石頭希遷の『参同契』と洞山良价の作とされる『宝鏡三昧』の解釈の問題も、中世から近世に渉る五位説解釈の展開を考える上で、重要な意味をもつ。

これらの中から、受講者の興味・関心に基づいて課題と読解する文献などを決めていく。

履修上の留意点

図書館や辞書を積極的に利用して、自分の頭で文献を読み理解することを望む。

成績評価の方法

出席及び学習態度・発表内容による。

教科書

基本的な文献資料をコピーして配布する。

参考書等

図書館などの利用方法を含めて、随時紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	まつ もと し ろう 松 本 史 朗
演習Ⅱ	

科 専
門 教
育 目

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教科書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

むら まつ てつ ふみ
村 松 哲 文

演習Ⅱ

講義のねらい

本演習は、禅美術・仏教美術の研究を志す学生を対象とする。美術史を研究してゆく上で必要なことは、漢文読解の能力と美術品観賞の眼力である。授業では、『歴代名画記』あるいは『魏書』釈老志などを輪読しながら、適時受講者による発表を行ってもらおう。また、美術館・博物館の見学を通じて美術品の基礎的な観賞法をトレーニングしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

発表では、各自担当分の読み下しと現代語訳を用意してくる。また輪読の合間に、受講者が興味を抱いている研究課題について随時報告をしてもらう。

履修上の留意点

美術品の観賞は経験がものを言うので、時間のゆるす限り実物を観る機会を多くつくること。

成績評価の方法

発表内容と出席率などによる総合評価。

教科書

プリントで配布する。

参考書等

『歴代名画記』（岩波文庫）
『歴代名画記』（平凡社東洋文庫）

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

よし づ よし ひで
吉 津 宜 英

演習Ⅱ

講義のねらい

東アジアにおける中道思想論
仏教の実践の原点は『律蔵』「大品」での五比丘への説法、初転法輪に見られるように苦楽の二辺を離れた中道にあると思う。また釈尊が重要な場面で強調した自洲と法洲の水平対等のあり方も中道の内容を規定する姿勢と考える。ところで大乘になると空が強調され、一切の法の階層性が空じられて、例えば「生死即涅槃」「煩惱即菩提」に類する相即観が説かれる。そのような相即観は「不二」とも表現され、例えば吉蔵の三論教学には「不二中道」の用例も見える。中道に不二の意味を読み込むことは中道の原意から逸脱すると考える。東アジアの諸教学に中道の諸形態を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初に私が演習の趣旨を総合的に説明する。各自はそれぞれ自分のテーマを設けて、年間1・2回、約15分前後の小発表を行ってもらいたい。それをめぐって、質疑応答し、問題点を掘り下げたい。

履修上の留意点

出来るだけ積極的に演習の討議に参加してもらいたい。

成績評価の方法

小発表の内容と、毎週の質疑応答に積極的に参加することを評価の第一のポイントにする。次に1月15日締め切りで10枚（400字原稿用紙換算、ワープロも可）以上の小論文の提出を求める。小発表と小論文のテーマは異なってもよい。以上の小発表と小論文、そして質疑応答への積極的な参加を総合的に勘案して評価する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	よしむらまこと
演習Ⅱ	吉村 誠

講義のねらい	唯識思想の体系を中国に伝えた玄奘（602-664）の伝記を講読する。講読を通じて、7世紀の仏教教団の実態、中国への仏教の伝播、隋唐の仏教文化、唯識思想の展開など、種々の問題を考察することになるだろう。 また、受講者の関心に応じて、①東アジア仏教の諸問題（仏・菩薩の信仰、受戒儀礼、仏教説話）、②儒教・道教・仏教の三教交渉、③中国古代思想（儒家・道家・法家等の諸子百家の思想）についても研究指導する。
講義の内容・授業スケジュール	道宣撰『統高僧伝』巻四「玄奘伝」を講読する。 （前期）（1）『統高僧伝』の成立について（2-12）「玄奘伝」を読む（13）研究発表 （後期）（1）玄奘伝の諸本について（2-12）「玄奘伝」を読む（13）研究発表
履修上の留意点	漢文資料を輪読するので、訓読の予習が必要である。漢文の読解力を向上させたい者、東アジアの仏教に広く関心を持つ者の受講を期待する。
成績評価の方法	出席と予習の状況を総合して評価する。
教科書	プリントを使用する。
参考書等	授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	よつやこうどう
演習Ⅱ	四津谷 孝道

講義のねらい	この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。
講義の内容・授業スケジュール	『般若経』において説かれた「空」に論理的な根拠を与え、中観思想の礎を築いたのは、龍樹（ナーガールジュナ、紀元2-3世紀）という人物である。当演習では、この龍樹を開祖とする中観派の思想を中心に、大乘仏教を広い視野で考察してみたい。 今年度はインド思想全体を視野に入れ、「沈黙」をテーマに「空」とは何かを探してみたい。
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	年度末のレポートによって評価する。
教科書	特になし。
参考書等	授業において、随時言及する。
その他	聴講は、原則として認めない。科目専門教育専門教育科目

科専門教育
目

科
專
門
教
育
目

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

他学部履修科目
フレア開講

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
上代文学研究Ⅰ	禅・仏教	通年	4	中嶋真也	315
中古文学研究Ⅰ	禅・仏教	通年	4	松岡智之	315
中世文学研究Ⅰ	禅・仏教	通年	4	櫻井陽子	316
近世文学研究Ⅰ	禅・仏教	通年	4	近衛典子	316
近代文学研究Ⅰ	禅・仏教	通年	4	榎本正樹	317
比較文学	禅・仏教	通年	4	木村朗子	317
西洋思想史	禅・仏教	通年	4	柴野博子	318
演劇概論	禅・仏教	通年	4	森井直子	318
日本民俗学	禅・仏教	通年	4	谷口貢	319
イギリス文学特講Ⅰ	禅・仏教	通年	4	石原孝哉	319
イギリス文学特講Ⅱ	禅・仏教	通年	4	高野正夫	320
イギリス文学特講Ⅲ	禅・仏教	通年	4	岡崎寿一郎	320
イギリス文学特講Ⅳ	禅・仏教	通年	4	川崎明子	321
イギリス文学特講Ⅴ	禅・仏教	通年	4	富士川義之	321
イギリス文学特講Ⅵ	禅・仏教	通年	4	丸小哲雄	322
アメリカ文学特講Ⅰ	禅・仏教	通年	4	東雄一郎	323
アメリカ文学特講Ⅲ	禅・仏教	通年	4	足田和人	323
演劇特講(イギリス・アメリカ)	禅・仏教	通年	4	落合和昭	324
時事英語	禅・仏教	通年	4	サンダース, L. P.	324
地理思想史	禅・仏教	通年	4	休講	／
地形学	禅・仏教	通年	4	平井幸弘	325
人口地理学	禅・仏教	通年	4	山内昌和	326
文化地理学	禅・仏教	通年	4	小田匡保	326
応用地理学	禅・仏教	通年	4	高木正博	327
現代地理学特論	禅・仏教	通年	4	佐藤哲夫	327
日本史特講Ⅶ〔近代〕	禅・仏教	通年	4	熊本史雄	328
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕	禅・仏教	通年	4	杉山清彦	328
考古学特講Ⅲ	禅・仏教	通年	4	設楽博己	329
西洋文化史	禅・仏教	通年	4	石田恵子	329
産業・職業社会学	禅・仏教	通年	4	小川慎一	330
マス・コミュニケーション論	禅・仏教	通年	4	休講	／
社会福祉発達史	禅・仏教	通年	4	休講	／
日本経済史	禅・仏教	通年	4	渡邊恵一	331
農業政策	禅・仏教	通年	4	溝手芳計	332
日本経済論	禅・仏教	通年	4	小林正人	333
中国経済論	禅・仏教	通年	4	田中祥之	334
アメリカ経済論	禅・仏教	通年	4	瀬戸岡紘	334
EU統合論	禅・仏教	半期	2	清水卓	335
現代西欧経済論	禅・仏教	半期	2	清水卓	336
ロシア・東欧経済論	禅・仏教	通年	4	山縣弘志	337
財務会計論	禅・仏教	通年	4	小栗崇資	338
会計監査論	禅・仏教	通年	4	休講	／

フレックスA
他学部履修科目
開講

管理会計論	禪・仏教	通年	4	石川祐二	339
貿易論	禪・仏教	通年	4	占沢紘造	340
西洋法制史	禪・仏教	通年	4	北野かほる	341
英米法	禪・仏教	通年	4	北野かほる	342
経済法	禪・仏教	通年	4	若林重里砂	343
国際政治学	禪・仏教	通年	4	小堀訓男	343
ヨーロッパ政治史	禪・仏教	通年	4	浦田早苗	344
地方自治法	禪・仏教	通年	4	富井幸雄	344
比較政治学	禪・仏教	通年	4	三竹直哉	345
現代国家論	禪・仏教	通年	4	大塚桂	346
比較憲法	禪・仏教	通年	4	館田昌子	347
経営労務論	禪・仏教	通年	4	鹿嶋秀晃	348
国際経営論	禪・仏教	通年	4	茂垣広志	349
商業史	禪・仏教	通年	4	山田勝	349
保険経営論	禪・仏教	通年	4	石名坂邦昭	350
財務会計論	禪・仏教	通年	4	渡邊惠一郎	351
経営分析論	禪・仏教	通年	4	片桐伸夫	352
税務会計論	禪・仏教	通年	4	高木克己	353
経営情報論	禪・仏教	通年	4	高井徹雄	354
情報理論	禪・仏教	通年	4	西村和夫	355
経営統計	禪・仏教	通年	4	長国強	356
医療宗教学	禪・仏教	半期	2	吉津宜英	357
医療経済学	禪・仏教	半期	2	永山くに子	358
メディア・コミュニケーション概論	禪・仏教	半期	2	西岡洋子	359
ネットワークコミュニケーション論	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
情報メディア産業論Ⅰ	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
比較メディア制度論	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
都市とメディア	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバルアート政策論	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバル創造都市論	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
情報保護と社会	禪・仏教	半期	2	[19年度開講予定]	
映像コンテンツ論	禪・仏教	半期	2	[20年度開講予定]	
メディアと知識論	禪・仏教	半期	2	[20年度開講予定]	
異文化コミュニケーション	禪・仏教	通年	4	奥原淳子	360
女性史	禪・仏教	通年	4	休講	
文化概論	禪・仏教	通年	4	休講	
国文学特殊研究	禪・仏教	通年	4	休講	
古典戯曲演劇	禪・仏教	通年	4	休講	
メディアと表現	禪・仏教	通年	4	休講	
時事英語	禪・仏教	半期	4	岡本誠	361

[フレックス B で開講される他学部履修科目]

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	禅・仏教	通年	4	大吹勝男	362
社会思想史	禅・仏教	通年	4	阿部弘	363
国際経済論	禅・仏教	通年	4	休講	
商業政策	禅・仏教	通年	4	岩下弘	364
アジア経済論	禅・仏教	通年	4	鄭章淵	365
社会政策	禅・仏教	通年	4	竹下睿騏	366
マーケティング	禅・仏教	通年	4	休講	
経営管理論	禅・仏教	通年	4	休講	
中小企業論	禅・仏教	通年	4	休講	
人口論	禅・仏教	通年	4	休講	
労務管理論	禅・仏教	通年	4	休講	
法思想史	禅・仏教	通年	4	高橋洋城	367
日本法制史	禅・仏教	通年	4	茂野隆晴	368
西洋法制史	禅・仏教	通年	4	休講	
経済法	禅・仏教	通年	4	荒井登志夫	369
国際関係論	禅・仏教	通年	4	三船恵美	369
地方自治法	禅・仏教	通年	4	富井幸雄	370
国際紛争解決法	禅・仏教	通年	4	王志安	371
倒産処理法	禅・仏教	通年	4	鈴木貴博	371
アメリカ経営学	禅・仏教	通年	4	宮城徹	372
経営財務論	禅・仏教	通年	4	高田光明	373
経営組織論	禅・仏教	通年	4	休講	
公益企業論	禅・仏教	通年	4	菅谷実	374
管理会計論	禅・仏教	通年	4	休講	
会計監査論	禅・仏教	通年	4	阿部一人	375
日本経済論	禅・仏教	通年	4	休講	

他学部履修科目
フレア開講

科目名	担当者名
上代文学研究 I	中嶋 眞也

講義のねらい

本講義では、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」などの景物を軸として、それらがどのような表現をなしているのかを見ていくことにしたい。また、『万葉集』歌の時期区分にも留意し、『万葉集』内での表現史も考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。
その上で、一つの景物をどのように詠んでいるのかを、検証していく。具体的には、前期は「桜」の歌を中心に、後期は「雪」の歌を中心に読解していきたい。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名
中古文学研究 I	松岡 智之

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

他学部履修科目講義

科目名

担当者名

中世文学研究 I

さくら い よう こ
櫻 井 陽 子

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の巻九の一ノ谷合戦の後の平家公達の去就を描く諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみ、また、戦功を求める合戦の状況などを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻九の位置づけ。
- 12～ 『平家物語』巻九の諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名

担当者名

近世文学研究 I

この え のり こ
近 衛 典 子

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

フ他学部履修科目
A開講

科目名	担当者名
近代文学研究 I	榎本正樹

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。

今年度の授業では、小特集的なテーマを設定する予定です。その一つとして、島本理生、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、三並夏、三浦しをんなど、いわゆる「現代女子(系)文学」についての考察を予定しています。また、現代日本文学を原作とするいくつかの映画作品を鑑賞し、原作と映画を比較分析する授業を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

科目名	担当者名
比較文学	木村朗子

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心に課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

他学部履修開科目講

科目名	担当者名
西洋思想史	柴野博子

講義のねらい	カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話する予定です（6・7月）。 後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、バルクソン、デイルタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。
成績評価の方法	年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。
教科書	久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
演劇概論	森井直子

講義のねらい	明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。 演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1、日本近代演劇の黎明（2回） 2、明治40年代の演劇（2回） 3、日本近代戯曲の模索（2回） 4、大正戯曲の時代（2回） 5、築地小劇場（2回） 6、政治と演劇（2回） 7、まとめ（1回） 後期 1、戦後新劇の活動（2回） 2、小劇場運動の隆盛—1960年代（2回） 3、小劇場運動の展開—1970年代（2回） 4、私さがしとメタシアター—1980年代（2回） 5、静かな演劇—1990年代（2回） 6、今日の演劇（1回） 7、まとめ（1回）

履修上の留意点	授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。
成績評価の方法	前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。
教科書	特に定めない。
参考書等	授業時に指示する。
その他	講義形式の授業。

科目名	担当者名
日本民俗学	谷口 貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名
イギリス文学特講 I	石原 孝哉

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

フレA開講
他学部履修科目

科目名**担当者名**

イギリス文学特講Ⅱ

たかのまさお
高野正夫

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名**担当者名**

イギリス文学特講Ⅲ

おかざきとしちろう
岡崎寿一郎

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernity という言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩へと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅳ	川崎明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説の特徴と当時の文化と社会について知識を得ることを目的とします。小説については、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の代表的な作品を取り上げます。並行して、これらの作品が出版された当時の歴史的背景について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を読んだ上で臨んでください。

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験に加え、授業中の発言およびディスカッション等の内容により総合的に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅴ	富士川義之

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

講義のねらい

外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論を整理することです。

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考の精確さが求められます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素、作品テキストの機能、作品テキストの力について
- 5) さまざまな批評方法について
 - ・ 伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- 1) R. Scholes "Elements of fiction" (英宝社)
- 2) プリント使用：多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

随時指示します。

科目名**担当者名**

アメリカ文学特講Ⅰ

あづま 雄一郎
ゆういちろう**講義のねらい**

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

科目名**担当者名**

アメリカ文学特講Ⅲ

あし だ かず ひと
足 田 和 人**講義のねらい**

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

他
フ
レ
A
開
講
他
学
部
履
修
科
目

科目名**担当者名**

演劇特講(イギリス・アメリカ)

おちあいかずあさ
落合和昭**講義のねらい**

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), 아일랜드 では、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-), Harold Pinter (1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

科目名**担当者名**

時事英語

サンダース, L. P.

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名**担当者名**

地形学

平井幸弘
ひら い ゆき ひろ

講義のねらい

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面と地形環境誌的な側面の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) 1. 地形発達のバックグラウンド
気候変動 海水準変動 地殻変動
2. 様々な地形：関東地方を例に
火山地形 河岸段丘 丘陵地 扇状地と自然堤防 三角州と干潟 海跡湖
- (後期) 3. 日本各地の水辺の環境問題—応用地形学の視点から—
中海・飯梨川デルタ 吉野川・第十堰 那賀川の旧河道 加茂湖周遊 宍道湖一周 浜名湖の湖底伝説

履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書

平井幸弘『水辺の環境ガイド—歩く・読む・調べる—』(古今書院) 2005年

参考書等

貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』(東大出版会) 2000年
加藤 真『日本の渚—失われてゆく海辺の自然—』(岩波新書) 1999年
五十嵐敬喜・小川明雄『公共事業は止まるか』(岩波新書) 2001年

その他

高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名

担当者名

人口地理学

山内昌和

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔人口分析の基礎〕 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因
- 〔人口移動の概念とデータ〕 人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔世帯の分析〕 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
- 〔日本国内の人口移動〕 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕 地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕 将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

科目名

担当者名

文化地理学

小田匡保

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数不足の場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

他学部履修科目
レA開講目

科目名	担当者名
応用地理学	高木正博

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記のように予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 濁水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末(授業最終日)に実施予定の教場試験1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名
現代地理学特論	佐藤哲夫

講義のねらい

東南アジアの環境問題や地域問題について知ると同時に、地形図やリモートセンシング画像を利用して、海外地域を調査する技術も学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

タイなどを題材にして講義を行います。地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの実習的な作業課題も課します。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

課題の提出(50%)と前期末・後期末の試験(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。

フ
レ
シ
A
開
講
他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名
日本史特講Ⅶ(近代)	くまもと ともみ おほ 熊本史雄

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	担当者名
東洋史特講Ⅲ(近代史)	すぎやま きよひこ 杉山清彦

講義のねらい

アジアの近世・近代は、一面において、16～17世紀に形成された諸帝国が18～19世紀に変容していく過程であり、近現代における地理的・文化的枠組や住民構成も、この過程で形づくられていった。本講義では、ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国(清朝)を対象とし、その統治機構と支配構造を、時系列的な中華王朝の系譜としてではなく、比較史の観点から同時代ユーラシア各地域の諸帝国と対比しつつ検討する。それによって、大清帝国の特質を中国史とは異なる観点から浮き彫りにするとともに、近現代における中国はじめとしたアジア諸地域の命運の分岐にも新しい視点を提示する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 大清帝国の形成・発展過程
 2. 大清帝国の統治機構と支配構造
 - ・八旗制の支配構造
 - ・帝国の統合と支配：皇帝のいくつもの顔
 3. ユーラシア近世帝国としての大清帝国
 - ・オスマン朝・サファヴィー朝・ムガル朝の支配体制
 - ・武家政権としての大清帝国・江戸幕府
- 結 ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。参考書は適宜紹介する。

他学部履修科目
フレxA開講

科目名	担当者名
考古学特講Ⅲ	設楽博己

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品をとりあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味するところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

科目名	担当者名
西洋文化史	石田恵子

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追い、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

フ
レ
A
開
講
他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本の雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。

前期	後期
①イントロダクション	①前期分の小テスト
②若者と仕事（第7章）	②技術革新と仕事の変化（第3章）
③年功制の変化と実態（第1章）	③女性の就業構造（第4章）
④長期安定雇用（第1章）	④雇用形態の多様化（第9章）
⑤失業と転職（第5章）	⑤ライフスタイルと就業意識（第6章）
⑥労働組合（第11章）	⑥ライフスタイルと生活時間（第8章）
⑦労力開発（第2章）	⑦仕事からの引退（第10章）
⑧中間まとめ	⑧最終まとめ

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席（30点）＋小テスト（20点）＋最終テスト（40点）＋発言（10点）。

教科書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』（有斐閣）2004年 2,000円＋税 ISBN4-641-18313-9

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式だが、受講者の発言を求めし出席もとる。レジメを配布するが板書もする。

科目名

日本経済史

担当者名

渡邊恵一

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代的問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなること留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
 - 景気の現状と雇用情勢
 - 戦後改革
 - 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 - 産業政策の役割
 - 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
 - イノベーションと産業構造の変化
 - 主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 - 日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
 - 製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
 - 平成不況の意義
 - IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科目名

担当者名

中国経済論

たなかよしゆき
田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないのでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

他学部履修科目
フ
レ
A
開
講

科目名

担当者名

アメリカ経済論

せとあかおし
瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年
グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店）1994年
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

科目名**担当者名**

EU統合論

清水卓

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EUの目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EUは、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EUは大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III. EUの制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU憲法 IV. EUの政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) リスボン戦略 (4) 共通農業政策 (5) 欧州社会モデル

履修上の留意点

EUは25の国の上立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

その他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸EU諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦争による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU中核国独仏英の経済 (3) EUの地中海諸国 (4) EU中東欧諸国の経済・社会

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るといことが出発点です。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教 科 書

教科書は指定しません。

参 考 書 等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

そ の 他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上で、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科目名

管理会計論

担当者名いし がわ ゆう じ
石 川 祐 二**講義のねらい**

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、管理会計上の様々な手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のあり方を問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名
国際政治学	こぼりのりお 小堀 訓男

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

フレA開講
他学部履修科目

科目名

担当者名

ヨーロッパ政治史

うら た さ なえ
浦 田 早 苗

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名

担当者名

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部履修科目
F/A開講

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べるのが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでおくべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

その他

この文章は2005年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。

<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名**担 当 者 名**

現代国家論

おお つか かつら
大 塚 桂**講義のねらい**

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといいきれのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想（水戸学、国学） 4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒厳
（令） 9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語
14. 国家神道 15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファ
シズム 19. 統制経済 20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名**担当者名****比較憲法**かて だ しょう こ
館 田 晶 子**講義のねらい**

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジュメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジュメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

科 目 名**担 当 者 名**

経営労務論

かしまひであき
鹿嶋秀晃**講義のねらい**

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993年（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995年（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992年（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名
国際経営論	茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名
商業史	山田勝

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

科 目 名**担 当 者 名**

保険経営論

いしなざかにあき
石名坂 邦 昭**講義のねらい**

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名**担当者名**

財務会計論

わた なべ えいちろう
渡 邊 恵一郎**講義のねらい**

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

- (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）
情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
- (2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）
情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。
- (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史的変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

- (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）
調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。
- (2) シミュレーション（11月～12月：4週）
複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。
- (3) DSSとES（12月～1月：3週）
人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

『基礎から学ぶ経営科学』高井徹雄他著（税務経理協会）2,600円

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報量を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名

担当者名

経営統計

なが くに くに くに
長 国 強

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
統計特性値：平均、分散、正規分布
市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測
経営指数：物価指数、数量指数
統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名**担当者名**

医療宗教学

よしずよしひで
吉津 宜英**講義のねらい**

宗教学とは通常世界の多様な宗教を様々な方法論を用いて分析し、その実態や機能を論究する学問である。他の学問分野と関連づける場合、宗教社会学・宗教心理学・宗教教育学等という具合になるのが慣例である。当該科目が宗教医療学とならないで、医療宗教学となっているのは何故であろうか。これは医療に関して宗教学的考察を行うのではないからである。むしろ医療的な視点から宗教を問うという方が良い。医療的な視点とは何か。それは科学技術の医学的理論と応用の世界である。その世界には科学的人間観が貫徹する。その人間観はキリスト教的な真理観に対抗して現れた人間機械論にも通じる。医療に当たる人は科学的な真理や技術に親しく、科学的な人間観を持ちやすいから、一方で哲学的・宗教的人間観の実在にも通暁することが求められる。医療行為が生な人間関係、人間観相互の葛藤・交流の場に他ならないからである。医療に従事する人が宗教を問い、宗教に関する正しい知識を持つことは、その人間観を広げる。医療宗教学は医療の世界に関わる人々にあえて宗教・人間・自己を問いかけてもらう教材を示し、共に認識を深め合うことを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

先ず様々な人間観を提示する。医療の世界がどのような人間観に支えられているかを考えてみる。その有効性と問題性も取り上げる。科学や医療の発達には宗教の必要性を認めなくなるという議論もある。そこまで宗教を追いつめてみる。仏教・キリスト教・イスラムなどの世界の三大宗教や日本の神道などの多神教的民族宗教は医療の世界に貢献できる面があるのか、この問いに答えるための教材を提示することが講義内容となる。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 錫田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① イントロダクション：コミュニケーションとメディア
 - (ア) メディアの多様化
 - (イ) コミュニケーション・モデルとコミュニケーションの種別
- ② 個人レベルのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 人と人とのコミュニケーション
 - (イ) 生活におけるメディア
 - (ウ) 電話コミュニケーション
- ③ グループのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 企業内
 - (イ) コミュニティ内
 - (ウ) 集団行動・社会運動
- ④ マス・コミュニケーションとメディア
 - (ア) マス・コミュニケーションとメディア
- ⑤ グローバル時代のコミュニケーションとメディア
 - (ア) 国際コミュニケーションとメディア
 - (イ) 情報化社会のコミュニケーションとメディア
 - (ウ) インターネットのコミュニケーション
- ⑥ まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、講義中の小テスト、出席による。

教科書

適宜指定。

参考書等

『情報通信白書』 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/index.html>
 船津衛（著）『コミュニケーション入門』（有斐閣アルマ）
 池田謙一（著）『コミュニケーション：社会科学の理論とモデル』（東京大学出版）

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 「日本の社会・文化」とは？
「日本はどんな国ですか」、「今、日本ではどんなことが問題となっていますか」という問いにどう答えるか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名
時事英語	おかもと まこと 岡 本 誠

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになる。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケタイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論 (価値論) ・電子マネー
- (2) 生産過程論 (労働過程論)
- (3) 流通過程論 (資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論 (中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論 (サラリーマン論)
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備 (学習) をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(粹出版社) 前期 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(粹出版社) 後期 1,500円

講義のねらい

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

ーマンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います。
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

[連絡体制]

講師の連絡先等を次に記載しておく。

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail：xupabe@nifty.com

科目名

担当者名

商業政策

いわ した ひし
岩 下 弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ—前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策—都市・農村計画法 2) 日曜営業問題—商店法
 - 2 フランス—ロワイエ法
 - 3 ドイツ—土地利用計画
 - 4 アメリカ—ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

他学部履修科目
レB開講

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジアNIEsの経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名

担当者名

社会政策

竹下睿麒

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生 of 必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な基本的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、I. 社会政策の概念と分析視角——1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域 II. 資本主義と社会政策の歴史的展開——1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、III. 現代日本の社会政策——1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、①労使関係（労働組合）政策、②賃金政策、③労働時間政策、④労働市場（雇用・失業）政策、⑤労働者保護政策、⑥高齢化政策、⑦女性労働と社会政策、⑧ME・IT技術革新と社会政策、⑨国際化と社会政策、IV. むすび——現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎しむこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策——構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村 裕通^{ひろみち}・荒又重雄編『新社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

他学部履修科目
フレキシブル開講

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだということを知覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
- ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墾田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相对済し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

履修上の留意点

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

成績評価の方法

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円

科目名	担当者名
経済法	荒井登志夫

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私の独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名	担当者名
国際関係論	三船恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのかが、考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンケージ・ポリティックスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうろさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対には与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』（にちぶん）1,500円。後期教科書については、前期授業中に指示します。

他学部履修科目講

科目名

担当者名

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名
倒産処理法	すずきなかひろ 鈴木 貴博

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 倒産法制の概観 | 6. 財団再建・取戻権 |
| 2. 破産原因・破産能力 | 7. 破産手続の主体 |
| 3. 破産申立てと破産宣告手続 | 8. 否認権・配当 |
| 4. 別除権・相殺権 | 9. 免責・破産犯罪 |
| 5. 破産財団をめぐる法律関係 | |

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円
 伊藤眞『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円
 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

他学部履修科目
フレックシブル開講

科目名

担当者名

アメリカ経営学

みやぎ 城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2006年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー) (8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会) 1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
- 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000年(A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998)
- 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer - Poeschel, 1997)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名**担当者名**

公益企業論

菅谷実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益事業とは (2)
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制 (2)
5. 公益事業規制の枠組 (2)
6. 規制緩和の促進 (2)
7. 政府規制の見直し (2)
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス (1)
9. リストラクチャリング (1)
10. 民営化 (1)
〈個別事業〉
11. 個別事業総論 (1)
12. エネルギー・水道 (3)
13. 情報通信 (4)
14. 交通・運輸 (3)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年 5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えるまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - （1）監査の必要
 - （2）監査の意義
 - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - （1）監査の目的
 - （2）監査思想の変遷
 - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - （1）証券取引法監査
 - （2）商法監査
 - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - （1）必要性
 - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
 - （1）意義
 - （2）体系
 - （3）一般基準
 - （4）実施基準
 - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - （1）監査概念の拡大化
 - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について

て説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
山榘忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

IV 短大仏教科開設科目

開設科目
短大仏教科

IV. 短大仏教科開設科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
インド・チベット仏教演習	禅・仏教	通年	4	池田道浩	381
中国仏教演習	禅・仏教	通年	4	奥野光賢	381
仏教思想演習	禅・仏教	通年	4	袴谷憲昭	382
仏教文学演習	禅・仏教	通年	4	石井公成	382

開設科目
短大仏教科

科目名	担当者名
インド・チベット仏教演習	池田道浩

講義のねらい	ツォンカパは、ダライラマが属するゲルク派の開祖である。ツォンカパ教学は、全仏教を通じて最も最高レベルのものであろう。本講義では、ツォンカパの中観思想を考察したい。きわめて難解であるが、十分な準備をして、理解しやすくなるよう努めるつもりである。
成績評価の方法	評価は、レポートによって行い、ペーパー試験は実施しない。
教科書	特定の教科書は用いない。
参考書等	資料は、そのつど配布する。

科目名	担当者名
中国仏教演習	奥野光賢

講義のねらい	「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。一応、下記のような講義内容とするが、受講者の人数によっては、受講者の希望によってテキストを変更する場合もあり得る。
講義の内容・授業スケジュール	わが国、鎌倉時代の碩学、凝然(1240-1321)の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標とする。本年度は最初から読み始める。 講義スケジュールは以下のような予定とする。 (前・後期) (1) 授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示 (3～4) 『八宗綱要』 解題 (5 回目以降) 講読開始
履修上の留意点	演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。履修希望者は開講初日かならず出席すること。
成績評価の方法	純然たる演習科目なので、成績評価は平常点のみで行なう。
教科書	鎌田茂雄『八宗綱要』(講談社学術文庫)
参考書等	授業において適宜指示する。
その他	事業は演習形式によって進める。

短大仏教科
開設科目

科目名	担当者名
仏教思想演習	袴谷憲昭

講義のねらい	今となって言うのも奇妙なことだがインドより東アジア仏教圏に伝播した仏教思想を理解する上で玄奘訳『成唯識論』は必須必読の文献である。この演習では特に唯識思想が我が国に及ぼした影響を及ぼしたかを絶えず考慮しながらインド原典にも遡りつつ本文の正確な読解に努めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	体系的に記述された文献なので、順を追って講読していく。
履修上の留意点	文献を必ず自分で読むという気概を持つこと。
成績評価の方法	平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。
教科書	佐伯定胤校訂『新導成唯識論』（法隆寺）
参考書等	国訳一切経、印度撰述部、瑜伽部7 桑山正進、袴谷憲昭『玄奘』（大蔵出版）

科目名	担当者名
仏教文学演習	石井公成

講義のねらい	仏教は総合的な文化体系であり、アジア諸国の文学についても大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・漢詩・和歌・物語・芸能などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。本年度は中国・朝鮮・日本・ベトナムの漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。
講義の内容・授業スケジュール	初めは文法に関する説明を交えながら、文献を読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。
履修上の留意点	学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。
成績評価の方法	発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。
教科書	コピーを配布する。
参考書等	テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

V 「日本語」・「日本事情」科目

日本事情
日本語

V. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	禅・仏教	半期	1	吉田路子	387
日本語入門Ⅰ b	禅・仏教	半期	1	吉田路子	387
日本語入門Ⅱ a	禅・仏教	半期	1	吉田路子	388
日本語入門Ⅱ b	禅・仏教	半期	1	吉田路子	388
日本語Ⅰ a	禅・仏教	半期	1	佐野典子	388
日本語Ⅰ b			1		
日本語Ⅰ a	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	389
日本語Ⅰ b	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	389
日本語Ⅱ a	禅・仏教	半期	1	佐野典子	389
日本語Ⅱ b			1		
日本語Ⅱ a	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	390
日本語Ⅱ b	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	390
日本語Ⅲ a	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	390
日本語Ⅲ b	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	391
日本語Ⅲ a	禅・仏教	半期	1	湯村礼子	391
日本語Ⅲ b			1		
日本語Ⅳ a	禅・仏教	半期	1	石川守	392
日本語Ⅳ b	禅・仏教	半期	1	石川守	392
日本語Ⅳ a	禅・仏教	半期	1	湯村礼子	393
日本語Ⅳ b	禅・仏教	半期	1	湯村礼子	393
日本語Ⅴ a	禅・仏教	半期	1	石川守	394
日本語Ⅴ b	禅・仏教	半期	1	石川守	394
日本語Ⅴ a	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	395
日本語Ⅴ b	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	395
日本語Ⅵ a	禅・仏教	半期	1	石川守	395
日本語Ⅵ b	禅・仏教	半期	1	石川守	396
日本語Ⅵ a	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	396
日本語Ⅵ b	禅・仏教	半期	1	多田羅哲子	396

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	禅・仏教	半期	2	高橋健太郎	397
日本事情Ⅱ〔自然〕	禅・仏教	半期	2	清水善和	398
日本事情Ⅲ〔歴史〕	禅・仏教	半期	2	浅倉直美	399
日本事情Ⅳ〔思想〕	禅・仏教	半期	2	菅原光	399
日本事情Ⅴ〔社会〕	禅・仏教	半期	2	坪井健	400
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	禅・仏教	半期	2	三竹直哉	401
日本事情Ⅶ〔文学〕	禅・仏教	半期	2	勝原晴希	401
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	禅・仏教	半期	2	菅原光	402
日本事情Ⅸ〔経済〕	禅・仏教	半期	2	小林正人	402
日本事情Ⅹ〔経営〕	禅・仏教	半期	2	羽鳥茂	403

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名
日本語入門 I a	よし だ ふき こ 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	よし だ ふき こ 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よし だ ふうき こ 吉 田 落 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よし だ ふうき こ 吉 田 落 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方や、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語Ⅰ a	さ の り こ 佐 野 典 子
日本語Ⅰ b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰ a	たたらあさこ 多田羅 哲子

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰ b	たたらあさこ 多田羅 哲子

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	さのりこ 佐野 典子
日本語Ⅱ b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅱ a

たたらあきこ
多田羅哲子**講義のねらい**

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅱ b

たたらあきこ
多田羅哲子**講義のねらい**

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅲ a

たたらあきこ
多田羅哲子**講義のねらい**

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

**講義の内容・
授業スケジュール**

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲb	たたらあきこ 多田羅 哲子

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲa	ゆむられいこ 湯村 礼子
日本語Ⅲb	

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ まほろ 石 川 守

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっています。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ まほろ 石 川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ a に引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳ a の続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳ a の続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	湯村礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	湯村礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語 V a	石川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 V は、日本語 VI と日本語 IV の三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。
履修上の留意点	日本語 V → 日本語 VI → 日本語 IV の順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語 V b	石川 守

講義のねらい	日本語 V a に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 V a の続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語 V a と同じです。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子 <small>たたらあきこ</small>

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子 <small>たたらあきこ</small>

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守 <small>いしかわまもる</small>

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>

講義のねらい

日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語Ⅵaの次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本事情」
日本語

科目名	担当者名
日本事情 I〔地理〕	高橋 健太郎 <small>たか はし けん たろう</small>

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
 (1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせ、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲 2. 行政区分 3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯 2. 日本近海の海流 3. 気候の特徴 4. 気団と季節 5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島 2. 変動の歴史 3. 多様な地形 4. 火山 5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯 2. 生物多様性 3. 生物地理区 4. 里山の生物 5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック 2. 国内の法律 3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさ くら なお み 浅 倉 直 美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら ひかる 菅 原 光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
 2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
 3. 徳川初期の思想と儒教
 4. 日本における朱子学批判
 5. 国学とナショナリズム
 6. 西洋の衝撃
 7. 明治思想
 8. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科 目 名**担 当 者 名**

日本事情Ⅴ〔社会〕

つばい 井 健

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度（60％）＋課題レポート（40％）

教 科 書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい 日本政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・授業スケジュール 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点 出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法 平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書 指定する予定はありません。

その他 I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	かつはら晴希 勝原晴希

講義のねらい 本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどの点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法 出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 授業時に紹介する。



科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	菅原 光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅸ〔経済〕	小林 正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』(岩波新書) 2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅹ〔経営〕	ほ とり 羽 鳥 しげる 茂

講義のねらい

1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。

成績評価の方法

出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。

その他

講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

「日本事情」
「日本語」

VI 随 意 科 目

VI. 随 意 科 目

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語（海外演習）	禪・仏教 1 年次～	通年	2		409
フランス語（海外演習）	禪・仏教 1 年次～	通年	2		409
中国語（海外演習）	禪・仏教 1 年次～	通年	2		409
日本宗教文化史	禪・仏教 2 年次～	通年	4	小川順敬	410
民間信仰論	禪・仏教 2 年次～	通年	4	谷口貢	410
書道史	禪・仏教 2 年次～	通年	4	那須隆吉	411
編集実務	禪・仏教 2 年次～	通年	4	長谷川孝	411

科目名

英語（海外演習）

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、卒業年次生は除く。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名

フランス語（海外演習）

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科目名

中国語（海外演習）

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名
日本宗教文化史	小川 順敬

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科目名	担当者名
民間信仰論	谷口 貢

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名
書道史	なす たが よし 那 須 隆 吉

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたらかしは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトと編集姿勢など、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択（評価）して、自分の表現をつくり出し発信する力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止め取捨選択するという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

